

2023 年度 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 単位互換科目シラバス

滋賀大学

1. 福祉と教育	1
2. 日本と世界の文化	3
3. 宇宙と地球	5
4. 経営学からの問い	7
5. アントレプレナーシップ I	9
6. 歴史からの問い	11
7. 数学的思考	12
8. 日本社会の法と政治	14
9. メディアと情報	16
10. アントレプレナーシップ II	18

滋賀医科大学

11. 哲学入門	19
12. 医療イノベーションの基礎	20

滋賀県立大学

13. おうみ学生未来塾（湖東）	22
14. SDG s と滋賀のグローバル・イノベーション 近江の暮らしとなりわい	23
15. 地域コミュニケーション論	24
16. 世界遺産のまちづくり・ひとづくり	25
17. びわこ環境行政論	26
18. 地域産業・企業から学ぶ社長講義	27

滋賀短期大学

19. 近江学入門	28
20. 数の不思議	29
21. ラッピング演習	30
22. 地域づくり論	31
23. 地域ビジネス論	32

滋賀文教短期大学

24. 地域の歴史と民俗文化	33
----------------------	----

成安造形大学

25. 近江学 A(おうみ学生未来塾（湖西）)	35
26. デザイン史概説 A	36
27. デザイン史概説 B	37
28. 東洋・日本美術史概説 A	38
29. 東洋・日本美術史概説 B	39
30. 西洋美術史概説 A	40
31. 西洋美術史概説 B	41

聖泉大学

32. 滋賀論	42
33. 心理学概論 A	43

34. 発達心理学	45
35. 知覚・認知心理学	46

長浜バイオ大学

36. 生物学基礎	48
37. 基礎微生物学	49
38. 遺伝子工学	50
39. 近江での SDGs の実践	51

びわこ学院大学

40. 子ども学総論	53
41. 滋賀の環境	54
42. スポーツ生理学 II	55
43. メンタルトレーニング論	56
44. レクリエーション論	57
45. 生活と福祉	58

びわこ成蹊スポーツ大学

46. 栄養と健康	59
47. スポーツ社会学概論	60
48. レジャー・レクリエーション論	61
49. スポーツバイオメカニクス	62

びわこリハビリテーション専門職大学

50. 哲学入門	63
----------------	----

立命館大学

51. 経済学特殊講義 II （金融・証券分析基礎）	64
52. ソーシャルデザイン論	66
53. 近現代の科学技術	69
54. 生命科学概論	71
55. 薬学概論	73
56. スポーツマネジメント論	75

龍谷大学

57. 植物生理・生化学 I	77
58. 食と嗜好の科学	79
59. 食の文化論	81
60. 生活の中の数学	83
61. 里山学	85
62. 環境の科学	87
63. 社会人類学	89
64. びわ湖・滋賀学	91
65. 環境社会学	93
66. コミュニティ論	95
67. 社会貢献論	99

科目番号	1	科目名	福祉と教育	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	羽山 裕子 (教育 学部 准教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用 大津キャンパスでの対面授業を彦根キャンパスに同時中継する。			
教 室 名	教育学部第24講義室・ 経済学部・データサイエンス学部 第14講義室	会場	大津キャンパス(彦根でも受講可)	
授 業 期 間	2023 年 4 月 11 日 (火) ~ 2023 年 7 月 18 日 (火) <毎週 火 曜 日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	60	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	40	%	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用	なし あり()円			
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 本講義では、学校教育の基本的な仕組みについて学び、さらに、現代的諸課題に対して学校や関係機関がどのように対応し得るのかを考えていく。講義は大きく三つのテーマに分けられる。1)学校教育の基本的な仕組みの理解(主に第1回～第5回)、2)多様な課題に対する学校教育での対応(主に第6回～第10回)、3)学校教育の周辺に位置づく人や機関(主に第11回～第15回)である。 【授業の到達目標】 本講義を通して以下のような目標に到達することが求められる。 1)学校教育の基本的な仕組みについて理解する。 2)学校が現代的課題、とりわけ子どもたちの多様なニーズに対してどのように対応し得るのか、また、その限界はどこにあるのかについて、具体的な事例から考察することができる。 3)学校教育を支える学校外の人や機関について知り、学校教育との関係性のあり方を理解する。 【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 各回の授業テーマに関して、自身の被教育経験をふりかえって具体的なイメージを持っておくことが、事前学習として望まれる。また、予習教材を配布された場合は事前に読んでおくこと。 事後学習としては、授業中に配布された資料を復習すること、授業内で知った他の受講生の意見と自分の意見とを照らし合わせて考察を深めることが求められる。 事前学習に2時間、事後学習に2時間				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 11 日	オリエンテーション
2	4 月 18 日	何を学ぶか——カリキュラム
3	4 月 25 日	どのように学ぶか——学習の場、学習形態
4	5 月 2 日	何を使って学ぶか——教材、教具
5	5 月 9 日	学びをどのようにとらえるか——教育評価
6	5 月 16 日	障害があったら？
7	5 月 23 日	病気になったら？
8	5 月 30 日	経済的に困難を抱えていたら？
9	6 月 6 日	日本の言語や文化に不慣れだったら？
10	6 月 13 日	学校に行きたくなかったら？
11	6 月 20 日	就学前とのつながり
12	6 月 27 日	放課後の居場所
13	7 月 4 日	塾と学校
14	7 月 11 日	保護者
15	7 月 18 日	まとめ
＜教科書・参考書＞		
教科書は特に指定しない。講義内で資料を配布しながら進める。		

科目番号	2	科目名	日本と世界の文化	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	江崎 麻里 (教育 学部 講師)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用 新型コロナウイルス感染拡大防止のために対面授業が中止になった場合は、「オンライン授業(オンデマンド)」を実施します。			
教 室 名	大講義室	会場	大津キャンパス	
授 業 期 間	2023 年 8 月 28 日 (月) ~ 2023 年 8 月 31 日 (木) <毎週 曜日> 時限・講時 8 : 50 ~ 16 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)	40	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	60	%	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円			
そ の 他 特 記 事 項	全授業時間数のうち、3 分の 1 を超えて欠席した場合は単位を認めません。また受講者数により、グループ・ディスカッションを想定しているため、遅刻は厳禁とします。 必ず、英和辞典を持って授業に臨んでください。			
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』を精読します。子どものために書かれたお話とあなどるなかれ、英国の歴史やスポーツから、望遠鏡や顕微鏡など科学技術の発展に至るまで、内容は幅広く読みごたえがあります。また、数学者であるルイス・キャロルの文体は、まるでパズルのようで、読み解くには英語の応用力を問われることになるでしょう。 大勢で集まって文学作品を読む意義は、ひとりで読んでいては気づくことのできないさまざまな「読み」(視点)を獲得することにあります。ふだん文学は読まないという人も、アリスといっしょに英国文化に親しんでみませんか。 本科の授業形態は「対面授業」です。新型コロナウイルス感染拡大防止のために対面授業が中止になった場合は、「オンライン授業(オンデマンド)」をSULMSを用いて実施します。 【授業の到達目標】 異国の文学を「読む」ことを楽しみ、その思いを明確に表現し、伝えられるようになること。また、他者の意見を理解して、さまざまな視点を獲得し、多角的な分析ができるようになること。 【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 その場ではじめて作品を読んでいては、意見を言うことができないので、事前に作品を読了しておくことが受講条件です。必ず、予習をしてきてください。 目安として、各章で三か所以上、おもしろいと思うところとその理由、共感するところとその理由、異国情緒を感じるところ、発見したこと、疑問点など、ノートに書き出して持ってきてください。 具体的に、初日に第一章を扱って「読み方」を実践します。詳細は、「サクセス」で連絡しますので、講義期間前と期間中は特に注意して「サクセス」を見るようにしてください。 1時限当たり事前学習に3時間、事後学習に1時間				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	8 月 28 日	1日目 1限 身の回りにいるアリスを探してみよう
2	8 月 28 日	1日目 2限 作品を「読む」とはどういうことか 授業の目標を確認しよう
3	8 月 28 日	1日目 3限 ルイス・キャロルの人生について思いを巡らせる
4	8 月 28 日	1日目 4限 さっそく第一章を「読んで」みよう
5	8 月 29 日	2日目 1限 第二章・第三章 ディスカッションと発表
6	8 月 29 日	2日目 2限 オックスフォード大学を訪ねて
7	8 月 29 日	2日目 3限 第四章・第五章 ディスカッションと発表
8	8 月 29 日	2日目 4限 最先端の趣味だった当時のカメラ事情
9	8 月 30 日	3日目 1限 第六章・第七章 ディスカッションと発表
10	8 月 30 日	3日目 2限 英国貴族の邸宅と生活に迫る
11	8 月 30 日	3日目 3限 第八章・第九章 ディスカッションと発表
12	8 月 30 日	3日目 4限 バラとトランプと女王と
13	8 月 31 日	4日目 1限 第十章・第十一章 ディスカッションと発表
14	8 月 31 日	4日目 2限 食べること・食べられること
15	8 月 31 日	4日目 3限 第十二章まで「読む」 まとめの記述試験 四日間の授業では、グループに分かれてディスカッションを行い、発表し、互いに評価しながら、作品を読み進めます。議論がどこに向かうのか、それは今夏集う受講生次第です。適宜、作品理解の助けとなる情報を、映像資料を軸にして紹介します。 本科の授業形態は「対面授業」です。新型コロナウイルス感染拡大防止のために対面授業が中止になった場合は、「オンライン授業（オンデマンド）」をSULMSを用いて実施します。
＜教科書・参考書＞ 【教科書】 ISBN 9784875711100 書名 Alice's Adventures in Wonderland 著者名 Lewis Carroll 出版社 開文社 出版年 2013 【教材に対する補足情報】 授業はすべて、指定教科書のページ数・行数を明示しながら実施するので、必ず入手しましょう。同じ作品でも版が異なるとページ数・行数が異なります。指定教科書以外を用いて作成した提出物は受理しません。		

科目番号	3	科目名	宇宙と地球	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	大山 政光 (教育 学部 准教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
	大津キャンパスでの対面授業を彦根キャンパスに同時中継する。 新型コロナウイルス感染拡大防止のために対面授業が中止になった場合は、オンライン授業(同時双方向, Zoom, Teams)となる。			
教 室 名	教育学部第24講義室・ 経済学部・データサイエンス学部 第14講義室	会場	大津キャンパス(彦根でも受講可)	
授 業 期 間	2023 年 10 月 3 日 (火) ~ 2024 年 1 月 23 日 (火) <毎週 火 曜 日> 3 時限・講時 12 : 50 ~ 14 : 20			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	80 %		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	20 %		
	そ の 他 ()			
別 途 負 担 費 用	なし あり()円			
そ の 他 特 記 事 項	<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 本授業科目「宇宙と地球」の副題は「太陽の科学」です。 地球にとって最も近い恒星である太陽について理解することを本講義の目的とする。 太陽は、その姿を詳細に見ることができる唯一の恒星である。この講義では、太陽に焦点をあて、太陽はどのような星であるか、また、太陽と地球とのつながりについて人工衛星による観測など最新の映像も交えて説明する。 本講義は対面授業および遠隔授業を予定しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のために対面授業が中止になった場合、オンライン授業(同時双方向, Zoom, Teams) ※授業の連絡、実施方法に関してはSUCCESSを通じて行います。SUCCESSを確認すること。 【授業の到達目標】 太陽(恒星)の構造や太陽でどのようなことが起きているかを自ら説明できるようにすることを目標とする。 【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 各回の内容をイメージし易くするために予習、復習とも教科書を読む。 (予習・復習の目安:各2時間)			

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	10 月 3 日	受講生の理解度によって内容を一部変更することもあります。 ガイダンス
2	10 月 10 日	太陽と地球
3	10 月 17 日	太陽表面(光球)
4	10 月 24 日	黒点
5	10 月 31 日	黒点Ⅱ
6	11 月 7 日	黒点はいつもあるのか
7	11 月 14 日	光球の構造や現象
8	11 月 21 日	星や太陽の組成がなぜ分かるのか
9	11 月 28 日	彩層の様々な構造
10	12 月 5 日	様々な日食
11	12 月 12 日	皆既日食の観測
12	12 月 19 日	X線で見たコロナとフレア
13	1 月 9 日	太陽風とコロナ質量放出現象
14	1 月 16 日	太陽は地球にどんな影響を与えるの？－短期的影響－
15	1 月 23 日	太陽は地球にどんな影響を与えるの？－長期的影響－
＜教科書・参考書＞ 【教科書】 ISBN 9784764955189 書名 最新画像で見る 太陽 著者名 柴田一成、大山 真満、ほか 出版社 ナノオプトニクス・エナジー出版局 出版年 2011 【教材に対する補足情報】 本授業では上記に示した教科書には太陽の様々が画像がありますので授業で使用します。 教科書の値段は安くはありませんが、教科書がなければ授業の内容を理解できなくなりますので教科書は必須となります。その点をよく考えて、受講するかどうかを決定してください。		

科目番号	4	科目名	経営学からの問い	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	柴田 淳郎 (経 済 学部 准教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業		対面・遠隔併用	
	彦根キャンパスでの対面授業を大津キャンパスに同時中継する。 新型コロナウイルス感染拡大防止のために対面授業が中止になった場合は、Zoomでの講義に変更となる。			
教 室 名	経済学部・データサイエンス学部 第14講義室・ 教育学部第24講義室	会場	彦根キャンパス(大津でも受講可)	
授 業 期 間	2023 年 4 月 11 日 (火) ~ 2023 年 7 月 18 日 (火) <毎週 火 曜 日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 16 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 (定期試験とレポートの総合 評 価)		100 %	
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円			
そ の 他 特 記 事 項	成績評価について、レポート点は定期試験の点数が60点未満の学生に適用することとする。 <コロナ対応> 定期試験は実施しないので、オリエンテーションを除く、合計14回のレポートで評価する。			
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 従来、経営学は近代企業を対象としてきた。本講義では伝統産業を分析対象として、いわば伝統産業の経営学を学習することを目的としている。陶磁器産業を中心とした伝統産業をとりあげ、伝統産業における会社制度、ビジネスシステム、企業家活動を中心に学習していくことで、伝統産業が長期に存続を果たしてきた要因を明らかにします。 <コロナ対応> Zoomでの講義に変更となりました。300人を超えた場合、抽選となります。 【授業の到達目標】 近代的企業と伝統産業の企業とは行動原理が異なります。伝統産業の場合、ともすれば何百年もの間、同じ産業や同じ地域の仲間たちとビジネスを協働で展開してきたため、独特のルールと行動原理が存在するからです。本講義を通じて、伝統産業の行動原理の奥深さを理解してほしいと思います。 【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 講義内で適宜指示します。				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 11 日	オリエンテーション
2	4 月 18 日	伝統産地とビジネスシステム
3	4 月 25 日	彦根仏壇:ビジネスシステムの全体的特徴
4	5 月 2 日	彦根仏壇:経営継承のビジネスシステム
5	5 月 9 日	彦根仏壇:技能継承のビジネスシステム
6	5 月 16 日	山中漆器:ビジネスシステムの全体的特徴
7	5 月 23 日	山中漆器:我戸幹男商店の歴史と事業転換
8	5 月 30 日	山中漆器:リ・デザインと我戸幹男商店
9	6 月 6 日	有田焼:ビジネスシステムの全体的特徴
10	6 月 13 日	有田焼:ビジネスシステムと伊万里商社
11	6 月 20 日	有田焼:ビジネスシステムと香蘭社
12	6 月 27 日	有田焼:香蘭社と精磁会社
13	7 月 4 日	京焼:京都陶器会社
14	7 月 11 日	森村組と日本陶器合名会社
15	7 月 18 日	まとめ
＜教科書・参考書＞ 【教科書】 書名 伝統産地の経営学 陶磁器産地の協働の仕組みと企業家活動 著者名 山田幸三 出版社 有斐閣 出版年 2013 書名 需要変動と産業集積の力学 仲間型取引ネットワークの研究 著者名 加藤厚海 出版社 白桃書房 出版年 2009 書名 経営はだれのものか 協働する株主による企業統治再生 著者名 加護野忠男 出版社 日本経済新聞出版社 出版年 2014 書名 日本のビジネスシステム その原理と革新 著者名 加護野忠男 出版社 有斐閣 出版年 2016 【参考書】 書名 陶磁器産業における会社制度に関する研究 著者名 柴田淳郎 出版社 神戸大学経営学研究科 出版年 2006 書名 日本型スピンオフ戦略の形成プロセスと論理 日本陶器合名会社の事例分析 著者名 柴田淳郎 出版社 日本経営学会誌22号 出版年 2008		

科目番号	5	科目名	アントレプレナーシップ I		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	滋賀 大学				
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係				
	TEL :		0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	上田 雄三郎 (経済 学部 特任教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	第6講義室		会場	彦根キャンパス	
授 業 期 間	2023 年 4 月 13 日 (木) ~ 2023 年 7 月 20 日 (木) <毎週 木曜日> 5 時限・講時 16 : 10 ~ 17 : 40				
超過時の選考方法	書類により選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	その他	授業への積極的な参画と、課題(レポートと演習)内容と提出回数から評価。			100 %
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 本科目は、変化の大きな時代の中で、自立した個人として問題意識を持ち、社会をより良い方向に変革するための、アントレプレナーシップの育成・開発を目的とする。 アントレプレナーシップとは、一般に「起業家精神」と翻訳されるが、高い創造意欲を持ち、難しい社会課題にもチャレンジ精神で取り組み、リーダーシップを発揮し、社会をよりよくしていくための、いわば起業家的行動能力をいう。デジタル技術の進展や経済のグローバル化といった、高度化・複雑化するビジネスシーンの中では、自分の頭で考え、既存の枠組みを超えてイノベーションを起こすゲームチェンジャーが求められており、これから社会で活躍する人にとってアントレプレナーシップは、必要不可欠な要素であると考えている。 具体的には、「アントレプレナーシップ I」においては、創造力、論理的思考力、コミュニケーション力、コラボレーション力の4つのスキルを、さまざまなジャンルの実務経験豊富な講師陣から実践的な講義を通して体得し「アントレプレナーシップ II」にて実践力を磨く。 【授業の到達目標】 アントレプレナーシップ教育の一環として 以下の能力の向上 創造力 ゼロからイチを生み出す新しい価値の創造・グランドデザイン 論理的思考力 筋道を立てて論理を構築する能力 コミュニケーション力 相手に伝える力・プレゼンテーション能力 コラボレーション力 仲間をつくる力・協働・協調 【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 毎日15分の新聞・ネットニュースの閲覧(日経新聞・日経ネットニュースが望ましい)					

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 13 日	アントレプレナーシップとは何か ①講義の狙い ②アントレプレナーシップの要件 ③ゲームチェンジャーについて
2	4 月 20 日	「なぜ起業するのか？」(仮) いきもの株式会社 菊地紳氏
3	4 月 27 日	未来を予測してみる 演習①
4	5 月 11 日	「大企業を飛び出して 夢の実現へ」(仮) ミツバチプロダクツ株式会社 浦はつみ氏
5	5 月 18 日	「思いつきは、ダイヤモンド」(仮) 株式会社 ブリスタ 高橋瑞季氏
6	5 月 20 日	マーケティング実践例に学ぶ
7	5 月 25 日	「新時代のルールメイキング」(仮) 株式会社 メルカリ 高橋亮平氏
8	6 月 1 日	「どのように起業するのか」(仮) 株式会社 日本政策金融公庫 西村敏氏
9	6 月 8 日	演習① 結果発表 ビジネスモデルについて1
10	6 月 15 日	ビジネスモデルについて2 演習②
11	6 月 22 日	「実践的なマーケティングについて」(仮) 株式会社 ウエルネスサイエンス 細山紳二氏
12	6 月 29 日	「新しいビジネスを創る」(仮) 平安伸銅工業株式会社 竹内紘一氏
13	7 月 6 日	「私がイヴケアを始めた理由」 滋賀大学 教育学部 大平雅子教授
14	7 月 13 日	ブランドとは何か(完全オンライン)
15	7 月 20 日	演習②発表 アントレプレナーシップについて(まとめ)
＜教科書・参考書＞		
特に、教材は使用しないが、講義の中で推薦図書を紹介する。		

科目番号	6	科目名	歴史からの問い	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	坂野 鉄也 (経 済 学 部 教 授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	第5講義室	会場	彦根キャンパス	
授 業 期 間	2023 年 4 月 7 日 (金) ~ 2023 年 7 月 21 日 (金) <毎週 金 曜 日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (中 間 ・ 期 末)		100 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 本講義では、近代日本が「西洋」なるものをどのように受容したのかというテーマのもとに、1947年以前の旧い教育制度における経済学教育を事例として扱います。近代日本における学問とは西洋の学問であり、西洋から輸入されたものです。その輸入された学問を教育のなかにどのように取り入れていったのかを学ぶことで、学問を相対化する機会が得られるでしょう。そのため、本講義は共通教養科目ですが、1、2回生よりもすでに大学で学んだ経験を持つ3、4回生に向いています。 【授業の到達目標】 授業の中で提供される情報を自らの経験に照らして深く理解したうえで、自らのこれまでの学問体験を相対化することを目標とします。 【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 本講義以外の講義や演習での学習、読書等を通じた自習活動のいずれの機会においても、自らが学んでいる学問とはいかなる経緯で「いま・ここ」にあるのかを考えてください。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 7 日	オリエンテーション: 講義概要とレポートの書き方		
2	4 月 14 日	イントロダクション: 1947年以前の学校教育制度		
3	4 月 21 日	日本における経済学の受容Ⅰ: 幕末・維新时期		
4	4 月 28 日	日本における経済学の受容Ⅱ: 維新後		
5	5 月 12 日	教員養成		
6	5 月 19 日	普通教育と実業教育		
7	5 月 26 日	教育対象としての経済学Ⅰ: 普通学		
8	6 月 2 日	教育対象としての経済学Ⅱ: 専門学 帝国大学		
9	6 月 9 日	教育対象としての経済学Ⅲ: 専門学 高等商業学校		
10	6 月 16 日	高等商業学校における普通教育と専門教育Ⅰ: 専門教育以外の教育、外国語教育		
11	6 月 23 日	高等商業学校における普通教育と専門教育Ⅱ: 高等商業学校的普通教育		
12	6 月 30 日	商学と経済学		
13	7 月 7 日	総力戦体制下での高等商業教育		
14	7 月 14 日	コンクルージョン: 高等商業学校と帝国大学における経済学教育		
15	7 月 21 日	エピローグ: 国民形成としての教育		
<教科書・参考書> 講義に関連する参考文献は講義中に紹介する。				

科目番号	7	科目名	数学的思考	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	大瀨 巖 (経 済 学 部 准 教 授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	第15講義室	会場	彦根キャンパス	
授 業 期 間	2023 年 4 月 7 日 (金) ~ 2023 年 7 月 21 日 (金) <毎週 金 曜 日> 5 時 限・講 時 16 : 10 ~ 17 : 40			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レポ ー ト 試 験 (期 間 中 4 , 5 回)		100 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり () 円	
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 「数学は役に立たない」というフレーズをいたるところで耳にする。とくに中学・高校で数学嫌いになった人は、数学を勉強しない理由の第一にこれを挙げることが多い。実際にそうだろうか？本当に「数学」は役に立たないのだろうか？この授業では難しい公式や定理といったものを学ぶのではない。一般的に「数学パズル」と呼ばれてるものを題材にして、「数学的思考」というものがどういったものなのかを考えていく。授業の形式は講義が主体であるが、受講者には実際に自分でパズル・問題を解くという作業をしてもらう。 【授業の到達目標】 1. 論理パズルを通じて「論理記号」「論理式」「対偶証明法」「背理法」を理解する 2. 場合分けを使った論理パズルを通じて「場合分け」「しらみつぶし」を理解する 3. 3人のガンマン(確率の問題)を通じて「確率」「数列」「無限級数」「ゲーム理論」を理解する 4. 「数学」と「数学的思考」の関係について深く考察する 【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 事前学修: 講義資料を授業でどういったことをするのか把握する 事後学修: 数学パズルを通じて授業で教えた考え方・ものごとの見方といったものを自分の言葉で整理する				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 7 日	数学パズルとは(イントロダクション)		
2	4 月 14 日	論理パズル(1)		
3	4 月 21 日	論理パズル(2)		
4	4 月 28 日	論理パズル(3)		
5	5 月 12 日	場合分けを使った論理パズル(1)		
6	5 月 19 日	場合分けを使った論理パズル(2)		
7	5 月 26 日	場合分けを使った論理パズル(3)		
8	6 月 2 日	3人のガンマン(1)		
9	6 月 9 日	3人のガンマン(2)		
10	6 月 16 日	3人のガンマン(3)		
11	6 月 23 日	3人のガンマン(4)		
12	6 月 30 日	矛盾とパラドックス(1)		
13	7 月 7 日	矛盾とパラドックス(2)		
14	7 月 14 日	矛盾とパラドックス(3)		
15	7 月 21 日	まとめ(予備日)		

＜教科書・参考書＞

教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

【参考書】

ISBN 4150502897

書名 パズルランドのアリス. 2(鏡の国篇)

著者名 レイモンド・M. スマリヤン

出版社 早川書房

出版年 2004

ISBN 4150502889

書名 パズルランドのアリス. 1(不思議の国篇)

著者名 レイモンド・M. スマリヤン

出版社 早川書房

出版年 2004

ISBN 4826901135

書名 数学ができる人はこう考える：実践＝数学的思考法

著者名 シャーマン・スタイン

出版社 白揚社

出版年 2003

科目番号	8	科目名	日本社会の法と政治																																								
英 文 科 目 名																																											
大学・短期大学名	滋賀		大学																																								
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係																																										
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122																																							
担 当 教 員	宗野 隆俊 (経 済 学部 准教授)																																										
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																										
	彦根キャンパスでの対面授業を大津キャンパスに同時中継する。																																										
教 室 名	経済学部・データサイエンス学部 第14講義室・ 教育学部第24講義室	会場	彦根キャンパス(大津でも受講可)																																								
授 業 期 間	2023 年 10 月 4 日 (水) ~ 2024 年 1 月 24 日 (水) <毎週 水 曜 日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 16 : 00																																										
超過時の選考方法	書類により選考																																										
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	100	%																																								
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%																																								
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%																																								
	そ の 他 ()		%																																								
別 途 負 担 費 用	なし あり()円																																										
そ の 他 特 記 事 項																																											
＜講義概要・到達目標＞ 【授業の目的と概要】 20世紀の後半、日本は世界でも最も豊かな国の1つであり、経済格差や地域間格差が比較的小さい「1億総中流」と呼ばれる社会を築いてきました。しかし、20世紀の最終盤以降、新興国が続々と台頭し、国際社会における日本の存在感は低下しつつあるとされます。さらに、少子高齢化や大都市への人口集中にともなう地方の疲弊も深刻化しています。その一方で、政治改革、行政改革、経済構造改革と呼ばれるような、さまざまな改革が目指されてきました。 私たちの社会は、戦後どのようにしてつくり、現在どのような状況にあり、さらにどのように変化しようとしているのでしょうか。また、どのような内的要因・外的要因によって変化を促されているのでしょうか。 この講義では、現代の日本を取り巻く内外の環境、それによって生起する複雑な社会的事象、日本社会が直面する課題を、政治学と行政学を中心とする社会科学の知見から把握し、自分自身の言葉で説得的に説明する力を獲得することを目指します。 【授業の到達目標】 政治や経済に関わる現象に関心を持ち、その現象が持つ意味や背景を根気よく考え、説得力のある言葉で説明する力を獲得することが、この授業の目指すところです。 【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 講義では毎回レジュメと資料を準備します。レジュメや資料に目を通し、またレジュメに記載された参考文献をどんどん読んでください。また、新聞・雑誌などの活字メディアに日常的に触れて、社会で生起していることを追ってください。講義であげる参考文献は、おおかた大学の図書館に所蔵されています。図書館を利用しましょう。 ＜授業スケジュール＞ <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10 月 4 日</td> <td>20世紀の大恐慌と2つの総力戦：後世への影響</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 月 11 日</td> <td>戦後合意とその変容</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10 月 18 日</td> <td>新自由主義の席卷</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10 月 25 日</td> <td>日本型福祉社会とリスクの個人化</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11 月 1 日</td> <td>財政から考える統治機構の不全</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11 月 8 日</td> <td>日本の政官関係：官高政低から政高官低へ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11 月 15 日</td> <td>1990年代の政治改革と自民党の変化</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11 月 22 日</td> <td>2000年前後の政治主導と統治機構改革</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11 月 29 日</td> <td>財政構造改革の試みと挫折</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12 月 6 日</td> <td>首相主導と内閣機能強化① 内閣法改正</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12 月 13 日</td> <td>首相主導と内閣機能強化② 内閣府設置と官邸主導型政治</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12 月 20 日</td> <td>国家公務員制度改革による政治主導の強化</td> </tr> </tbody> </table>					回	月日	テーマ・キーワード	1	10 月 4 日	20世紀の大恐慌と2つの総力戦：後世への影響	2	10 月 11 日	戦後合意とその変容	3	10 月 18 日	新自由主義の席卷	4	10 月 25 日	日本型福祉社会とリスクの個人化	5	11 月 1 日	財政から考える統治機構の不全	6	11 月 8 日	日本の政官関係：官高政低から政高官低へ	7	11 月 15 日	1990年代の政治改革と自民党の変化	8	11 月 22 日	2000年前後の政治主導と統治機構改革	9	11 月 29 日	財政構造改革の試みと挫折	10	12 月 6 日	首相主導と内閣機能強化① 内閣法改正	11	12 月 13 日	首相主導と内閣機能強化② 内閣府設置と官邸主導型政治	12	12 月 20 日	国家公務員制度改革による政治主導の強化
回	月日	テーマ・キーワード																																									
1	10 月 4 日	20世紀の大恐慌と2つの総力戦：後世への影響																																									
2	10 月 11 日	戦後合意とその変容																																									
3	10 月 18 日	新自由主義の席卷																																									
4	10 月 25 日	日本型福祉社会とリスクの個人化																																									
5	11 月 1 日	財政から考える統治機構の不全																																									
6	11 月 8 日	日本の政官関係：官高政低から政高官低へ																																									
7	11 月 15 日	1990年代の政治改革と自民党の変化																																									
8	11 月 22 日	2000年前後の政治主導と統治機構改革																																									
9	11 月 29 日	財政構造改革の試みと挫折																																									
10	12 月 6 日	首相主導と内閣機能強化① 内閣法改正																																									
11	12 月 13 日	首相主導と内閣機能強化② 内閣府設置と官邸主導型政治																																									
12	12 月 20 日	国家公務員制度改革による政治主導の強化																																									

13	1 月 10 日	代表制民主主義の動揺
14	1 月 17 日	公共に対する日本人の信頼感:「痛税感」から考える
15	1 月 24 日	政治と熟議
<教科書・参考書>		
【教科書】		
特になし		
【参考書】		
ISBN	9784004314035	
書名	『日本財政 転換の指針』	
著者名	井手英策	
出版社	岩波新書	
出版年	2013	
ISBN	9784062585828	
書名	『感情の政治学』	
著者名	吉田徹	
出版社	講談社選書メチエ	
出版年	2014	
ISBN	9784000258692	
書名	『政治はなぜ嫌われるのか 民主主義の取り戻し方』	
著者名	コリン・ヘイ (吉田徹 訳)	
出版社	岩波書店	
出版年	2012	
ISBN	9784004317944	
書名	『女性のいない民主主義』	
著者名	前田健太郎	
出版社	岩波書店	
出版年	2019	
ISBN	9784750354231	
書名	『自民党の女性認識 「イエ中心主義」の政治指向』	
著者名	安藤優子	
出版社	明石書店	
出版年	2022	
ISBN	9784004319276	
書名	『職業としての官僚』	
著者名	嶋田博子	
出版社	岩波書店	
出版年	2022	
ISBN	9784480071194	
書名	『平成デモクラシー史』	
著者名	清水真人	
出版社	筑摩書房	
出版年	2018	
ISBN	9784326251247	
書名	『「日本人」は変化しているのか 価値観・ソーシャルネットワーク・民主主義』	
著者名	池田謙一編	
出版社	勁草書房	
出版年	2018	
ISBN	9784334045722	
書名	『くじ引き民主主義 政治にイノベーションを起こす』	
著者名	吉田徹	
出版社	光文社	
出版年	2021	
ISBN	9784121026910	
書名	『日本の国会議員 政治改革後の限界と可能性』	
著者名	濱本真輔	
出版社	中央公論新社	
出版年	2022	

科目番号	9	科目名	メディアと情報																															
英 文 科 目 名																																		
大学・短期大学名	滋賀		大学																															
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係																																	
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122																														
担 当 教 員	中塚 智子 (経 済 学 部 講 師)																																	
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																	
	未定																																	
教 室 名	未定	会場	彦根キャンパス																															
授 業 期 間	2023 年 10 月 5 日 (木) ~ 2024 年 1 月 25 日 (木) <毎週 木曜日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 16 : 00																																	
超過時の選考方法	書類により選考																																	
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%																															
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%																															
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%																															
	そ の 他 (関 心 、 意 欲 50 、 作 品 50)		100 %																															
別 途 負 担 費 用	なし		あり () 円																															
そ の 他 特 記 事 項																																		
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 現段階では校舎棟3階17番教室での対面講義を考えています。(PCの台数に限りがあるため20名前後) 実際にパソコンのデザインソフトを使って、ポスターやリーフレット、ムービーなどの制作をします。 構成からパソコン作業まで、デザインをイチから学べます。 作品のテーマは毎回違いますが、基本的には社会の中にある身近な課題を取り扱っています。 例:性的マイノリティに対する差別、社会の中のSDGsなど。 使用ソフトはadobe illustrator,photoshop,premiereproなど 表現方法は、映像、イラスト、音楽、詩や言葉などなんでもOK、1人1作品とします。 【授業の到達目標】 課題を発見し、解決する力を身に付ける。 情報を整理し、発信する力を身に着ける。 デザインの基礎知識を身に着ける。 映像製作の基礎知識を身に付ける。 【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 プロの仕事の流れと同じことをやります。一番大事なことは期日厳守。 <授業スケジュール> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月 日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10 月 5 日</td> <td>1回 ガイダンス&アンケート記入</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 月 12 日</td> <td>2回 基本操作&小作品制作</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10 月 19 日</td> <td>3回 基本操作&小作品制作</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10 月 26 日</td> <td>4回 最終制作開始 コンセプトについて理解を深める 表現方法の決定、構成を練る</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11 月 2 日</td> <td>5回 構成の決定</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11 月 9 日</td> <td>6回 制作開始</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11 月 16 日</td> <td>7回 制作</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11 月 30 日</td> <td>8回 制作</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12 月 7 日</td> <td>9回 中間発表→フィードバックを受けてブラッシュアップ</td> </tr> </tbody> </table>					回	月 日	テーマ・キーワード	1	10 月 5 日	1回 ガイダンス&アンケート記入	2	10 月 12 日	2回 基本操作&小作品制作	3	10 月 19 日	3回 基本操作&小作品制作	4	10 月 26 日	4回 最終制作開始 コンセプトについて理解を深める 表現方法の決定、構成を練る	5	11 月 2 日	5回 構成の決定	6	11 月 9 日	6回 制作開始	7	11 月 16 日	7回 制作	8	11 月 30 日	8回 制作	9	12 月 7 日	9回 中間発表→フィードバックを受けてブラッシュアップ
回	月 日	テーマ・キーワード																																
1	10 月 5 日	1回 ガイダンス&アンケート記入																																
2	10 月 12 日	2回 基本操作&小作品制作																																
3	10 月 19 日	3回 基本操作&小作品制作																																
4	10 月 26 日	4回 最終制作開始 コンセプトについて理解を深める 表現方法の決定、構成を練る																																
5	11 月 2 日	5回 構成の決定																																
6	11 月 9 日	6回 制作開始																																
7	11 月 16 日	7回 制作																																
8	11 月 30 日	8回 制作																																
9	12 月 7 日	9回 中間発表→フィードバックを受けてブラッシュアップ																																

10	12 月 14 日	10回 制作
11	12 月 21 日	11回 制作
12	1 月 4 日	12回 制作
13	1 月 11 日	13回 制作
14	1 月 18 日	14回 発表準備
15	1 月 25 日	15回 発表
<教科書・参考書> 特になし		

科目番号	10	科目名	アントレプレナーシップⅡ	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	上田 雄三郎		(経 済 学 部 特 任 教 授)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
	未定			
教 室 名	未定	会場	彦根キャンパス	
授 業 期 間	2023 年 10 月 3 日 (火) ~ 2024 年 1 月 23 日 (火) <毎週 火 曜 日>4~5 時 限・講 時 14 : 30 ~ 17 : 40			
超 過 時 の 選 考 方 法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 (最 終 報 告 の 実 施 内 容)		100 %	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の目的と概要】 アントレプレナーシップとは、高い創造意欲を持ち、リーダーシップを発揮して困難な課題にチャレンジ精神で取り組み、協調と協働を図りながら、社会をよりよくするための能力・行動を言います。時代の変化は激しく、デジタル化、AI化が進み、感染症に強い社会システムが求められる中で、自らを差別化する手段として、ますます高い価値を持つものです。このアントレプレナーシップ向上のために、実際の事業者の課題抽出し、解決策を考えるPBL型授業（課題を見つけて、解決策を考える）を開催します。 具体的には、事業者の方から直接お話を聞いて、グループで討論して課題を見つけ出し、課題の解決策を考えてグループ発表をします。 本年度の事業者は、現在検討中です。				
【授業の到達目標】 グループワークを基本として、課題の発見力、ヒヤリング技術、課題解決策の立案、プレゼンテーション能力を養います。これらは、社会で仕事をする上での基本的なスキルであり、経験値を重ねることにより向上していきます。				
【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 授業内容に沿って進めますが、仮説立案やビジネスアイデアの検証などのために、①HP等の当該事業者のリサーチ、②業界リサーチや③フィールドワークでの現地確認などが必要になる場合があります。				
<授業スケジュール>※日程については予定であり、変更可能性あり				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	10 月 3 日	オリエンテーション		
2	10 月 10 日	①課題解決のポイント ②事業者からの課題提起・ヒヤリング ③論点整理		
3	10 月 17 日	①論点整理の続き ②チーム分け ③チームでの検討		
4	10 月 24 日	①ビジネスアイデア発表会 ②チーム検討		
5	10 月 31 日	①チーム検討		
6	11 月 7 日	①チーム検討 (模擬発表会準備)		
7	11 月 14 日	①模擬発表会 ②チーム検討		
8	11 月 28 日	①最終報告会 ②アントレプレナーシップⅡ まとめ		
<教科書・参考書> 特になし				

科目番号	11	科目名	哲学入門		
英 文 科 目 名	Introduction to Philosophy				
大学・短期大学名	滋賀医科			大学	
連 絡 先	学生課学部教育支援係				
	TEL : 077-548-2068		FAX : 077-548-2799		
担 当 教 員	室寺 義仁 (医 学部 非常勤講師)				
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用
教 室 名	第1講義室		会場		
授 業 期 間	2023 年 4 月 11 日 (火) ~ 4 年 8 月 1 日 (火) <毎週 火曜日> 2 時限・講時 10 : 35 ~ 12 : 5				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		55		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		45		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 ()		-		%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 世界の哲学史の観点から、まず、数千年にわたる歴史と文化を有する(1) 東アジア(中国)、(2) 南アジア(インド)、(3) 地中海(ギリシャ/ローマ)の文化圏に注目し、特に東洋の古典に伝わる諸思想を取り上げ、それぞれの思想を代表する古えの哲人・賢者たちの言葉を紹介して行く。そして、それぞれの哲学・思想が語る、特に、人間の観方、こころの観方に注目しつつ、現代の私たちの日常的な思索の中にも、意識するとなしに関わらず、思想的影響を与え続けている考え方を考察する。この学びの過程で、日本の精神文化についても歴史的な観点から考えて行く。					
【到達目標】 受講生は、それぞれの興味と関心、あるいは、好奇心にしたがって、古えの哲人・賢人たちが残した言葉に出会い、人類の叡智が辿り着いた思索の深みを学ぶことを通じて、自分自身の思考能力に新たな広がりや柔らかさを身につける。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 11 日	ガイダンス「哲学の三つの潮流について」			
2	4 月 18 日	ギリシャの思想家たちの言葉(1)「アルストテレス『友愛』について」			
3	4 月 25 日	ギリシャの思想家たちの言葉(2)「アルストテレス『倫理』について」			
4	5 月 2 日	ギリシャの思想家たちの言葉(3)「ヒポクラテス『誓い』について」			
5	5 月 9 日	インドの神秘家たちの言葉(1)「ヤージュニャヴァルキヤ」			
6	5 月 16 日	インドの神秘家たちの言葉(2)「『バガヴァット・ギーター』の思想」			
7	5 月 23 日	中国の聖人たちの言葉(1)「老子・荘氏」			
8	5 月 30 日	中国の聖人たちの言葉(2)「孔子」			
9	6 月 6 日	中国の聖人たちの言葉(3)「孔子・孟子」			
10	6 月 13 日	仏教の言葉 (1)「ブッダ(釈迦／世尊)」			
11	6 月 20 日	仏教の言葉 (2)「最澄・空海」			
12	6 月 27 日	日本人の精神性を表す用語 (1)「『和』『大和魂』『諸行無常』」			
13	7 月 4 日	日本人の精神性を表す用語 (2)「『日本挽歌』-万葉集(巻5)から」			
14	7 月 11 日	日本人の精神性を表す用語(3)「『もののあわれ』を知る知性のあり様と『なさけ』を知る情感のあり様」			
15	7 月 18 日	まとめ「『日本人の精神性』について」			
16	8 月 1 日	試験(11:00~12:30)			
<教科書・参考書>					
教科書はない。適宜、プリントを配布する。また、授業の中で関連する参考図書を順次紹介して行く。					

科目番号	12	科目名	医療イノベーションの基礎		
英 文 科 目 名	Fundamentals for Medical Innovation				
大学・短期大学名	滋賀医科大学			大学	
連 絡 先	学生課学部教育支援係				
	TEL :	077-548-2068	FAX :	077-548-2799	
担 当 教 員	磯部 義明 (医 学部 特任教授)				
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教 室 名	第1講義室	会場			
授 業 期 間	2023 年 4 月 12 日 (水) ~ 2023 年 7 月 26 日 (水) <毎週 水曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		-	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		60	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		-	%	
	そ の 他 (発 表)		40	%	
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項	最終日のみ4～5限(14:40～17:55)となり、プレゼンテーションを行う。 最終の3回は出席を必須とし、出席回数が11回以上の場合に、期末レポート課題の提出資格を認める。なお、最終成績は期末レポート課題の評価(60%)に発表(内容、発表資料の分かりやすさ、発表の仕方)の評価(40%)を加味して評価する。				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 この授業では、16回にわたって医療人としての専門教育だけでは学べない医療を支える外的な要因(産業界の考え方、コミュニケーションの取り方、製品開発の進め方、それらに関連する知的財産権や薬事規制など)を学習する。更に、自身の考えをまとめて他の人の伝える発表の仕方を学習し、実習する。 この一連の学習は、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXTプログラム)」の一環として実施する。一般的な経済活動の仕組みや視点を理解し、医療分野に限らず新しい「コト」にチャレンジし、自らの志を実現できる医療人の育成を目的とする。					
【到達目標】 医学の発展はめざましく、それに対応するように医薬品や医療機器の分野でのイノベーション(革新的な製品やサービス等)が創出されてきており、医療人の医療知識・技術と共に最先端の医療を支える両輪として働いている。この授業では、自らが医療人となった際に広い視野で物事が捉えられる視点や異分野の人とコミュニケーション力や発表能力を養うことを目標とする。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 12 日	オリエンテーション・医療イノベーション			
2	4 月 19 日	医療と金融			
3	4 月 26 日	異分野とのコミュニケーション①			
4	5 月 10 日	発想をイノベーションに繋ぐには			
5	5 月 17 日	革新的医療機器・システム研究開発			
6	5 月 24 日	デザイン思考			
7	5 月 31 日	バイオデザイン総論(医療現場のニーズ発の医療機器開発)			
8	6 月 7 日	リーダーシップ論			
9	6 月 14 日	広告医学概論			
10	6 月 21 日	異分野とのコミュニケーション②			
11	6 月 28 日	薬事規制			
12	7 月 5 日	健康投資型の医療			
13	7 月 12 日	研究開発と知的財産概論			
14	7 月 19 日	グループワーク(4～5人／グループ)			
15	7 月 26 日	企業における研究開発			
16		プレゼンテーション			

＜教科書・参考書＞

1. 医療イノベーションの本質－破壊的創造の処方箋(碩学舎ビジネス双書) 著:クレイトン・M・クリステンセン他、訳:山本雄士他
(原著)The Innovator's Prescription: A Disruptive Solution for Health Care, Clayton M. Christensen et al.
2. BIODESIGN バイオデザイン日本語版(薬事日報社) 著:ステファノス・ゼニオス他、【監修】一般社団法人日本医療機器産業連合会他
(原著)Biodesign: The Process of Innovating Medical Technologies, Paul G. Yock et al.
3. リーン・スタートアップ ムダのない起業プロセスでイノベーションを生み出す(日経BP社) 著:エリック・リース 訳:井口耕二
(原著)The Lean Startup: How Today's Entrepreneurs Use Continuous Innovation to Create Radically Successful Businesses, Eric Ries

科目番号	13	科目名	おうみ学生未来塾(湖東)		
英 文 科 目 名	Innovation for Community				
大学・短期大学名	滋賀県立 大学				
連 絡 先	彦根市八坂町2500				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	上田 洋平 (地域共生センター 講師)				
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定	会場			
授 業 期 間	2023 年 9 月 11 日 (月) ~ 2023 年 9 月 19 日 (火) <毎週 曜日> 1~5時限・講時 9 : 00 ~ 18 : 00				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (中間・最終レポート, プレゼンテーション)	100			%
別 途 負 担 費 用	(なし) 但し、FW時の交通費等は自己負担 あり()円				
その他特記事項	県立大学以外の学生へのガイダンスは履修登録者に別途案内する。				
＜講義概要・到達目標＞ ※2023度は夏季集中講義期間の9月11日(月)、9月12日(火)～18日(月・祝)のうちのいずれか1日(フィールドワーク配属先ごとに設定)、および9月19日(火)の計3日間開講予定。 地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。 提案した内容が地域で実践されたり、人びととの対話をきっかけに地域での新たな活躍の場を獲得するなど、学生にとっても様々なチャンスにつながる機会になっている。 ① 夏季3日間の集中講義として行う。 ② 学生、院生混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。 ③ 地域から提起されたホットでリアルなフィールドや課題に挑む。 ④ 地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 11 日	地域コミュニティの現状と課題-フィールドワーク対象地の紹介と目標設定			
2	9 月 11 日	レクチャー及びWS 地域再生「10箇条」			
3	9 月 11 日	レクチャー及びWS 地域課題の分析とリサーチクエストの設定①			
4	9 月 11 日	レクチャー及びWS 地域課題の分析とリサーチクエストの設定②			
5	9 月 11 日	フィールドワークの設計			
6	9 月 未定 日	フィールドワーク／WS(地域をあるく・みる・きく)①			
7	9 月 未定 日	フィールドワーク／WS(地域をあるく・みる・きく)②			
8	9 月 未定 日	フィールドワーク／WS(地域をあるく・みる・きく)③			
9	9 月 未定 日	フィールドワーク／WS(地域をかたる・かんがえる)①			
10	9 月 未定 日	フィールドワーク／WS(地域をかたる・かんがえる)②			
11	9 月 19 日	地域再生提案の作成①			
12	9 月 19 日	地域再生提案の作成②			
13	9 月 19 日	地域再生提案の作成③			
14	9 月 19 日	特別レクチャー(一般公開)			
15	9 月 19 日	地域再生提案プレゼンテーションと講評(一般公開)			
＜教科書・参考書＞					

科目番号	14	科目名	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション - 近江の暮らしとなりわい-		
英 文 科 目 名	Ohmi Studies of Community and Lifestyle				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
TEL :	0749-28-8215		FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	上田 洋平			(地域共生センター 講師)	
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定	会場	本学以外の会場(県庁等)で一部開講の場合もある		
授 業 期 間	2023 年 8 月 18 日 (金) ~ 2023 年 8 月 20 日 (日) <毎週 曜日> 1~5時限・講時 9 : 00 ~ 18 : 00				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%		
	そ の 他 (ワークブックへの記入ほか)		100 %		
別途負担費用	(なし)		あり()円		
その他特記事項	大学外の会場で授業を行う場合がある。詳細は別途指示。				
<講義概要・到達目標>					
近江・びわ湖を深堀りすると、ひろい世界につながっていた——。加盟国の圧倒的賛成をもって採択された「SDGs (Sustainable Development Goals: 2015年国連サミット)」をめぐる動きに見られるように、持続可能な共生社会の実現を目指す取り組みが、世界各国で加速している。滋賀県はこの潮流にいち早く呼応し、世界共通の目標を滋賀というローカルな現場で達成することに名乗りをあげ、注目を集めている。					
日本の縮図とも言われ、日本の歴史の舞台裏としても古来重要な位置を占めてきた近江。里山、人山、里湖、里島それぞれの風土に根差して鍛え上げられた近江各地のくらしとなりわい。そこには人々が、また、人と自然が「ともに、ここで、無事に」生きていくために必要な知恵と経験が蓄積されており、それらの多くは、単にローカルな経験に留まらず、持続可能な世界の実現に資する普遍的価値をもつ。					
当科目では、近江のくらしとなりわいの現場における様々なことなみを事例として、持続可能な共生社会の実現に必要な知見を導き出すとともに、SDGsの考え方に照らして、ローカルな現場の実践・課題と、グローバルな実践・課題とがどのように関わっているのか、その関わりによって、どんな未来(グローバル・イノベーション)が実現できるのかについて、様々なゲストと共に議論する。					
(到達目標)					
(1)地域の風土とそれに根差したくらしとなりわいの概要や特質を、具体的な地域の暮らしや事業の事例を踏まえて理解し説明できること。(2)SDGsの考えに照らして、グローバルな課題・目標とローカルな解決・実践とのかかわりを理解し説明できること (3)持続可能な共生社会を担い創造する主体としての自己の役割と可能性について各自の意見を形成すること。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	8 月 18 日	くらしとなりわい・SDGsと近江の“ビジネス”モデル			
2	8 月 18 日	特別講義・SDGsと滋賀の挑戦:			
3	8 月 18 日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題①			
4	8 月 18 日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題②			
5	8 月 18 日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題③			
6	8 月 19 日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム①			
7	8 月 19 日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム②			
8	8 月 19 日	特別講義・グローバルイノベーション・企業の挑戦			
9	8 月 19 日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦①			
10	8 月 19 日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦②			
11	8 月 20 日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造①			
12	8 月 20 日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造②			
13	8 月 20 日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる①			
14	8 月 20 日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる②			
15	8 月 20 日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる③			
<教科書・参考書>					
授業の参考となるサイト SDGsTV(SDGsに関する映像・情報サイト)					

科目番号	15	科目名	地域コミュニケーション論		
英 文 科 目 名	Communication Theory in Local Areas				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	上田 洋平			(地域共生センター 講師)	
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定		会場		
授 業 期 間	2024 年 2 月 9 日 (金) ~ 2024 年 2 月 11 日 (日) <毎週 曜日> 1~5時限・講時 9 : 00 ~ 18 : 00				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%	
	そ の 他 (ワークブックへの記入ほか)			100 %	
別 途 負 担 費 用	あり(なし)円				
その他特記事項	県立大学以外の学生へのガイダンスは履修登録者に別途案内する。				
<講義概要・到達目標>					
コミュニケーションとは何だろうか。「自分の意見が言える」こと? 「人の話が聞ける」こと? それとも「空気を読む」ことだろうか?					
当講義では「communicāre(分かち合う、共有する)」というこの語の由来に立ち返り、コミュニケーションとは何か、また地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景等について概観した上で、産官学さまざまな立場・現場で活躍する地域人との対話や共同作業を通じて、リアルな地域課題を地域に関わる皆で分かち合い、その解決策を立案するための基礎能力を身に付けること、「浴びるように他者と出会い、対話し、作業する」3日間の過程を通して「コミュニケーションの基礎体力」を養うことを目指す。(到達目標)					
(1)地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景や意味について理解し説明することができる。					
(2)対話や課題抽出、成果のとりまとめにかかる基礎的な技法について理解し実践することができる。					
(3)上記の理解と実践に基づきチームワークによって成果を取りまとめることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	2 月 9 日	オリエンテーション「自分探求」			
2	2 月 9 日	特別レクチャー①			
3	2 月 9 日	レクチャー&演習:「グラフィックレコーディングの技法と思想①—議論やアイデアを可視化してわかちあう」			
4	2 月 9 日	レクチャー&演習:「グラフィックレコーディングの技法と思想②—議論やアイデアを可視化してわかちあう」			
5	2 月 9 日	レクチャー／後半は学生個人ワーク			
6	2 月 10 日	学生×学生ダイアログ①「隣人の伝記」			
7	2 月 10 日	特別レクチャー②			
8	2 月 10 日	学生×地域人ダイアログ 「明日も好い転機」①			
9	2 月 10 日	学生×地域人ダイアログ 「明日も好い転機」②			
10	2 月 10 日	レクチャー／後半は学生個人ワーク			
11	2 月 11 日	学生×学生ダイアログ②			
12	2 月 11 日	特別レクチャー②			
13	2 月 11 日	学生×地域人ダイアログ「居合わせから仕合わせを」①			
14	2 月 11 日	学生×地域人ダイアログ「居合わせから仕合わせを」②			
15	2 月 11 日	まとめ			
<教科書・参考書>					

科目番号	16	科目名	世界遺産のまちづくり・ひとづくり		
英 文 科 目 名	World Heritage Studies;City Plannig & Human Resource Development				
大学・短期大学名	滋賀県立		大学		
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	上田 洋平		(地域共生センター 講師)		
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定	会場	本学以外の会場も使用予定		
授 業 期 間	2023 年 10 月 2 日 (月) ~ 2024 年 1 月 29 日 (月) <毎週 月 曜日> 3時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 40				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		60 %		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%		
	そ の 他 (議 論 、 調 査 ・ 提 案)		40 %		
別 途 負 担 費 用	(なし)		あり () 円		
その他特記事項	但し、期間中の土曜日に彦根城の現地見学をする予定				
<講義概要・到達目標>					
世界遺産とそれをめぐる人びとの営みについて様々な視点から議論することを通じて、地域固有の文化及び自然の遺産を守り・活かすまちづくりとそれを担う人材について総合的に学ぶ。 具体的には世界遺産とそれに関わるまちづくりについての基本・本質を押さえたうえで、全国各地の世界遺産及び世界遺産をめぐると状況に題材を採ったケースメソッド、彦根城(およびその関連遺産)の世界遺産登録に向けた産官民の取り組みを生きた教材とするワークショップ、文化遺産を活かしたまちづくり事業の提案等に取り組む。 これによりまちづくりの現場で生きる知と実践力、さらには世界市民として当事者として活動する動機や心構えを体得する。 国内世界遺産都市の担当者や当事者をゲストに招き、また、2024年に世界遺産登録を目指す彦根市の関係者や当事者とともに学ぶ。					
(到達目標)					
(1)世界遺産の本質について理解し説明できる。					
(2)世界遺産のまちづくりを進める上での課題とその解決の方向性について理解し説明できる。					
(3)世界遺産都市の「まちづくり」「ひとづくり」「なりわいづくり」について考えをまとめ・提案できる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	10 月 2 日	世界遺産とは何か——世界遺産から何を学び、どう活かすか			
2	10 月 9 日	世界遺産は誰のもの?——文化財保存と文化資源活用の動向			
3	10 月 16 日	世界遺産の保護とその危機——文化資源の持続可能な保護を目指して			
4	10 月 23 日	世界遺産と現代都市——新旧共存のための戦略と制度			
5 6	10 月 28 日	フィールドワーク——彦根城			
7	10 月 30 日	世界のなかの彦根と彦根城——彦根における取り組みの現状と課題			
8	11 月 13 日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して①			
9	11 月 20 日	世界遺産と企業活動——まちづくりに果たす企業の役割とその矜持(しごと)			
10	11 月 27 日	まちの宝を次世代につなぐ——世界遺産と人材育成(ひと)			
11	12 月 4 日	世界遺産のまちづくり——官民一体で守り・活かす世界遺産(まち)			
12	12 月 11 日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して②			
13	12 月 18 日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して③			
14	12 月 25 日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して④			
15	1 月 22 日	ワークショップ成果報告会 & 交流会			
<教科書・参考書>					

科目番号	17	科目名	びわこ環境行政論		
英 文 科 目 名	Lake Biwa Environmental Policy and Management				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	堀 啓子			(環境科 学部 講師)	
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定		会場		
授 業 期 間	2023 年 10 月 2 日 (月) ~ 2024 年 1 月 29 日 (月) <毎週 月 曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		25	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%	
	そ の 他 (毎 回 の 小 テ ス ト)		75	%	
別 途 負 担 費 用	(な し)		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	ゲスト講師の都合により、講義の順序が入れ替わることがある。				
<講義概要・到達目標>					
地方自治体の政策は、開発と保全の両方から地域環境に大きな影響を及ぼす。滋賀県をフィールドに各分野の政策立案にかかわる行政担当者の講義を通じて、地域環境政策の課題を学び、琵琶湖という環境資産をもつ地域の持続可能な発展への政策とその実施について考える。					
(到達目標)					
(1)滋賀県の現行の各種環境政策を説明できる。					
(2)滋賀県の環境政策の変遷を説明できる。					
(3)持続可能な滋賀社会のビジョンについて自らの考えを述べることができる。					
(4)持続可能な滋賀社会を実現する政策について自らの考えを述べることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	10 月 2 日	環境問題の変遷と環境行政			
2	10 月 9 日	今日の環境行政の課題			
3	10 月 16 日	琵琶湖の総合保全の取り組み			
4	10 月 23 日	びわ湖の現状と課題(生態環境)			
5	10 月 30 日	びわ湖の現状と課題(水質環境)			
6	11 月 13 日	自然環境保全政策の現状と課題			
7	11 月 20 日	環境共生をめざす農業政策			
8	11 月 27 日	環境共生をめざす森林政策			
9	12 月 4 日	水環境保全政策の現状と課題			
10	12 月 11 日	資源循環政策の現状と課題			
11	12 月 18 日	循環型社会の産業政策			
12	12 月 25 日	地球温暖化対策の現状と課題			
13	1 月 15 日	低酸素社会実現のための政策			
14	1 月 22 日	持続可能な滋賀社会のイメージ			
15	1 月 29 日	持続可能社会と環境政策			
<教科書・参考書>					

科目番号	18	科目名	地域産業・企業から学ぶ社長講義		
英 文 科 目 名	Top Lecture				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215		FAX :	0749-28-8472
担 当 教 員	高松 徹 (学生支援センター 学部 特任教授)				
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定		会場		
授 業 期 間	2023 年 10 月 2 日 (月) ~ 2024 年 1 月 29 日 (月) <毎週 月曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			20 %	
	そ の 他 (毎 回 の 課 題 レ ポ ー ト)			80 %	
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円				
そ の 他 特 記 事 項	ゲスト講師の都合により、講義の順序や企業が入れ替わることがある。				
<講義概要・到達目標>					
滋賀県の産業・経済の特徴を行政や金融からの視点で理解するとともに地元の産業構造や地元産業界、地域企業が抱える課題や特色を学ぶ。さらに、滋賀県の代表企業等のトップに産業界ニーズ、社会人として要求される人材、およびこれから社会人になる学生に期待される能力などについて直接学生に語っていただく。講義依頼先は、毎年同じではなく、変更することがある。毎回、講義当日に講義担当者から出される講義に関する課題レポートを提出する。講義に関する質問は、講義終了直後でも受け付け、その場で回答していただくが、後日でも受け付け、質問・回答を講義サイトに掲示する。課題レポート、講義後質問のためのファイルは県立大学のポータルサイトまたはTeamsを使って掲示し、ダウンロードして、作成後提出する。提出期限は、講義終了後1週間程度とする。					
(到達目標)					
(1)滋賀県の経済・産業の特徴を理解すること					
(2)情報の整理力と理解力(各講義内容を系統づけて理解できる。)					
(3)課題発見力(講義内容から重要な情報を整理し自己のキャリアに繋げる課題を発見できる。)					
(4)コミュニケーション力(講義中の質疑応答、グループディスカッションでの質疑応答ができる。)					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	10 月 2 日	本講義の意義と役割について、各回の講師の説明			
2	10 月 9 日	行政から見た滋賀県の地域産業の課題とその解決策について			
3	10 月 16 日	金融経済の視点から見た滋賀県の地域産業の課題とその解決策について			
4	10 月 23 日	大津市から代表企業1社			
5	10 月 30 日	就職活動の基礎(1)			
6	11 月 13 日	栗東市から代表企業1社			
7	11 月 20 日	大津市から代表企業1社			
8	11 月 27 日	草津市から代表企業1社			
9	12 月 4 日	彦根市から代表企業1社			
10	12 月 11 日	草津市から代表企業1社			
11	12 月 18 日	大津市から代表企業1社			
12	12 月 25 日	守山市から代表企業1社			
13	1 月 15 日	米原市から代表企業1社			
14	1 月 22 日	湖南市から代表企業1社			
15	1 月 29 日	就職活動の基礎(2)			
<教科書・参考書>					

科目番号	19	科目名	近江学入門	
英 文 科 目 名	Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)			
大学・短期大学名	滋賀短期		大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 学務課			
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124
担 当 教 員	秋山 元秀		(学長)	
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教 室 名	未定		会場	
授 業 期 間	2023 年 4 月 13 日 (木) ~ 2023 年 7 月 20 日 (木) <毎週 木 曜 日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		20 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40 %	
	そ の 他 (小 テ ス ト)		40 %	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の概要】				
近江は「道の国」「商人(あきんど)の町」「魚米の郷」という3つの面から、その特色を説明できる。すなわち古代に生まれた東海道、東山道(のちの中山道)、北陸道という全国レベルの幹線路が縦横に走り、その交通が国の基盤を作った。そしてこの交通を利用した商業活動が盛んになり、全国を舞台に近江出身の商人が活躍した。かれらは故郷の地域発展に貢献した。琵琶湖を中心にした広い平野をもつ近江は、豊かな農業生産によって米どころとなり、琵琶湖と周辺河川の水産業とあいまって、生活基盤となる農村をつくりあげた。				
授業では、この3つのテーマをいろいろなエピソードをとりあげて、近江の歴史や地理ををあまり知らない人でもわかりやすいように話していく。授業ではアクティブラーニングの手法を取り入れ、積極的な発言や討論ができるようにする。				
【授業の到達目標】				
・大学の所在する滋賀県について親しみをもち、滋賀県のことに関心をもつことができるようになる。				
・近江の歴史的特徴と、そこではぐくまれた多様な地域文化を知り、それが現在の滋賀県の基盤になっていることが理解できるようになる。				
・その上で、自分がよく知っている身近な地域が、滋賀県内でどのような位置を占めるか説明できるようになる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 13 日	オウミ(近江・淡海)とはどんな意味? シガ(滋賀・志賀)とは?		
2	4 月 20 日	近江の歴史を知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか?		
3	4 月 27 日	道の国近江とは? 近江を走る街道について知ろう		
4	5 月 4 日	東海道とその宿場、どんな町がある?		
5	5 月 11 日	中山道とその宿場、どんな町がある?		
6	5 月 18 日	近江商人とはどんな人たち?		
7	5 月 25 日	江州米というのはなぜ? 近江の産業は?		
8	6 月 1 日	フナずしを食べたことありますか?		
9	6 月 8 日	びわ湖でとれる魚とその料理法を知ってる?		
10	6 月 15 日	近江の各地を訪問してみよう。まず大津。大津はどんな町?		
11	6 月 22 日	湖西の町、坂本・堅田などへ行ったことがありますか? 高島は?		
12	6 月 29 日	国宝彦根城を見たことがありますか? 彦根は典型的な城下町、それはどこでわかる?		
13	7 月 6 日	湖北と長浜。長浜では何を見ればいいのか?		
14	7 月 13 日	甲賀。忍者の故郷? 信楽焼はなぜたぬき?		
15	7 月 20 日	皆さんの滋賀でおすすめはどこ?		
<教科書・参考書>				
【教科書】なし				
【参考書】授業中紹介する				

科目番号	20	科目名	数の不思議	
英 文 科 目 名	Wonder of Mathematics			
大学・短期大学名	滋賀短期		大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 学務課			
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124
担 当 教 員	久米 央也 (幼児教育保育 学科 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	未定	会場		
授 業 期 間	2023 年 9 月 28 日 (木) ~ 2024 年 1 月 11 日 (木) <毎週 木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		20	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40	%
	そ の 他 (小 テ ス ト)		40	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の概要】 小学校教員の経験を持つ教員が担当する。 数・量・図形に関する古来からの各国の様々な問題やパズルを解説を加えながら一緒に考えグループで検討していく。その中で、数学の歴史や、数の持つ美しさ、不思議さを実感していく。				
【授業の到達目標】 ・数・量・図形に関する各国の古来からの問題やパズルを解く中で、数学の歴史を学び、数学的思考力を身につけることができる。 ・数・量・図形の美しさや不思議さに触れることで、数学に興味・関心を持って積極的に授業に参加できる。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	9 月 28 日	オリエンテーション 論理力(うそつき問題) 直観力(マッチ棒問題) 数の不思議(答えの予言の謎)		
2	10 月 5 日	論理力(川渡し問題) 数の不思議(電卓の謎・9999の謎) 数の誕生 数字の進化		
3	10 月 12 日	直観力(マッチ棒問題・コイン問題)ガウスの定理 123123の謎 0の発見(十進位取り記数法の誕生)		
4	10 月 19 日	17列目の謎を解く 数列の不思議(ピザを切ったら) フィボナッチ数列の不思議 素数の不思議		
5	10 月 26 日	142857の謎(巡回数) パンデigital 世界最古の魔方陣の不思議 いろいろな魔方陣		
6	11 月 2 日	かけ算ピラミッドの謎 立体図形の不思議 プラトン立体・サッカーボールの謎		
7	11 月 9 日	平面図形の不思議 消えた1cm ² タングラム		
8	11 月 16 日	12345679の謎 移動の不思議 究極のパズル(ハノイの塔) パラドックスの不思議 (アキレスと亀)		
9	11 月 23 日	カプレカ数 一筆書きの不思議 ケーニヒスベルクの橋 オイラーの定理		
10	11 月 30 日	数と比の不思議 黄金比・白銀比		
11	12 月 7 日	÷99の謎 17÷4の謎 小テスト		
12	12 月 14 日	測定の不思議(古代の測定) ピタゴラスの定理 エラトステネスの発見(地球を測定)		
13	12 月 21 日	塵劫記を解く 俵杉算・カラス算・盗人算・入れ子算		
14	1 月 4 日	塵劫記を解く 覆面算・盗人隠・小町算・円陣		
15	1 月 11 日	まとめ 数の不思議を振り返る、小テスト		
<教科書・参考書>				
【教科書】なし				
【参考書】なし				

科目番号	21	科目名	ラッピング演習				
英 文 科 目 名		Seminar in wrapping					
大学・短期大学名		滋賀短期				大学	
連 絡 先		滋賀短期大学 学務課					
		TEL :		077-524-3638		FAX : 077-523-5124	
担 当 教 員		灰藤友理子				(生活 学科 講師)	
実 施 方 法		対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用	
教 室 名		未定		会場			
授 業 期 間		2023 年 9 月 26 日 (火) ~ 2024 年 1 月 16 日 (火) <毎週 火曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 14 : 50					
超過時の選考方法							
成 績 評 価 方 法		定 期 試 験 (筆 記)				60 %	
		レ ポ ー ト 試 験 (期 末)					
		平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				10 %	
		そ の 他 (小 テ ス ト)				30 %	
別 途 負 担 費 用		なし		あり () 円			
そ の 他 特 記 事 項							
<講義概要・到達目標>							
【授業の概要】 一般社団法人全国製菓衛生師養成施設協会の認定を受けたパティスリーラッピング検定の取得を目指す演習である。 ラッピングは商品価値を高める大切な要素であり、ショップの品格を左右するものといわれている。単に商品を包むことだけではなく、「ラッピングは相手へのおもてなし」と心得て、日本や西洋の贈り物の知識、常識を学び、基礎・技術を身につける。ラッピングには様々な方法があるが、1つ1つを正確に丁寧に取り組み、くり返し練習する。練習はグループワークで実施し、互いに確認し合いながら改善点を検討する。授業終了後に実施する筆記試験、実技試験に合格することで、パティスリーラッピング検定の資格を取得できる。							
【授業の到達目標】 ・ラッピングに関する歴史や知識を学び、基本的な包み方やリボンの結び方を習得する。 ・パティスリーラッピング検定を取得する。							
<授業スケジュール>							
回	月 日		テーマ・キーワード				
1	9 月	26 日	パティスリーラッピングを始める前に ラッピングの資材 年中行事・ギフトラッピングの特徴 のし紙について				
2	10 月	3 日	カッターナイフの扱い方 きれいな蝶結び				
3	10 月	10 日	合わせ包み、リボンのかけ方 1 合わせ包みのポイントを知る ボーダーリボン、ストライプリボン				
4	10 月	17 日	合わせ包み、リボンのかけ方 2 異なるサイズの箱の合わせ包み 表裏のあるリボンの蝶結び				
5	10 月	24 日	合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン チェックテスト				
6	10 月	31 日	斜め包み、慶弔の包み方の違い 1 斜め包みのポイントを知る				
7	11 月	7 日	斜め包み、慶弔の包み方の違い 2 ペーパーの見積りと包装				
8	11 月	14 日	斜め包み、慶弔の包み方の違い 3 チェックテスト				
9	11 月	21 日	スクエア包み、十字掛け 1				
10	11 月	28 日	スクエア包み、十字掛け 2 チェックテスト				
11	12 月	5 日	リボンの応用 リボンカット、コサージュ作り				
12	12 月	12 日	包み方の応用 円柱包み、プリーツ包み				
13	12 月	19 日	ギフトラッピング 1 資材の選択				
14	1 月	9 日	ギフトラッピング 2 合わせ包み、十字掛け、蝶結び				
15	1 月	16 日	ギフトラッピング 3 資材選択からラッピングまでを完成させる				
<教科書・参考書>							
【教科書】『パティスリーラッピング教本』一般社団法人全国製菓衛生師養成施設協会(一般社団法人全国製菓衛生師養成施設協会) 価格(本体1,045円+税) 【参考書】なし							

科目番号	22	科目名	地域づくり論	
英 文 科 目 名	Studies of Community Planning			
大学・短期大学名	滋賀短期		大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 学務課			
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124
担 当 教 員	江見 和明 (ビジネスコミュニケーション 学科 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	未定	会場		
授 業 期 間	2023 年 9 月 27 日 (水) ~ 2024 年 1 月 17 日 (水) ＜毎週 水 曜 日＞ 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 10			
超過時の選考方法				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		30	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		20	%
	そ の 他 (プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン)		50	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項				
＜講義概要・到達目標＞				
【授業の概要】 地域社会は、少子高齢化・人口減少の進展とともに、地域経済も低迷し、中心市街地、商店街の空洞化、山間部の過疎化等多くの課題を抱えている。 この講義では、ケーススタディにより地域づくりを多面的な角度より考察し、地域づくりに参加し、企画提案できる資質を醸成する。 滋賀県や大津市の職員の方に講演していただき、地域づくりの最前線について学んでもらう。アクティブラーニングとして、県や市の担当者の方との意見交換を行う。				
【授業の到達目標】 ・私たちの学び舎のある大津市や滋賀県の歴史や文化、産業についての知識を身につけられる。 ・県内各地の地域づくり、さまざまな地域資源について知り、県内各地のまちづくりの活動事例を学ぶことを通して、自分たちの住む町の情報スペシャリストになることを目指す。 ・地域づくりについて企画提案できるようになる。				
＜授業スケジュール＞				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	9 月 27 日	オリエンテーション 地域とのつながりを考える		
2	10 月 4 日	地域とは何か 地域の未来ビジョンを考える		
3	10 月 11 日	地域と文化		
4	10 月 18 日	地域社会が抱える問題・課題		
5	10 月 25 日	滋賀県の地域政策Ⅰ		
6	11 月 1 日	滋賀県の地域政策Ⅰ 振り返り		
7	11 月 8 日	滋賀県の地域施策Ⅱ 観光政策		
8	11 月 15 日	滋賀県の地域施策Ⅱ 観光政策 振り返り		
9	11 月 22 日	大津市の地域づくりⅠ 歴史と文化を活かしたまちづくり		
10	11 月 29 日	大津市の地域づくりⅠ 振り返り		
11	12 月 6 日	大津市の地域づくりⅡ スポーツとまちづくり		
12	12 月 13 日	大津市の地域づくりⅡ 振り返り		
13	12 月 20 日	グラフィックレコーディングについて知る		
14	1 月 10 日	自分の地元の魅力を見直してみよう		
15	1 月 17 日	地域づくりプラン発表		
＜教科書・参考書＞				
【教科書】なし				
【参考書】なし				

科目番号	23	科目名	地域ビジネス論		
英 文 科 目 名	Studies of Community Business				
大学・短期大学名	滋賀短期			大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 学務課				
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124	
担 当 教 員	江見 和明 (ビジネスコミュニケーション 学科 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	未定		会場		
授 業 期 間	2023 年 9 月 29 日 (金) ~ 2024 年 1 月 19 日 (金) <毎週 金 曜 日> 4 時限・講時 15 : 00 ~ 16 : 30				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			20	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			30	%
	そ の 他 (発 表)			50	%
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円				
その 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要】 本講義では、コミュニティ・ビジネスや社会的企業といった、地域社会が抱える問題をビジネスを通して解決するという企業のあり方について学ぶ。 実際に地域のために頑張っている起業家の方に講演していただく。そして、それをヒントに皆さんに実際にコミュニティ・ビジネスのビジネスアイデアを考え、レポートにまとめてもらう(アクティブラーニング)。					
【授業の到達目標】 ・コミュニティ・ビジネスや社会的企業という社会が抱える問題・課題を解決することを目的とした企業のあり方について理解できる。 ・ベンチャー企業の支援、起業家の育成の重要性について理解できる。 ・ビジネス・プラン作成のポイントについて理解できる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	9 月 29 日		イントロダクション 社会的企業・コミュニティ・ビジネスについて学ぶ目的		
2	10 月 6 日		地域の役に立つ企業の在り方について		
3	10 月 13 日		イノベーションと企業の在り方 AI,IoT,ロボット		
4	10 月 20 日		地域の抱える問題と地域活性化への取り組み		
5	10 月 27 日		事業コンセプトとは何か 3C分析について		
6	11 月 10 日		コミュニティ・ビジネスと社会起業家		
7	11 月 17 日		コミュニティ・ビジネス事例研究I まつづくりプランナーの仕事		
8	11 月 24 日		事例研究Iの振り返り		
9	12 月 1 日		コミュニティ・ビジネス事例研究II 高齢者関連ビジネス		
10	12 月 8 日		事例研究IIの振り返り		
11	12 月 15 日		コミュニティビジネス事例研究III ユニバーサルツーリズムの推進		
12	12 月 22 日		事例研究IIIの振り返り		
13	1 月 5 日		ビジネスプラン作成のポイントI 自分の価値観・理念を明確にする		
14	1 月 12 日		ビジネスプラン作成のポイントII 顧客に価値を提供する事業の仕組みを考える		
15	1 月 19 日		プレゼンテーション		
<教科書・参考書>					
【教科書】なし 【参考書】なし					

科目番号	24	科目名	地域の歴史と民俗文化	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀文教短期		大学	
連 絡 先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係			
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921
担 当 教 員	中島 誠一		(	国文学科 非常勤講師)
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教 室 名	本館3階 305教室	会場	滋賀文教短期大学	
授 業 期 間	2023 年 4 月 14 日 (金) ~ 2023 年 7 月 28 日 (金) <毎週 金曜日> 2 時限・講時 10 : 45 ~ 12 : 15			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		30	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		50	%
	そ の 他 (小 テ ス ト)		20	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	<授業形態> 新型コロナウイルスの拡大状況により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。 <欠席連絡> 本学のホームページで公開しているシラバスでは、欠席連絡は講師に直接行うよう指示していますが、単位互換制度を利用する学生については、学務課教務係に連絡してください。 <その他> ①学んだことは博物館や現地で再確認し、より深化させ自分の知識欲をパワフルに発揮しよう。 ②授業に関する質問や授業方法に対する意見があれば、授業終了後、受け付けます。またメールでも回答します。 ③前半授業の理解度を確認するため小テストを8回目の授業で実施します。答えは返却しませんが、9回目の授業でテストの全体講評を行います。 ④全般的な理解度を確認するため定期テストを16回目に実施します。答えは返却しませんが質問があればメールで受け付け、メールもしくは書簡で回答します。			
<講義概要・到達目標> 【講義概要】 授業では、まず大学の立地する田村地域を中心に現地踏査学習をおこない、身の回りの文化的遺産を体験する。次に学習の範囲を、湖北全域に拡大し、パワーポイント、DVDを使った視聴などを交え、人々が継承する種々の生活文化財を学ぶ。そして長浜の基礎を築いた羽柴秀吉による城下町形成がもたらした文化的影響を2016年12月ユネスコ無形文化遺産登録となった長浜曳山祭や町づくりの姿から通観する。これらから湖北地域の豊かな歴史文化遺産を体験し、学び、生涯の糧となるよう授業を進めていく。 【到達目標】 1.人々の暮らしの中に息づく祭りや、特徴ある習俗に目を向け、地域の個性について理解する力を身に着けることができる。 2.湖北地域の歴史遺産が人々の生活に欠くことのできないものであることを、学習を通じて体得することによって自分の住む地域の様々な問題、課題について解決能力を身に着けることができる→期末テストによって自身の習得結果を確認することができる。				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 14 日	湖北の歴史文化遺産PPTガイダンス。年間の学習内容説明
2	4 月 21 日	田村の歴史文化遺産－田村山登山＆村の中を歩いて考える－（フィールドワーク）
3	4 月 28 日	ユネスコ無形文化遺産－長浜曳山祭の行事内容について学ぶ－
4	5 月 12 日	曳山文化の伝播－湖北を中心とした曳山祭の関連性について考える－
5	5 月 19 日	湖北地域の雨ごい信仰の多様性－竜神信仰と太鼓踊りの関連を知る－
6	5 月 26 日	近江で行われた雨ごい行事－竜神信仰と太鼓踊りの関連を学ぶ－
7	6 月 2 日	湖北のオコナイ行事－なぜこの行事は根付いているのか考える－
8	6 月 9 日	1～7回までの学習について振り返り、自分の進捗度を測る－小テスト－
9	6 月 16 日	湖北の村の暮らし－長浜市西浅井町月出－過疎化と郷土愛
10	6 月 23 日	湖北の村の暮らし－長浜市西浅井町菅浦－伝統と村の組織
11	6 月 30 日	発展する明治の長浜－大商人たちの活躍－現在の長浜との関連
12	7 月 7 日	長浜の食事－祭りと日常－ 鯖素麺、講汁、鮎鮓
13	7 月 14 日	長浜の諸職－鍛冶屋、鼻緒、竹細工、提灯
14	7 月 21 日	長浜の諸職－長浜仏壇と曳山修理
15	7 月 28 日	歴史と民俗文化について振り返る
＜教科書・参考書＞		
＜教科書＞		
特にないが、授業の都度、新聞記事やSNSからの各種情報をテキストとして配布するので講義のNo.日付をつけて整理しておくことが大事。まとめれば湖北を知る事典として活用できるはず。		
＜参考書＞		
・中島誠一 著『川道のオコナイ 湖北に春を呼ぶ - 俵鏡餅』（サンライズ出版、2011年）		
・中島誠一 監修『近江の祭りを歩く』（サンライズ出版、2012年）		
・長浜城歴史博物館特別展 図録『近江のオコナイ』『山車・屋台・曳山』『手仕事を伝える』『神になった秀吉』等		

科目番号	25	科目名	近江学A				
英 文 科 目 名							
大学・短期大学名		成安造形				大学	
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1					
		TEL :		077-574-2113		FAX : 077-574-2120	
担 当 教 員		加藤賢治・仁連孝昭(特別講師)				(芸術 学部 教授)	
実 施 方 法		対面授業					
教 室 名		未定		会場			
授 業 期 間		年 月 日 () ~		年 月 日 ()			
		<毎週 曜日>		時限・講時		: ~ :	
超過時の選考方法							
成績評価方法		定 期 試 験 (筆 記)				%	
		レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				30 %	
		平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				50 %	
		そ の 他 (プ レ ゼ ン 評 価)				20 %	
別 途 負 担 費 用		集合場所までの交通費(金額は各自で異なる)、入館料等(1000円程度)が必要					
そ の 他 特 記 事 項		授業連絡等、Googleクラスルーム、Googleフォームを使用します 出席率の低いものは不可					
<講義概要・到達目標>							
【講義概要】							
成安造形大学が位置する近江(滋賀県)は中央に位置する琵琶湖とそれを囲むように連なる美しい山々という恵まれた自然環境を有するフィールドです。それだけでなく、古代から文化が形成されてきたために、多くの文化遺産を保有し、その伝統を今に伝えています。この科目は、本学近くにある大津市の中心市街地をフィールドワークしながら、地域の人々との交流の中で、地域文化を体感します。このように、伝統的な風習を残す地域を積極的に検証することで、21世紀に息づく普遍的な価値観を身につけ、自らの作品制作や未来の生活に活かすことを目的とします。※この科目は、一般社団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム「おうみ学生未来塾」の提供科目となっています。コンソーシアム加盟大学の学生が履修し、他大学の学生との交流も深まります。							
【この授業は、ハイブリッド(対面と遠隔の併用)で実施します。】							
【到達目標】							
1 先人の知恵をたどり、今に伝えられる大切な事象を捉えて今に活かすことができる							
2 どこかの地域においても活かすことのできる普遍的な価値観を身につけることができる							
3 グループワーク・ディスカッションを通じてまとめる力や発表する力を身につけることができる							
<授業スケジュール>							
回	月 日		テーマ・キーワード				
1	月	日	ガイダンス フィールドワークの概要と目的				
2	月	日	フィールドワーク「比叡山延暦寺①」東塔の見学				
3	月	日	フィールドワーク「比叡山延暦寺②」西塔の見学				
4	月	日	フィールドワーク「比叡山延暦寺③」行者道の見学				
5	月	日	フィールドワーク「比叡山延暦寺④」横川の見学				
6	月	日	フィールドワーク「門前町坂本①」公人屋敷の見学				
7	月	日	フィールドワーク「門前町坂本②」里坊 律院の見学				
8	月	日	フィールドワーク「門前町坂本③」日吉大社の見学				
9	月	日	フィールドワーク「門前町坂本④」滋賀院門跡と穴太衆積みの見学				
10	月	日	フィールドワークまとめのグループディスカッション(現地)				
11	月	日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)				
12	月	日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)				
13	月	日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)				
14	月	日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)				
<教科書・参考書>							
適宜プリントを配布							

科目番号	26	科目名	デザイン史概説A	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名		成安造形		大学
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1		
		TEL :	077-574-2113	FAX : 077-574-2120
担 当 教 員		島先 京一 (芸術 学部 教授)		
実 施 方 法		対面授業		
教 室 名		未定	会場	
授 業 期 間		2023 年 4 月 18 日 (火) ~ 2023 年 7 月 25 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40		
超過時の選考方法				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		40 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 (ミ ニ レ ポ ー ト)		60 %	
別 途 負 担 費 用		なし		
そ の 他 特 記 事 項		・参考になる資料を指示するので、18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパの歴史について概観しておくこと。 ・オリジナルのノート作成を心掛けること		
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 18世紀から19世紀にかけての産業革命は、人びとの生活を激変させた。特に、生活に用いる、様々な道具やモノ、或いは環境を形成するものづくりの現場は、大きな影響を受けた。それ以前には職人の手で一つひとつが手工作で制作されていたものが、機械によって一度に大量に生産されるようになったのである。この講義では、ものづくりの現場への機械の導入をめぐる、様々な工芸家やデザイナーの苦闘の跡を探っていく。そのことを通して、近代デザインの考え方の基礎の成立について知ることを目的とする。				
【到達目標】 (1) 歴史という概念の相対性について考えることができる (2) デザインが社会の関係について考えることができる (3) 機械によるモノ作りとしてのデザインについて考えることができる				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 18 日	歴史とは何か		
2	4 月 25 日	産業革命の概要を考える		
3	5 月 9 日	産業革命とものづくり		
4	5 月 16 日	イギリス社会の階層性		
5	5 月 23 日	アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革		
6	5 月 30 日	1851年の万国博覧会		
7	6 月 6 日	ウィリアム・モリスの活動の概要		
8	6 月 13 日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目		
9	6 月 20 日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目		
10	6 月 27 日	美術工芸運動		
11	7 月 4 日	アール・ヌーヴォーの概要		
12	7 月 11 日	フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー		
13	7 月 18 日	スコットランド、カタロニア、オーストリアのアール・ヌーヴォー		
14	7 月 25 日	アール・ヌーヴォーのデザイン史上の意味		
<教科書・参考書>				
参考になる資料を授業の進行に合わせて紹介します。				

科目番号	27	科目名	デザイン史概説B		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	成安造形			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1				
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120	
担 当 教 員	島先 京一 (芸術 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	未定	会場			
授 業 期 間	2023 年 10 月 3 日 (火) ~ 2024 年 1 月 16 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		40 %		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%		
	そ の 他 (ミ ニ レ ポ ー ト)		60 %		
別 途 負 担 費 用	なし				
そ の 他 特 記 事 項	・第1次世界大戦前後のヨーロッパの歴史について復習しておくこと。 ・オリジナルのノート作成を心掛けること。				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 19世紀の末から20世紀の初頭にかけて、ものづくりの現場への機会の導入はさらに進んだが、先進的なデザイナーたちの様ざまな努力にもかかわらず、機械を使いこなすための確固たる方法論は未だ見出されていなかった。この授業では、アメリカの建築、ドイツ工作連盟、抽象絵画の成立、オランダのデ・ステイル、そしてバウハウスを取り上げ、モダンデザインの成立について考えることを目的としている。					
【到達目標】 (1)デザインと社会の関係について考えることができる (2)近代から現代に至る文化の変遷や、社会とアートの関係性を理解し、今後の学びに活かすことができる (3)モダン・デザインの成立について考えることができる					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	10 月 3 日	ウィーン工房のデザイン			
2	10 月 10 日	高層建築の起源			
3	10 月 17 日	シカゴの建築			
4	10 月 24 日	フランク・ロイド・ライトの建築			
5	10 月 31 日	ドイツ工作連盟の成立			
6	11 月 7 日	ドイツ工作連盟における規格化をめぐる論争			
7	11 月 14 日	絵画におけるリアリズムの意味			
8	11 月 21 日	印象派と立体派			
9	11 月 28 日	幾何学的抽象絵画の成立			
10	12 月 5 日	幾何学的抽象絵画とデザイン 1回目			
11	12 月 12 日	幾何学的抽象絵画とデザイン 2回目			
12	12 月 19 日	バウハウス成立の背景			
13	1 月 9 日	初期バウハウスの教育			
14	1 月 16 日	バウハウスにおけるモダンデザインの成立			
<教科書・参考書>					
参考になる資料を授業の進行に合わせて紹介します。					

科目番号	28	科目名	東洋・日本美術史概説A		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		成安造形		大学	
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
		TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担 当 教 員		小 寄 善 通 (芸 術 学 部 教 授)			
実 施 方 法		対面授業			
教 室 名		未定	会場		
授 業 期 間		2023 年 4 月 19 日 (水) ~ 2023 年 7 月 26 日 (水) <毎週 水曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%		
	そ の 他 (各 回 ご と の 授 業 内 試 験)		100 %		
別 途 負 担 費 用		なし			
そ の 他 特 記 事 項		・授業開始前にメール送付するガイダンス資料を熟読しておくこと。 ・授業でのスライドで満足せず、展覧会に出かけて実物を鑑賞すること。 ・参考図書や授業中に紹介した参考図書を用いて事前事後学習をすること。			
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 東洋・日本美術史の基礎知識を、分野別にスライドを用いて解説します。また、開催されている展覧会の情報や見どころも紹介します。様々な作品を知ることは、自分を知ることにつながります。今後の自らの作品制作の方向性を決める手がかりにしてほしいと考えています。					
【到達目標】 1各時代の日本美術の名品を通して、日本美術の流れを知ることができる 2制作の手がかりとなる作品に出会える 3様々な美術品を知ることで、美術品の見方を身につけることができる					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 19 日	日本美術史の枠組・仏像の基礎			
2	4 月 26 日	日本彫刻史(飛鳥・白鳳・奈良)			
3	5 月 10 日	日本彫刻史(平安)			
4	5 月 17 日	日本彫刻史(鎌倉)			
5	5 月 24 日	陶芸史(日本・中国)			
6	5 月 31 日	日本絵画史(飛鳥・白鳳・奈良)			
7	6 月 7 日	日本絵画史(平安)			
8	6 月 14 日	日本絵画史(平安絵巻)			
9	6 月 21 日	日本絵画史(鎌倉)			
10	6 月 28 日	日本絵画史(水墨画)			
11	7 月 5 日	日本絵画史(桃山)			
12	7 月 12 日	日本絵画史(江戸前期)			
13	7 月 19 日	日本絵画史(江戸後期)			
14	7 月 26 日	日本絵画史(江戸後期・浮世絵)			
<教科書・参考書>					
参考図書:『日本美術館』小学館					

科目番号	29	科目名	東洋・日本美術史概説B				
英 文 科 目 名							
大学・短期大学名		成安造形				大学	
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1					
		TEL :		077-574-2113		FAX : 077-574-2120	
担 当 教 員		小 寄 善 通				(芸 術 学 部 教 授)	
実 施 方 法		対面授業					
教 室 名		未 定		会 場			
授 業 期 間		2023 年 10 月 4 日 (水) ~ 2024 年 1 月 17 日 (水) <毎週 水曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40					
超過時の選考方法							
成 績 評 価 方 法		定 期 試 験 (筆 記)				%	
		レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%	
		平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%	
		そ の 他 (各 回 ご と の 授 業 内 試 験)				100 %	
別 途 負 担 費 用		なし					
そ の 他 特 記 事 項		・授業開始前にメール送付するガイダンス資料を熟読しておくこと。 ・授業でのスライドで満足せず、展覧会に出かけて実物を鑑賞すること。 ・参考図書や授業中に紹介した参考図書を用いて事前事後学習をすること。					
<講義概要・到達目標>							
【講義概要】 美術・芸術という概念や制度が西洋からもたらされた明治時代以降、日本美術は急速かつ広範な変化、展開を遂げてゆきます。洋画に対する概念として日本画ということばが生まれたのも明治時代に入ってからです。この講義では、日本画、洋画、彫刻など日本美術の近代化の歩みをたどっていきます。							
【到達目標】 1明治時代以降、昭和時代初めまでの日本美術の流れが理解できる 2日本人が西洋から何を学んだかを知ることができる 3作家が作品制作に際して、何から影響を受けたかを知ることができる							
<授業スケジュール>							
回	月 日		テーマ・キーワード				
1	10 月 4 日		桃山・江戸時代前期の洋風画				
2	10 月 11 日		江戸時代後期の洋風画(江戸、長崎、秋田)				
3	10 月 18 日		幕末から明治初期の洋画				
4	10 月 25 日		美術教育の始まり(1)				
5	11 月 1 日		美術教育の始まり(2)				
6	11 月 8 日		明治時代の日本画(東京)				
7	11 月 15 日		明治時代の日本画(京都)				
8	11 月 22 日		明治時代の洋画				
9	11 月 29 日		近代の彫刻				
10	12 月 6 日		大正・昭和初期の日本画(東京)				
11	12 月 13 日		大正・昭和初期の日本画(京都)				
12	12 月 20 日		画家の作風展開を見る(上村松園・福田平八郎)				
13	1 月 10 日		大正時代の洋画				
14	1 月 17 日		昭和初期の洋画				
<教科書・参考書>							
参考図書:『日本美術館』小学館、『日本美術の流れ6』高階 秀爾 岩波書店							

科目番号	30	科目名	西洋美術史概説A		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		成安造形		大学	
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
		TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担 当 教 員		千速 敏男 (芸術 学部 教授)			
実 施 方 法		対面授業			
教 室 名		未定	会場		
授 業 期 間		2023 年 4 月 20 日 (木) ~ 2023 年 7 月 27 日 (木) <毎週 木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法		定 期 試 験 (筆 記)			
		レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	100		
		平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			
		そ の 他 ()			
別 途 負 担 費 用		なし			
そ の 他 特 記 事 項		授業に参加する態度を重視し、2/3以上の出席をもって成績評価の対象とします。			
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】					
『新西洋美術史』の「V 近代の美術」と「VI 現代の美術」の章に準拠して、19世紀から20世紀にいたる西洋美術の歴史を概観する。					
【到達目標】					
(1)近代における西洋美術史の流れを理解する					
(2)近代における西洋美術史の代表的な芸術家と作品を知る					
(3)美術史を学ぶ方法を知る					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 20 日	V-6 フランス印象派(p.302~)			
2	4 月 27 日	V-7 印象派以後 (p.318~)			
3	5 月 11 日	V-8 印象主義・後期印象主義の伝播 V-9 象徴主義と世紀末(p.324~)			
4	5 月 18 日	V-1 18世紀末から19世紀へ V-2 新古典主義 V-3 ロマン主義(1)(p.274~)			
5	5 月 25 日	V-3 ロマン主義(2) V-4 近代風景画の発展(1)(p.283~)			
6	6 月 1 日	V-4 近代風景画の発展(2) V-5 フランスとドイツの写実主義と自然主義 (p.289~)			
7	6 月 8 日	V-11 19世紀の彫刻 (p.359~)			
8	6 月 15 日	VI-1 マティスとフォーヴィスム VI-3 ドイツ表現主義(p.370~)			
9	6 月 22 日	VI-2 ピカソ、ブラックとキュビズム VI-4 未来主義(p.375~)			
10	6 月 29 日	VI-5 モンドリアンと抽象美術 VI-6 構成主義 (p.398~)			
11	7 月 6 日	VI-7 ダダイスム VI-8 デ・キリコと形而上絵画 VI-9 シュルレアリスム(p.406)			
12	7 月 13 日	VI-10 エコール・ド・パリ VI-11 1920年代の美術(p.427~)			
13	7 月 20 日	VI-12 第二次大戦までのアメリカ美術 VI-13 戦後のアメリカとヨーロッパ美術(p.435~)			
14	7 月 27 日	VI-14 20世紀の彫刻 (p.443~)			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
千足伸行監修『新西洋美術史』(西村書店, 2800円+税)					
授業計画には、この『新西洋美術史』のページ数を掲載しています。					
よく似た題名の本が何種類かあります。まちがえないようにしてください。					

科目番号	31	科目名	西洋美術史概説B		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	成安造形 大学				
連 絡 先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1				
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120	
担 当 教 員	千速 敏男 (芸術 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	未定	会場			
授 業 期 間	2023 年 9 月 28 日 (木) ~ 2024 年 1 月 18 日 (木) <毎週 木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	100			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	なし				
そ の 他 特 記 事 項	授業に参加する態度を重視し、2/3以上の出席をもって成績評価の対象とします。				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 『新西洋美術史』の「Ⅲ ルネサンスの美術」と「Ⅳ バロック・ロココ美術」の章に準拠して、ルネサンスからロココにいたる西洋美術の歴史を概観する。					
【到達目標】 (1) ルネサンスからロココにいたる西洋美術史の流れを理解する (2) ルネサンスからロココにいたる代表的な芸術家とその作品を知る (3) 美術史を学ぶ方法を知る					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 28 日	Ⅱ-6 イタリア・ゴシック美術 (p.126~)			
2	10 月 5 日	Ⅲ-1 15世紀イタリア美術(1) (p.134~)			
3	10 月 12 日	Ⅲ-1 15世紀イタリア美術(2) (p.134~)			
4	10 月 19 日	Ⅲ-2 16世紀イタリア美術(1) (p.155~)			
5	10 月 26 日	Ⅲ-2 16世紀イタリア美術(2) (p.155~)			
6	11 月 2 日	Ⅲ-3 15、16世紀北方美術(1) (p.182~)			
7	11 月 9 日	Ⅲ-3 15、16世紀北方美術(2) (p.182~)			
8	11 月 16 日	Ⅳ-1 バロック美術の時代 Ⅳ-2 17、18世紀イタリア美術 (p.198~)			
9	11 月 30 日	Ⅳ-3 スペイン黄金時代の絵画 (p.20~)			
10	12 月 7 日	Ⅳ-5 フランドル絵画 (p.231~)			
11	12 月 14 日	Ⅳ-6 17世紀のオランダ絵画 (p.242~)			
12	12 月 21 日	Ⅳ-4 フランス古典主義とバロック (p.224~)			
13	1 月 11 日	Ⅳ-7 18世紀フランスとロココ美術 (p.251~)			
14	1 月 19 日	Ⅳ-8 18世紀のイタリアとイギリスの美術 Ⅳ-10 ゴヤー・ロココから近代へ (p.256~)			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
千足伸行監修『新西洋美術史』(西村書店, 2800円+税) 授業計画には、この『新西洋美術史』のページ数を掲載しています。 よく似た題名の本が何種類かあります。まちがえないようにしてください。					

科目番号	32	科目名	滋賀論		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	聖泉		大学		
連 絡 先	滋賀県彦根市肥田町720				
	TEL : 0749-43-7510		FAX : 0749-43-5201		
担 当 教 員	森 雄二郎		(人間 学部 講師)		
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業		対面・遠隔併用		
教 室 名	455教室	会場	聖泉大学		
授 業 期 間	2024年6月～7月にかけての土曜日か日曜日で3日間(9:00～18:00)の集中講義				
超過時の選考方法	所類選考				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)				
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		30		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		70		%
	そ の 他 ()				
別 途 負 担 費 用	なし		あり(1,100)円		
その他特記事項	フィールドワークへの参加は必須、欠席連絡必要				
＜講義概要・到達目標＞					
＜講義概要＞					
滋賀県が持つ独自の風土や歴史文化に関する理解を深めることを目的とする。授業形態は、講義(10回分)、現場を巡るフィールドワーク(5回分)とする。フィールドワークは、琵琶湖周遊船に乗船し、各地を巡る予定である。履修するにあたり琵琶湖周遊船の乗船料(1,100円)が必要となる(履修後の払い戻し不可)。受講者が一定数に満たない場合、琵琶湖周辺地域の散策フィールドワークに代えることがある。集中講義(3日間)で開催する。					
＜到達目標＞					
(1)滋賀県の風土、歴史文化の特性について理解し説明できる。					
(2)滋賀県下における地域の現状と課題についての的確に把握し整理することができる。					
(3)地域資源を活かした地域づくりについて、具体的なアイデアや構想を提案することができる。					
＜授業スケジュール＞					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	6月～7月 (土あるいは日) ※日程調整 の都合上、順序が入れ替わる場合がある	(1日目)オリエンテーション			
2		地域特性の把握①			
3		地域特性の把握②			
4		歴史・文化資源の活用①			
5		歴史・文化資源の活用②			
6		(2日目)フィールドワーク(琵琶湖クルージング)①			
7		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)②			
8		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)③			
9		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)④			
10		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)⑤			
11		(3日目)滋賀における政策課題①			
12		滋賀における政策課題②			
13		地域資源としての琵琶湖の保存と活用①			
14		地域資源としての琵琶湖の保全と活用②			
15		まとめ			
＜教科書・参考書＞					
教科書:各講義内容に応じて、資料等を提示、配布する。					
参考書:『12歳から学ぶ滋賀県の歴史』(編)滋賀県中学校教育研究会社会科部会,2005,サンライズ出版					

科目番号	33	科目名	心理学概論A		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	聖泉		大学		
連 絡 先	滋賀県彦根市肥田町720				
	TEL : 0749-43-7510		FAX :		0749-43-5201
担 当 教 員	李 艶 (人間 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用
教 室 名	306教室	会場	聖泉大学		
授 業 期 間	2023 年 4 月 7 日 (金) ~ 2023 年 7 月 21 日 (金) <毎週 金曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30				
超過時の選考方法	所類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		80		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		20		%
	そ の 他 ()		%		
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
この授業は心理学の基礎中の基礎科目である。心理学の基礎としてほぼ全体をカバーできる。主に認知心理学と社会心理学に関する基礎理論・基礎概念を説明する。授業は講義形式で行う。具体的には「見る:視覚」「聞く:聴覚」「感じる:味覚嗅覚触覚」「覚える:記憶」「思う:感情」「学ぶ:学習」「考える:思考」「決める:原因帰属」「頑張る:動機」「気にする:自己」「伝える:説得」「魅かれる:対人認知」「付き合う:集団行動」「助ける:援助行動」「意思決定」の心理学を概説する。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 7 日	授業の計画、成績評価、授業の進め方、受験生への要望、教科書と参考書などの説明。 シラバスを読んでおくこと、視覚・聴覚の内容を予習する(3時間)			
2	4 月 14 日	見る:視覚 聞く:聴覚 視覚と聴覚の基礎について説明する。色を認識するメカニズム、音にとらわれる人間の行動を学ぶ。復習と「感じる」ことの内容を予習する(3時間)			
3	4 月 21 日	感じる:味覚・嗅覚・触覚 味覚・嗅覚・触覚について学習する。復習と記憶の内容を予習する(3時間)			
4	4 月 28 日	覚える:記憶 記憶の意義、分類、忘却、記憶のメカニズムを学習する。第一回から三回までの復習と「感情」の予習(6時間)			
5	5 月 12 日	思う:感情 感情の重要性、感情の側面、感情生起のメカニズム、人間らしい高度で複雑な感情を学習する。復習と学習の内容を予習する(3時間)			
6	5 月 19 日	学ぶ:学習 古典的条件づけ、味覚嫌悪条件づけ、オペラント条件づけ、強化スケジュール、学習性無力感、弁別と般化について学習する。復習と思考の内容を予習する(3時間)			
7	5 月 26 日	考える:思考 洞察、帰納的推論、演繹的推論、ルーチャンスの水がめ問題について学習する。第4回から第6回までの復習と原因帰着の内容を予習する(6時間)			
8	6 月 2 日	決める:原因帰着 原因帰着の概念、原因帰着理論について学習する。復習と達成動機の内容を予習する(3時間)			

9	6 月 9 日	頑張る:達成動機 どんな時に頑張れる、やればできると思うとき、内から湧き出すやる気、達成感を味わえる時、もうこれ以上頑張れないと思うとき、頑張るためにはどうしたらいいか、について解説する。 復習と自己の内容を予習する(3時間)
10	6 月 16 日	気にする:自己 自己、自己開示、自己呈示、自己の喪失、社会・文化の中の自己、自己理解の不正確さ、について説明する。 第7回から第9回までの復習と説得の内容を予習する(6時間)
11	6 月 23 日	伝える:説得 説得の概念、説得の効果を左右する要因、説得の「武器」、説得の技法、説得への抵抗を説明する。 復習と対人認識・対人魅力の内容を予習する(3時間)
12	6 月 30 日	魅かれる:対人認識・対人魅力 対人認識・対人魅力について学習する。 復習とソーシャルスキル、集団行動の内容を予習する(3時間)
13	7 月 7 日	付き合う:ソーシャルスキル、集団行動 ソーシャルスキルの概念、構成について学習し、繋がるためにはどうしたらいいか考える。同調行動、リーダーシップについて学習する。 第10回から第12回までの復習と援助行動の内容を予習する(6時間)
14	7 月 14 日	助ける:援助行動 援助行動とは何か、援助行動の影響要因と個人要因について学習する。ソーシャル・サポートの意義、ソーシャル・サポートのネットワーク作りについて検討する。総復習(6時間)
15	7 月 21 日	意思決定 意思決定の心理学について学習する。授業の総括 期末考査の準備及び総復習(6時間)
＜教科書・参考書＞		
【心理学概論 ヒューマン・サイエンスへの招待】松田幸弘編著 ナカニシヤ出版 (教科書は必須です)		

科目番号	34	科目名	発達心理学		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		聖泉		大学	
連 絡 先		滋賀県彦根市肥田町720			
		TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5201
担 当 教 員		池田 龍也 (人間 学部 講師)			
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		455教室	会場	聖泉大学	
授 業 期 間		2023 年 10 月 4 日 (水) ~ 2024 年 1 月 17 日 (水) <毎週 水曜日> 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 50			
超過時の選考方法		所類選考			
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		100 %		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		0 %		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0 %		
	そ の 他 ()		0 %		
別 途 負 担 費 用		なし あり()円			
そ の 他 特 記 事 項		資料はデジタルデータでのみ配布するので、必要なら各自で印刷すること。			
<講義概要・到達目標>					
この授業では、ヒトの誕生から死までの各発達段階における発達課題および発達上の特徴を概観します。また発達に関連し得る危機および問題を説明します。本授業は人間学部の基盤科目です。またこの授業は、公認心理師受験資格取得のための必修科目です。人間の発達の原理とともに、そのプロセスの法則性や多様性について理解を深めることが、第1の狙いです。第2の狙いは、人間の発達段階に沿った関わりや支援の緒を掴むことです。以下の3点を到達目標とします。					
1) 人間の発達過程およびその特徴について説明できる。					
2) それぞれの発達段階において生じやすい問題や障害について理解し、説明できる。					
3) 上記 1) および 2) を踏まえた生涯発達の観点から、人間の一生を捉えることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	10 月 4 日	オリエンテーション/発達心理学とは何か			
2	10 月 11 日	子供の発達1: 胎児期・新生児期			
3	10 月 18 日	子供の発達2: 乳児期			
4	10 月 25 日	子供の発達3: 幼児期前期			
5	11 月 1 日	子供の発達4: 幼児期後期1			
6	11 月 8 日	子供の発達5: 幼児期後期2			
7	11 月 15 日	子供の発達6: 児童期1			
8	11 月 22 日	子供の発達7: 児童期2			
9	11 月 29 日	子供の発達8: 社会性とコミュニケーション			
10	12 月 6 日	青年期の発達1: 青年期前期			
11	12 月 13 日	青年期の発達2: 青年期後期			
12	12 月 20 日	成人期と中年期の発達			
13	12 月 27 日	老年期の発達			
14	1 月 10 日	アタッチメントと発達障害			
15	1 月 17 日	児童虐待とその背景			
<教科書・参考書>					
無藤 隆・岡本祐子・大坪治彦(編)(2009)『よくわかる発達心理学[第2版]』(ミネルヴァ書房)					
ISBN: 9784623053797を購入すること					

科目番号	35	科目名	知覚・認知心理学		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		聖泉		大学	
連 絡 先		滋賀県彦根市肥田町720			
		TEL : 0749-43-7510		FAX : 0749-43-5201	
担 当 教 員		鈴木 雅洋 (人間 学部 准教授)			
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業		対面・遠隔併用	
教 室 名		407教室	会場	聖泉大学	
授 業 期 間		2023 年 4 月 10 日 (月) ~ 2023 年 7 月 17 日 (月) <毎週 月曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50			
超過時の選考方法		所類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		0		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0		%
	(毎回の受講報告書、 そ の 他 第2・10・14・15回の発表資料・ レポート)		100		%
別 途 負 担 費 用		なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項		発表準備やレポート作成、予習、復習などを行う。60時間以上。フィードバックは授業内で適宜実施する。			
<講義概要・到達目標>					
概要: 知覚心理学、認知心理学についての講義を行う。感覚、知覚、認知の様態や特性、仕組みについて、心理学の専門性に相応しいレベルで理解されることを目標とする。本授業は、対面、ライブ配信、オンデマンド配信を組み合わせた実施形態で実施する計画である。					
授業のねらい: 心の基盤機能である感覚、知覚、認知について学び、心への理解を深める。					
授業の到達目標: ①感覚、知覚、認知の様態を心理学の専門性に相応しいレベルで理解することができる。②感覚、知覚、認知の特性を心理学の専門性に相応しいレベルで理解することができる。③感覚、知覚、認知の仕組みを心理学の専門性に相応しいレベルで理解することができる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 10 日	オリエンテーション(実施形態:対面、ライブ配信):授業の概要、授業のねらい、授業の到達目標を理解し、授業の進め方を理解して、この後の授業に備える。(授業外学習:第2回の準備[4時間])			
2	4 月 17 日	イントロダクション(実施形態:対面、ライブ配信):知覚心理学や認知心理学を学ぶことがなぜ必要なのか、学ぶことでどのようなよいことがあるのか、自分の将来にどのように関係してくるのか、などについて発表し、ディスカッションをとおして理解を深める。(授業外学習:発表準備[2時間]、レポート[2時間])			
3	4 月 24 日	視覚:神経基盤(実施形式:オンデマンド配信):視覚について、神経基盤を学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])			
4	5 月 1 日	視覚:形知覚、色知覚(実施形式:オンデマンド配信):視覚について、形知覚、色知覚のメカニズム、特性を学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])			
5	5 月 8 日	視覚:奥行き知覚、大きさ知覚(実施形態:オンデマンド配信):視覚について、奥行き知覚、大きさ知覚のメカニズム、特性を学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])			
6	5 月 15 日	視覚:運動知覚(実施形態:オンデマンド配信):視覚について、運動知覚のメカニズム、特性を学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])			

7	5 月 22 日	聴覚、触覚、嗅覚、味覚、多感覚知覚(実施形態:オンデマンド配信):聴覚、触覚、嗅覚、味覚、多感覚知覚について、メカニズム、特性を学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])
8	5 月 29 日	順応、恒常性(実施形態:オンデマンド配信):感覚、知覚の順応、恒常性について学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])
9	6 月 5 日	自己の知覚(実施形態:オンデマンド配信):自己の知覚について、メカニズム、特性を学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])
10	6 月 12 日	第3～9回の振り返り、掘り下げ(実施形態:対面・ライブ配信):第3～9回で学んだことを発表し、ディスカッションをとおして理解を深める。(授業外学習:発表準備[2時間]、レポート[2時間])
11	6 月 19 日	注意(実施形態:オンデマンド配信):注意について学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])
12	6 月 26 日	対象認知、記憶(実施形態:オンデマンド配信):対象認知、記憶について学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])
13	7 月 3 日	思考(実施形態:オンデマンド配信):思考について学ぶ。(授業外学習:予習[2時間]、復習[2時間])
14	7 月 10 日	第11～13回の振り返り、掘り下げ(実施形態:対面、ライブ配信):第11～13回で学んだことを発表し、ディスカッションをとおして理解を深める。(授業外学習:発表準備[2時間]、レポート[2時間])
15	7 月 17 日	コンクルージョン(実施形態:対面、ライブ配信):第3～14回で知覚心理学や認知心理学を学び、その結果、知覚心理学や認知心理学を学ぶ意義について、第2回の発表からどのように認識や理解が変わったか、などについて発表し、ディスカッションをとおして理解を深める。(授業外学習:発表準備[2時間]、レポート[2時間])
<教科書・参考書> 適宜紹介。		

科目番号	36	科目名	生物学基礎																																																		
英 文 科 目 名																																																					
大学・短期大学名	長浜バイオ			大学																																																	
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地																																																				
	TEL :		0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140																																																
担 当 教 員	岩本 昌子			(バイオサイエンス 学部)																																																	
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																				
教 室 名	大講義室①		会場	長浜バイオ大学																																																	
授 業 期 間	2023 年 4 月 12 日 (水) ~ 2023 年 7 月 26 日 (水) <毎週 水曜日> 2 時限・講時 11 : 10 ~ 12 : 40																																																				
超過時の選考方法																																																					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)			0	%																																																
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			25	%																																																
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			0	%																																																
	そ の 他 (小 テ ス ト)			75	%																																																
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円																																																				
その他特記事項																																																					
<講義概要・到達目標> 高校で「生物学」を十分に履修してこなかった学生に向けた内容である。重要かつ基本的な専門用語を理解し、大学での高度な学びにつなげる。バイオサイエンスに関する幅広い内容にふれて、大学での学習意欲を高める。																																																					
<授業スケジュール> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4 月 12 日</td><td>第1回 生物とは何だろうか</td></tr> <tr><td>2</td><td>4 月 19 日</td><td>第2回 細胞の構造</td></tr> <tr><td>3</td><td>4 月 26 日</td><td>第3回 生物を構成する化学成分</td></tr> <tr><td>4</td><td>5 月 10 日</td><td>第4回 遺伝子の発現 (1.転写)</td></tr> <tr><td>5</td><td>5 月 17 日</td><td>第5回 遺伝子の発現 (2.翻訳)</td></tr> <tr><td>6</td><td>5 月 24 日</td><td>第6回 DNAの複製</td></tr> <tr><td>7</td><td>5 月 31 日</td><td>第7回 酵素と代謝</td></tr> <tr><td>8</td><td>6 月 7 日</td><td>第8回 植物の光合成</td></tr> <tr><td>9</td><td>6 月 14 日</td><td>第9回 細胞周期と細胞分化</td></tr> <tr><td>10</td><td>6 月 21 日</td><td>第10回 生殖 (配偶子形成と受精)</td></tr> <tr><td>11</td><td>6 月 28 日</td><td>第11回 動物の発生</td></tr> <tr><td>12</td><td>7 月 5 日</td><td>第12回 多細胞生物の自己維持</td></tr> <tr><td>13</td><td>7 月 12 日</td><td>第13回 免疫のしくみ</td></tr> <tr><td>14</td><td>7 月 19 日</td><td>第14回 遺伝のしくみと遺伝病</td></tr> <tr><td>15</td><td>7 月 26 日</td><td>第15回 生物進化と生物多様性</td></tr> </tbody> </table>						回	月日	テーマ・キーワード	1	4 月 12 日	第1回 生物とは何だろうか	2	4 月 19 日	第2回 細胞の構造	3	4 月 26 日	第3回 生物を構成する化学成分	4	5 月 10 日	第4回 遺伝子の発現 (1.転写)	5	5 月 17 日	第5回 遺伝子の発現 (2.翻訳)	6	5 月 24 日	第6回 DNAの複製	7	5 月 31 日	第7回 酵素と代謝	8	6 月 7 日	第8回 植物の光合成	9	6 月 14 日	第9回 細胞周期と細胞分化	10	6 月 21 日	第10回 生殖 (配偶子形成と受精)	11	6 月 28 日	第11回 動物の発生	12	7 月 5 日	第12回 多細胞生物の自己維持	13	7 月 12 日	第13回 免疫のしくみ	14	7 月 19 日	第14回 遺伝のしくみと遺伝病	15	7 月 26 日	第15回 生物進化と生物多様性
回	月日	テーマ・キーワード																																																			
1	4 月 12 日	第1回 生物とは何だろうか																																																			
2	4 月 19 日	第2回 細胞の構造																																																			
3	4 月 26 日	第3回 生物を構成する化学成分																																																			
4	5 月 10 日	第4回 遺伝子の発現 (1.転写)																																																			
5	5 月 17 日	第5回 遺伝子の発現 (2.翻訳)																																																			
6	5 月 24 日	第6回 DNAの複製																																																			
7	5 月 31 日	第7回 酵素と代謝																																																			
8	6 月 7 日	第8回 植物の光合成																																																			
9	6 月 14 日	第9回 細胞周期と細胞分化																																																			
10	6 月 21 日	第10回 生殖 (配偶子形成と受精)																																																			
11	6 月 28 日	第11回 動物の発生																																																			
12	7 月 5 日	第12回 多細胞生物の自己維持																																																			
13	7 月 12 日	第13回 免疫のしくみ																																																			
14	7 月 19 日	第14回 遺伝のしくみと遺伝病																																																			
15	7 月 26 日	第15回 生物進化と生物多様性																																																			
<教科書・参考書> 南雲保 編「やさしい基礎生物学」 羊土社																																																					

科目番号	37	科目名	基礎微生物学																																																		
英 文 科 目 名																																																					
大学・短期大学名	長浜バイオ大学																																																				
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地																																																				
	TEL : 0749-64-8100		FAX : 0749-64-8140																																																		
担 当 教 員	石川 聖人 (バイオサイエンス 学部)																																																				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																				
教 室 名	中講義室⑥	会場	長浜バイオ大学																																																		
授 業 期 間	2023 年 4 月 11 日 (火) ~ 2023 年 7 月 18 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 30 ~ 11 : 00																																																				
超過時の選考方法																																																					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0	%																																																	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		100	%																																																	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0	%																																																	
	そ の 他 ()		0	%																																																	
別 途 負 担 費 用	なし あり()円																																																				
その他特記事項																																																					
<講義概要・到達目標> 本講義では、肉眼で見ることのできない微小生物発見の歴史から、微生物の分類法、純粋分離法、培養法、染色法と各種顕微鏡による観察、微生物の栄養学的性質と増殖、構造と機能の違い、環境因子の増殖への影響といった微生物研究のための基本技術を概説し、自立増殖できる生命の中で最も基本となる微生物について理解を深める。更に微生物における物質生産、環境浄化そして自然界での物質循環における役割なども概説する。																																																					
<授業スケジュール> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月 日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4 月 11 日</td><td>第1回 微生物学の概念と歴史</td></tr> <tr><td>2</td><td>4 月 18 日</td><td>第2回 微生物の取り扱い方</td></tr> <tr><td>3</td><td>4 月 25 日</td><td>第3回 エネルギーの獲得方法</td></tr> <tr><td>4</td><td>5 月 2 日</td><td>第4回 微生物の生育と条件</td></tr> <tr><td>5</td><td>5 月 9 日</td><td>第5回 微生物の分類Ⅰ：微生物進化学と分類学</td></tr> <tr><td>6</td><td>5 月 16 日</td><td>第6回 微生物の分類Ⅱ：古細菌・真核微生物</td></tr> <tr><td>7</td><td>5 月 23 日</td><td>第7回 微生物と抗生物質</td></tr> <tr><td>8</td><td>5 月 30 日</td><td>第8回 ウイルス</td></tr> <tr><td>9</td><td>6 月 6 日</td><td>第9回 遺伝子操作における微生物の利用</td></tr> <tr><td>10</td><td>6 月 13 日</td><td>第10回 アルコール発酵</td></tr> <tr><td>11</td><td>6 月 20 日</td><td>第11回 アミノ酸の生産</td></tr> <tr><td>12</td><td>6 月 27 日</td><td>第12回 食物保存と微生物汚染</td></tr> <tr><td>13</td><td>7 月 4 日</td><td>第13回 極限環境微生物</td></tr> <tr><td>14</td><td>7 月 11 日</td><td>第14回 微生物による元素循環</td></tr> <tr><td>15</td><td>7 月 18 日</td><td>第15回 微生物による排水処理</td></tr> </tbody> </table>						回	月 日	テーマ・キーワード	1	4 月 11 日	第1回 微生物学の概念と歴史	2	4 月 18 日	第2回 微生物の取り扱い方	3	4 月 25 日	第3回 エネルギーの獲得方法	4	5 月 2 日	第4回 微生物の生育と条件	5	5 月 9 日	第5回 微生物の分類Ⅰ：微生物進化学と分類学	6	5 月 16 日	第6回 微生物の分類Ⅱ：古細菌・真核微生物	7	5 月 23 日	第7回 微生物と抗生物質	8	5 月 30 日	第8回 ウイルス	9	6 月 6 日	第9回 遺伝子操作における微生物の利用	10	6 月 13 日	第10回 アルコール発酵	11	6 月 20 日	第11回 アミノ酸の生産	12	6 月 27 日	第12回 食物保存と微生物汚染	13	7 月 4 日	第13回 極限環境微生物	14	7 月 11 日	第14回 微生物による元素循環	15	7 月 18 日	第15回 微生物による排水処理
回	月 日	テーマ・キーワード																																																			
1	4 月 11 日	第1回 微生物学の概念と歴史																																																			
2	4 月 18 日	第2回 微生物の取り扱い方																																																			
3	4 月 25 日	第3回 エネルギーの獲得方法																																																			
4	5 月 2 日	第4回 微生物の生育と条件																																																			
5	5 月 9 日	第5回 微生物の分類Ⅰ：微生物進化学と分類学																																																			
6	5 月 16 日	第6回 微生物の分類Ⅱ：古細菌・真核微生物																																																			
7	5 月 23 日	第7回 微生物と抗生物質																																																			
8	5 月 30 日	第8回 ウイルス																																																			
9	6 月 6 日	第9回 遺伝子操作における微生物の利用																																																			
10	6 月 13 日	第10回 アルコール発酵																																																			
11	6 月 20 日	第11回 アミノ酸の生産																																																			
12	6 月 27 日	第12回 食物保存と微生物汚染																																																			
13	7 月 4 日	第13回 極限環境微生物																																																			
14	7 月 11 日	第14回 微生物による元素循環																																																			
15	7 月 18 日	第15回 微生物による排水処理																																																			
<教科書・参考書> 「ベーシックマスター 微生物学」掘越弘毅監修 井上明編 オーム社																																																					

科目番号	38	科目名	遺伝子工学		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		長浜バイオ		大学	
連 絡 先		滋賀県長浜市田村町1266番地			
		TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140
担 当 教 員		石川 聖人 (バイオサイエンス 学部)			
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		大講義室②	会場	長浜バイオ大学	
授 業 期 間		2023 年 9 月 29 日 (金) ~ 2024 年 1 月 26 日 (金) <毎週 金 曜 日> 1 時限・講時 9 : 30 ~ 11 : 00			
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		100	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0	%	
	そ の 他 (成績が合格点に達しない場合には追加レポートを課すこともある。)		0	%	
別 途 負 担 費 用		なし あり()円			
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
DNAを組換えて新しい塩基配列を有するDNAをつくる遺伝子工学は、バイオテクノロジーの中心技術である。現在では生命現象の解明・医薬品の製造・病気の診断・品種改良なども遺伝子工学なしでは成り立たなくなっている。本講義では、遺伝子工学の発展のきっかけとなった酵素の発見・技術の発明から、最先端のゲノム編集・次世代シーケンシングの技術についても解説する。本講義を通じて、遺伝子工学実験の基本原則を教育し、私達の身近に応用されているバイオテクノロジーに対しての正しい理解を与える。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 29 日	第1回 遺伝子工学の概要			
2	10 月 6 日	第2回 細菌の自己防衛手段1:制限修飾系			
3	10 月 13 日	第3回 制限酵素の利用と応用			
4	10 月 20 日	第4回 細菌の自己防衛手段2:CRISPR-Casシステム			
5	10 月 27 日	第5回 ゲノム編集技術			
6	11 月 10 日	第6回 核酸の構造的特徴と合成			
7	11 月 17 日	第7回 PCR法			
8	11 月 24 日	第8回 遺伝子の運び手:プラスミド・ファージ・トランスポゾン			
9	12 月 1 日	第9回 宿主生物へのDNA導入			
10	12 月 8 日	第10回 核酸の電気泳動とブロッティング			
11	12 月 15 日	第11回 塩基配列の決定方法			
12	12 月 22 日	第12回 塩基配列決定の先端技術			
13	1 月 12 日	第13回 遺伝子のライブラリー作成と選択			
14	1 月 19 日	第14回 遺伝子発現解析			
15	1 月 26 日	第15回 遺伝子産物の機能解析			
<教科書・参考書>					
基礎から学ぶ遺伝子工学(第3版) 田村隆明 著 羊土社					

科目番号	39	科目名	近江でのSDGsの実践		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		長浜バイオ		大学	
連 絡 先		滋賀県長浜市田村町1266番地			
		TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140
担 当 教 員		蔡 晃植 ・ 坂井 伸彰 (バイオサイエンス 学部)			
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		-	会 場	-	
授 業 期 間		2023 年 10 月 未定 日 () ~ 2023 年 12 月 未定 日 () <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :			
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		0	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0	%	
	そ の 他 (各回ごとに小テスト、レポート、発表などで評価する。)		100	%	
別 途 負 担 費 用		なし		あり()円	
その他特記事項		※フィールドトリップあり			
<講義概要・到達目標>					
2023年10月以降に開催予定(4回) (90分×3時限分)					
※詳細は後日決定					
持続可能な開発目標であるSDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標から構成される人間、地球および繁栄のための行動計画である。滋賀県は全国に先駆けて、2017年1月にSDGsを県政に取り込むことを宣言した。本科目ではまず、SDGsとは何か学び、SDGsで掲げるの17個の目標とその目標達成への実践例なども学ぶことでSDGsへの理解を深める。また、SDGsでの目標を近江の地で実践していくためにはどのような行動計画を立ててどのように実践していけば良いのかを、グループワークを通してそれぞれが考え、それを皆で共有することで、将来の持続可能な社会の構想実現に寄与するための足がかりを得る。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	10 月 日	第1回 SDGsとは何か 第一時限 SDGsとは何か(経済・社会・環境の調和、5つのP、17の目標と169のターゲットの相関、指標)(講義)			
2		第1回 第二時限 滋賀県におけるSDGsへの取り組み、SDGsでの17の目標を達成するための様々な実践例(講義、演習)			
3		第1回 第三時限 SDGsの実践(フィールドワーク)			
4		第1回 第四時限 SDGsの実践(フィールドワーク)			
5		第1回 第五時限 SDGsの実践(グループワーク)			

6	月 日	第2回 ①SDGsとは何か SDGsの5つのP(People:人間) 目標1,2,3,4,5,6の達成に向けて 第一時限 SDGsの目標1,2,3,4,5,6とは何か、取り組み例(講義)
7		第2回 第二時限 SDGsの目標1,2,3,4,5,6に対する意見、滋賀で目標1,2,3,4,5,6を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
8		第2回 ②SDGsとは何か SDGsの5つのP(Prosperity:豊かさ) 目標7,8,9,10,11の達成に向けて 第三時限 SDGsの目標7,8,9,10,11とは何か、取り組み例(講義)
9		第2回 第四時限 SDGsの目標7,8,9,10,11に対する意見、滋賀で目標7,8,9,10,11を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
10	月 日	第3回 ①SDGsとは何か SDGsの5つのP(Planet:地球) 目標12,13,14,15の達成に向けて 第一時限 SDGsの目標12,13,14,15とは何か、取り組み例(講義)
11		第3回 第二時限 SDGsの目標12,13,14,15に対する意見、滋賀で目標12,13,14,15を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
12		第3回 ②SDGsとは何か SDGsの5つのP(Peace:平和)と(Partnership) 目標16,17の達成に向けて 第三時限 SDGsの目標16,17とは何か、取り組み例(講義)
13		第3回 第四時限 SDGsの目標16,17に対する意見、滋賀で目標16,17を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
14	月 日	第4回 SDGsの概念を体験する 第一時限 SDGsにおける経済・社会・環境の調和を体験する①(SDGsカードを利用したグループワーク等)
15		第4回 第二時限 SDGsにおける経済・社会・環境の調和を体験する②(SDGsカードを利用したグループワーク等)
＜教科書・参考書＞		
必要に応じて資料を配付する。		

科目番号	40	科目名	子ども学総論		
英 文 科 目 名	General Remarks of Child Studies				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL : 0748-35-0002		FAX : 0748-23-7202		
担 当 教 員	渡辺 雅幸、烏野 猛、奥田 愛子 (教育福祉 学部 准教授、教授、教授)				
実 施 方 法	[対面授業] 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	1107(大)講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2023 年 4 月 6 日 (木) ~ 2023 年 7 月 21 日 (金) <毎週 木 曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10 金 2 10 : 40 ~ 12 : 10				
超過時の選考方法	抽選				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0 %		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		0 %		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40 %		
	そ の 他 (授 業 での課題(試験含む))		60 %		
別 途 負 担 費 用	[なし]		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	3名の担当者の総合評価で行う				
<講義概要・到達目標> 3人の担当者が、心理学、福祉法学、教育学それぞれの専門領域から「子ども学」の研究方法や内容、課題について概説する。 また「子ども」に関わる諸課題について、各々の専門領域での検討枠組みの基本的理解をおさえたうえで、その枠組みを超えたアプローチ方法について考察を行う。オムニバス形式であるものの、ディベートや、グループディスカッションを踏まえた講義を展開する。 ①「子ども学」の概要について説明できる。 ②心理学、社会福祉学、教育学の各分野で用いられる基礎的な用語・概念について説明できる。 ③「子ども」に対し、学術的背景を踏まえて対応するための基礎的な知識や考え方・態度を身につけることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 6 日	「子ども」の今と昔			
2	4 月 13 日	「子ども」の貧困			
3	4 月 20 日	「子ども」主体の学び			
4	5 月 4 日	子育て支援制度			
5	5 月 11 日	途上国の「子ども」			
6	5 月 18 日	子ども領域における裁判事例①			
7	5 月 25 日	子どもと虐待についての判例考察			
8	6 月 1 日	子どもと親権についての判例考察			
9	6 月 8 日	保育所・幼稚園における事故の判例考察			
10	6 月 15 日	小学校以上の教育現場における事故の判例考察			
11	6 月 23 日	子どもの発達を探る1			
12	6 月 30 日	子どもの発達を探る2			
13	7 月 7 日	子どもの遊びと学び1			
14	7 月 14 日	子どもの遊びと学び2			
15	7 月 21 日	子どもの育ち			
<教科書・参考書> 必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。講義が始まってから、各教員の指示に従って下さい。					

科目番号	41	科目名	滋賀の環境	
英 文 科 目 名	Environment of Shiga			
大学・短期大学名	びわこ学院		大学	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課			
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202
担 当 教 員	佐々木 和之 (教育福祉 学部 非常勤講師)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	2102(第6)講義室	会場	びわこ学院大学	
授 業 期 間	2023 年 9 月 26 日(火)～ 2024 年 1 月 23 日(火) ＜毎週 火曜日＞ 1 時限・講時 9 : 00 ～ 10 : 30			
超過時の選考方法	抽選			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	0		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	52		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	0		%
	そ の 他 (レポート(博物館見学等))	48		%
別 途 負 担 費 用	なし		あり	(博物館見学の観覧料・交通費)円
そ の 他 特 記 事 項	学外授業(琵琶湖博物館見学)は1月上旬頃の土or日曜日に実施予定(授業3回分)			
＜講義概要・到達目標＞				
近年、環境学習の重要性が高まっている。身近に「環境」をうたうものが溢れる中、この講義では滋賀という場を通じて「環境」を捉え直す。前半では、人間生活と生き物の視点から滋賀の環境を捉え、環境に対する取り組みや、環境の認識について学ぶ。後半では、いかに子ども達へ環境問題を伝えるかをテーマとして、博物館見学なども踏まえながら、演習も行っていく。				
① 環境問題を子ども達へ伝えることをテーマとして、各自が滋賀の環境を認識することができる。 ② 各自が環境への関わり方についての視座を持つことができる。 ③ 身近な環境問題について、複数の視点から問題を捉え、論点を明確に表現できる。				
＜授業スケジュール＞				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	9 月 26 日	キャンパスで見つける滋賀の自然		
2	10 月 3 日	市民活動と環境		
3	10 月 10 日	人と環境		
4	10 月 17 日	人と自然		
5	10 月 24 日	環境の認識		
6	11 月 7 日	環境の調べ方		
7	11 月 14 日	グリーン購入運動を通じた環境への関わり		
8	11 月 21 日	環境学習		
9	11 月 28 日	環境をテーマとした学習計画		
10	12 月 5 日	学びを誘う学習プログラムの立案		
11	12 月 12 日	滋賀県の生物多様性とその保全		
12	12 月 19 日	博物館見学		
13	1 月 9 日	学習のまとめと評価・授業計画と実施における視点		
14	1 月 16 日	地域の魅力を調べる「地域調べ」		
15	1 月 23 日	地域調べの記録化と活用		
＜教科書・参考書＞				
適宜、プリント・資料を配布する。				

科目番号	42	科目名	スポーツ生理学Ⅱ		
英 文 科 目 名	Sports physiology Ⅱ				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担 当 教 員	高木 俊 (教育福祉 学部 講師)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	5201講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2022 年 4 月 8 日 (金) ~ 2022 年 7 月 22 日 (金) <毎週 金 曜 日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	40	%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	0	%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	10	%		
	そ の 他 (授 業 で の 課 題)	50	%		
別 途 負 担 費 用	なし あり ()円				
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標> 身体活動・運動やスポーツを実施することで生じる一過性の生体応答や習慣的な運動トレーニングによる身体適応について、様々な生理学的視点より学習する。また、効率的な競技力向上・健康づくりのためのトレーニング(筋力・筋パワー・筋持久力・全身持久力)や身体づくり(ウエイトコントロール・骨格筋の増量)について、最新知見を踏まえつつ、生理学的な視点から理解を深める。スポーツ競技・健康づくりに関係する社会的または個人的諸問題に対してスポーツ生理学的な側面から解決策を考え、グループ発表する。 ① 身体活動やスポーツ実施時の一過性の生体応答や習慣的な継続(トレーニング)による身体適応について様々な視点から生理学的に説明できる。 ② スポーツ競技・健康づくりに関係する社会的または個人的諸問題に対してスポーツ生理学的な側面から解決策を考えること					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 8 日	ガイダンス			
2	4 月 15 日	筋力トレーニングのスポーツ生理学			
3	4 月 22 日	筋パワー・筋持久力トレーニングのスポーツ生理学			
4	4 月 29 日	全身持久力のスポーツ生理学			
5	5 月 13 日	全身持久力トレーニングのスポーツ生理学			
6	5 月 20 日	運動と身体組成			
7	5 月 27 日	運動と栄養摂取(体づくり)			
8	6 月 3 日	運動と内分泌系			
9	6 月 10 日	運動と生活習慣病			
10	6 月 17 日	運動と脳機能			
11	6 月 24 日	運動と環境			
12	7 月 1 日	筋肉痛のスポーツ生理学			
13	7 月 8 日	リカバリーのスポーツ生理学			
14	7 月 15 日	グループ発表			
15	7 月 22 日	まとめ			
<教科書・参考書> 必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	43	科目名	メンタルトレーニング論		
英 文 科 目 名	Mental Training Theory				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL : 0748-35-0002		FAX : 0748-23-7202		
担 当 教 員	竹内 早耶香 (教育福祉 学部 講師)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	5201講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2023 年 4 月 11 日 (火) ~ 2023 年 7 月 25 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)	0		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	50		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	0		%	
	そ の 他 (授 業 で の 課 題)	50		%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項					
＜講義概要・到達目標＞ 本授業では、アスリートの実力発揮やパフォーマンスの向上に関係する様々な心理的現象について理解を深めるとともに、自身の日常生活及び競技に対する姿勢について再考することを目指す。そこでは、心理スキルトレーニング方法の習得はもちろん、スキルトレーニングを通じて自身の心理的課題への克服に取り組む。体験的な理解を深める目的から、講義時に実習を予定している。 ① メンタルトレーニングの理論的背景を理解し、説明することができる。 ② アスリートが遭遇する、心理的現象に関する知識を習得し、説明することができる。 ③ 日常生活及び競技に対する姿勢について再考する態度を身につけ、自身の生活に応用することができる。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 11 日	オリエンテーション			
2	4 月 18 日	メンタルトレーニングの理論的背景			
3	4 月 25 日	メンタルトレーニングの実際① アセスメント			
4	5 月 2 日	メンタルトレーニングの実際② セルフモニタリング			
5	5 月 16 日	メンタルトレーニングの実際③ リラクセーション			
6	5 月 23 日	メンタルトレーニングの実際④ 目標設定			
7	5 月 30 日	メンタルトレーニングの実際⑤ メンタルマネジメント			
8	6 月 6 日	メンタルトレーニングの実際⑥ メンタル・ブロック			
9	6 月 13 日	メンタルトレーニングの実際⑦ ピークパフォーマンス			
10	6 月 20 日	メンタルトレーニングの実際⑧ 集中力			
11	6 月 27 日	メンタルトレーニングの実際⑨ 行動変容技法			
12	7 月 4 日	メンタルトレーニングの実際⑩ バイオフィードバック技法			
13	7 月 11 日	メンタルトレーニングの実際⑪ フォローアップ			
14	7 月 18 日	心理サポートの実際			
15	7 月 25 日	まとめ			
＜教科書・参考書＞ 必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	44	科目名	レクリエーション論		
英 文 科 目 名	Recreation Theory				
大学・短期大学名	びわこ学院大学			短期大学部	
連 絡 先	びわこ学院大学短期大学部 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担 当 教 員	山ノ井 勉 (ライフデザイン 学科 講師)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	2101(第7)講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2023 年 4 月 5 日 (水) ～ 2023 年 7 月 19 日 (水) ＜毎週 水 曜 日＞ 5 時 限・講 時 16 : 20 ～ 17 : 50				
超 過 時 の 選 考 方 法	抽 選				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	0		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	30		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	40		%	
	そ の 他 (授 業 での課題(試験含む))	30		%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり)円		
そ の 他 特 記 事 項	レクリエーションの実践において、物品等の購入が必要となる場合がある。				
＜講義概要・到達目標＞					
社会または地域におけるレクリエーションの意義について、「なぜレクリエーションが必要なのか」を問いかけながら理解を深めていくと同時に、グループワークでの具体的なレクリエーション活動の計画・実践を通して、レクリエーション活動を展開する上での基礎的なスキルを習得します。					
① 現代社会におけるレクリエーションの意義および理念が理解できる。 ② レクリエーション実践のための基礎的なスキルを習得することができる。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	4 月 5 日		オリエンテーション		
2	4 月 12 日		レクリエーションの歴史と人間社会		
3	4 月 19 日		レクリエーションの活動領域		
4	4 月 26 日		日常生活とレクリエーション		
5	5 月 10 日		レクリエーションの参加者と支援者の役割		
6	5 月 17 日		個人・集団のレクリエーション		
7	5 月 24 日		社会福祉におけるレクリエーション活動		
8	5 月 31 日		授業内試験(レポート)		
9	6 月 7 日		レクリエーションの企画と実際		
10	6 月 14 日		近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践①		
11	6 月 21 日		近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践②		
12	6 月 28 日		レクリエーション活動の実際①		
13	7 月 5 日		レクリエーション活動の実際②		
14	7 月 12 日		レクリエーション活動の実際③		
15	7 月 19 日		授業内試験(計画書の作成)		
＜教科書・参考書＞					
必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	45	科目名	生活と福祉	
英 文 科 目 名	Life and Welfare			
大学・短期大学名	びわこ学院大学		短期大学部	
連 絡 先	びわこ学院大学短期大学部 教務課			
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202
担 当 教 員	山ノ井 勉 (ライフデザイン 学科 講師)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	1107(大)講義室	会場	びわこ学院大学	
授 業 期 間	2023 年 9 月 11 日 (月) ~ 2024 年 1 月 22 日 (月) <毎週 月曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法	抽選			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	0		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	70		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	20		%
	そ の 他 (授 業 での課題(試験含む))	10		%
別 途 負 担 費 用	なし あり ()円			
そ の 他 特 記 事 項	授業終了前にミニッツペーパーを実施します。			
<講義概要・到達目標>				
人間の生活において、福祉というのは大変重要な部分を占めていると考えられます。そこで、本講義では、これまでの人間の暮らしに関する社会福祉の理論や歴史等について学びつつ、現在までの生活や福祉に関わる社会制度のあり方や役割等について学びます。また、介護福祉士の資格試験に向けた対策も行う。そのため、振り返りシートの実施や、授業で取り組む課題について能動的な取り組みが必要となります。				
① 生活と福祉との関係について理解し、基本的知識を習得することができる。 ② 少子高齢社会など現代社会の課題を理解し、地域に貢献できる社会人としての基本的な姿勢・態度を身につけることができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 11 日	オリエンテーション		
2	9 月 18 日	生活と福祉		
3	9 月 25 日	社会福祉の理論① 社会福祉と社会保障		
4	10 月 2 日	社会福祉の理論② 社会保障論		
5	10 月 9 日	社会福祉の理論③ 相談支援		
6	10 月 16 日	社会福祉の理論④ 相談支援		
7	10 月 23 日	授業内試験(筆記)		
8	10 月 30 日	高齢者に対する支援①		
9	11 月 20 日	高齢者に対する支援②		
10	11 月 27 日	子どもに対する支援①		
11	12 月 4 日	子どもに対する支援②		
12	12 月 11 日	福祉にかかわる諸制度①		
13	12 月 18 日	福祉にかかわる諸制度②		
14	1 月 15 日	福祉にかかわる諸制度③		
15	1 月 22 日	授業内試験(レポート)		
<教科書・参考書>				
必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。				

科目番号	46	科目名	栄養と健康		
英 文 科 目 名	Nutrition and Health				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連 絡 先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担 当 教 員	武田 哲子 (スポーツ 学部 准教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	未定	会場			
授 業 期 間	2023 年 4 月 12 日 (水) ~ 2023 年 7 月 19 日 (水) <毎週 水 曜 日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		30	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		40	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%	
	そ の 他 (中 間 試 験)		30	%	
別 途 負 担 費 用	なし				
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標> 人の体は食べたものからできている。何を、どのように食べるかは健康的な生活を送るために重要な課題である。この授業では食事の働きについて理解し、健康的な生活を実践するために必要な知識を修得することを目的とする。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 12 日	ガイダンスと食事と健康に関する概説			
2	4 月 19 日	エネルギー源			
3	4 月 26 日	身体づくり			
4	5 月 10 日	身体の機能調節			
5	5 月 17 日	健康のための身体づくりの評価			
6	5 月 24 日	食生活の把握			
7	5 月 31 日	前半授業と達成度チェック			
8	6 月 7 日	成長期の食事の課題(身体的特徴と食生活)			
9	6 月 14 日	思春期の食事の課題			
10	6 月 21 日	成長期や思春期における食育			
11	6 月 28 日	成人期の食事の課題(肥満、メタボリックシンドローム)			
12	7 月 5 日	高齢期の食事の課題(骨・筋の健康維持)			
13	7 月 12 日	栄養教育の概論			
14	7 月 19 日	栄養教育の実践方法			
<教科書・参考書> 教科書は特に指定しない。参考文献は適宜紹介する。					

科目番号	47	科目名	スポーツ社会学概論		
英 文 科 目 名	Introduction of Sport Sociology				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連 絡 先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担 当 教 員	佐藤 馨 (スポーツ 学部 准教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	未定		会場		
授 業 期 間	2023 年 9 月 25 日 (月) ~ 2024 年 1 月 22 日 (月) <毎週 月曜日> 4 時限・講時 15 : 00 ~ 16 : 40				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			65	%
	レ ポ ー ト 試 験 (小 レ ポ ー ト)			5	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (授 業 中 盤 の 確 認 テ ス ト)			30	%
別 途 負 担 費 用	なし				
そ の 他 特 記 事 項	本試験だけでなく、講義中盤で実施する確認テストも全体評価の30%を占める。従って、普段の講義で重要と指摘された点は確実に覚えるだけでなく、内容も正確に理解しておく必要がある。				
<講義概要・到達目標> スポーツ社会学では、スポーツの場面での人の行為や行動、スポーツに関わる組織やスポーツを通じて起こる社会現象や変動を学習する。講義では、スポーツに関連する事象を「人種・民族」「ジェンダー」「暴力」「マスメディア」「ドーピング」「政治」のテーマからスポーツに包含される課題を学ぶ。特にドーピングについては、学習指導要領「スポーツの歴史・文化的特徴と現代の特徴」において、それがスポーツの文化的価値を失わせる行為であることを過去の事例から理解し、その指導方法や授業計画の立て方について検討する。					
<授業スケジュール>					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	9 月 25 日		スポーツ社会学概論:ガイダンスおよびスポーツ社会学の概説		
2	10 月 2 日		社会学とスポーツ スポーツにおける社会学の位置づけ		
3	10 月 16 日		社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響		
4	10 月 23 日		人種・民族とスポーツ 人種・民族とスポーツとの関わり		
5	10 月 30 日		人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題		
6	11 月 6 日		ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か		
7	11 月 13 日		ジェンダーとスポーツ らしさとスポーツ		
8	11 月 20 日		ドーピングとスポーツ		
9	11 月 27 日		スポーツとメディア メディアがスポーツに与える影響		
10	12 月 4 日		スポーツとメディア スポーツの「見せ方」「あつかい方」		
11	12 月 11 日		スポーツとガバナンス		
12	12 月 18 日		スポーツとハラスメント		
13	1 月 15 日		スポーツと政治 スポーツと政治との結びつき		
14	1 月 22 日		スポーツと政治 スポーツにおけるテロリズム		
<教科書・参考書> 教科書は特に指定しない。 【参考文献】 『Sport in Society 7th Ed』Coakley, J.J., Boston; MacGraw-Hill, 2001 『スポーツの社会学』池田勝,守能信次編 杏林書院 1998 『現代スポーツの社会学-課題と共生への道のり-』,J.コークリー,P.ドネリー著、前田和司,大沼義彦,村松和則共編訳,南窓社,2011					

科目番号	48	科目名	レジャー・レクリエーション論		
英 文 科 目 名	Study of Leisure and Recreation				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連 絡 先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担 当 教 員	佐藤 馨 (スポーツ 学部 准教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	未定		会場		
授 業 期 間	2023 年 4 月 12 日 (水) ~ 2023 年 7 月 19 日 (水) <毎週 水 曜日> 3 時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 50				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		65	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (小 レ ポ ー ト)		5	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%	
	そ の 他 (授 業 中 盤 の 確 認 テ ス ト)		30	%	
別 途 負 担 費 用	なし				
そ の 他 特 記 事 項	本試験だけでなく、内容も正確に理解しておく必要がある。従って普段の授業で重要と指摘された点は確実に覚えること。				
<講義概要・到達目標> 日本では経済活動だけでなく生活や人生を豊かにするレジャーやレクリエーション活動に目を向け、その重要性を再認識する時期と言える。本講義は、日常生活におけるレジャー・レクリエーションの意義や価値を理解するとともに、レクリエーション支援者として必要な基礎知識を習得する。さらに学習指導要領のスポーツ概論「豊かなスポーツライフの設計」にある、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方を理解し、指導時に活用できる知識を学ぶ。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 12 日	レジャー・レクリエーション論:ガイダンスおよびレジャー・レクリエーション論の概説			
2	4 月 19 日	レジャー・レクリエーションの考え方①レジャー・レクリエーションとは何か			
3	4 月 26 日	レジャー・レクリエーションの考え方②現代社会において、なぜレジャー・レクリエーションは必要か			
4	5 月 10 日	日本人の余暇生活			
5	5 月 17 日	諸外国における余暇生活			
6	5 月 24 日	前半までの授業のまとめと確認			
7	5 月 31 日	社会福祉とレクリエーション①福祉におけるレクリエーションの意味			
8	6 月 7 日	社会福祉とレクリエーション②セラピューティックレクリエーションの意味			
9	6 月 14 日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたサービスモデルの活用①余暇活用モデル、健康維持・増進モデル			
10	6 月 21 日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたレクリエーションサービスモデルの活用②楽しさ向上モデル、TRサービスモデル			
11	6 月 28 日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用①レクリエーション活用事例			
12	7 月 5 日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用②プログラムの作成方法			
13	7 月 12 日	現場におけるセラピューティックレクリエーションの活用			
14	7 月 19 日	レジャー・レクリエーションとスポーツと健康の関わり②21世紀のレジャー・レクリエーション			
<教科書・参考書> 教科書は特に指定しない。 【参考文献】 『現代人とレジャー・レクリエーション』余暇問題研究所編著 不昧堂 1997 『レクリエーション・マネジメント』(財)日本レクリエーション協会編 大修館書店 1994 『レクリエーション活動援助法』吉田圭一、茅野宏明編 ミネルヴァ書房 2007 『レクリエーション援助』千葉和夫編 メヂカルフレンド社 1997 『余暇学を学ぶ人のために』日本余暇学会監修 世界思想社 2004 『地域福祉論』市川一宏、牧里毎治編著 ミネルヴァ書房 2007					

科目番号	49	科目名	スポーツバイオメカニクス		
英 文 科 目 名	Sport Biomechanics				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連 絡 先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担 当 教 員	高橋 佳三 (スポーツ 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	未定		会場		
授 業 期 間	2023 年 4 月 14 日 (金) ~ 2023 年 7 月 21 日 (金) <毎週 金 曜 日> 4 時限・講時 15 : 00 ~ 16 : 40				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			90	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (毎 回 の 小 テ ス ト)			10	%
別 途 負 担 費 用	なし				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標> スポーツバイオメカニクスとは、「スポーツにおける運動、ヒト、用具、施設のふるまいを力学的観点から研究するスポーツ科学の基礎的領域の一つ」である。この講義では、様々なスポーツの動作について「動作をバイオメカニクスの観点から考える」ことを学び、スポーツの動作についてより深く観察、考察できるようになることを目的とする。基礎的な力学的計算ができ、動作の力学的な原理・原則を理解できるようになることで、スポーツの動作を力学的な視点で観察し、考察できるようになる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	4 月 14 日		スポーツバイオメカニクスとは？(イントロダクション)		
2	4 月 21 日		スポーツ技術とはなにか？		
3	4 月 28 日		速度、ピッチ、ストライド		
4	5 月 12 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(1): 重心		
5	5 月 19 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(2): 運動と力		
6	5 月 26 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(3): 運動量と力積(Ⅰ)		
7	6 月 2 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(4): 運動量と力積(Ⅱ)		
8	6 月 9 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(5): 仕事と力学的エネルギー		
9	6 月 16 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(6): 回転運動と慣性モーメント		
10	6 月 23 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(7): 回転運動と角運動量		
11	6 月 30 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(8): 流体力1(空気の流れと物体の形状、ボールの回転)		
12	7 月 7 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(9): 流体力2(水の流れと物体の動き)		
13	7 月 14 日		スポーツバイオメカニクスの基礎(10): 良い動きのバイオメカニクスの原則		
14	7 月 21 日		まとめ: 授業の総合解説		
<教科書・参考書> 教科書は特に指定しない。 【参考文献】 「スポーツバイオメカニクス」深代千之、桜井伸二、平野裕一、阿江通良 編著、朝倉書店 「スポーツバイオメカニクス20講」阿江通良、藤井範久 著、朝倉書店 「バイオメカニクスで読み解く スポーツ動作の科学」深代千之、川本竜史、石毛勇介、若山章信 著、東京大学出版会					

科目番号	50	科目名	哲学入門	
英 文 科 目 名	Introduction to Philosophy			
大学・短期大学名	びわこリハビリテーション専門職		大学	
連 絡 先	事務センター学生支援グループ			
	TEL :	0749-46-2311	FAX :	0749-46-2313
担 当 教 員	堀 寛史		(リハビリテーション 学部 講師)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	(未定)	会場	びわこリハビリテーション専門職大学	
授 業 期 間	2023 年 4 月 12 日 (水) ~ 2023 年 6 月 7 日 (水) <毎週 水曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 14 : 50			
超過時の選考方法	出願書類をもとに選考する。			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	— %		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	80 %		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	20 %		
	そ の 他 ()	— %		
別 途 負 担 費 用	(なし)		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	・本科目は全8回授業。 ・レポートは中間・期末の2回提出。 ・授業で配布した資料で、授業内容を復習する。授業の内容に関係のあるニュース、文学、映画、漫画、ポップカルチャーなどがあれば、それに関心を持ち、自ら調べて見識を深める。 ・質問や欠席連絡は、manaba個別指導コレクションを通じて受け付ける。			
<講義概要・到達目標> 哲学の本質を初級者向けに解説しながら、哲学史の流れに沿って哲学の概論を講義する。西洋哲学以外の学問分野との関連づけも行いつつ古代ギリシア以来の哲学思想を西洋哲学史の流れに沿って近代の入り口まで紹介し、自分が既に習得しているさまざまな知識とうまく関係づける。そして、哲学の歴史と基本用語を習得しつつ、日々の生活に疑問を持てるようになることを目標とする。それにより、最終的に、履修者自らが自分自身の世界観、人生観を構築する手掛かりを得られるようになることを目指す。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 12 日	哲学とはなにか① ギリシア哲学における真・善・美について		
2	4 月 19 日	哲学とはなにか② 桃太郎の鬼退治は善なる行動なのか？		
3	4 月 26 日	私とはだれか① 近代哲学の幕開け(デカルトの思想)		
4	5 月 10 日	私とはだれか② 碇シンジが求めた私とはだれなのか？		
5	5 月 17 日	道徳とはなにか、 カントの悟性と理性		
6	5 月 24 日	道徳とはなにか② アンパンマンはなぜ暴力で解決するのか？		
7	5 月 31 日	概念とはなにか① 意味・理由を知る		
8	6 月 7 日	概念とはなにか② ワンピース(ひとつなぎの大秘宝)は本当にあるのか？		
<教科書・参考書> ・教科書： 資料を授業中に配布する。 ・参考書： 堀 寛史『痛みの存在意義 臨床哲学と理学療法学の視座』(大学教育出版)				

科目番号	51	科目名	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)(E)		
英 文 科 目 名	Topics in Economics II Introduction to Financial Analysis(E)				
大学・短期大学名	立命館		大学		
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	三好 秀和 (経済 学部 招聘教員)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	アトセナリオ202	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授 業 期 間	2023 年 8 月 28 日 (月) ~ 2023 年 9 月 2 日 (土) ＜夏集中講義Ⅰ＞ 6月頃受講者に詳細なスケジュールを配布				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	100			%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
その他特記事項	＜講義概要・到達目標＞ 【授業の概要と方法】 夏季集中講義である。集中して学ぶことができる。事前登録が必要となるので注意してほしい。講義形式で行う。一日のまとめを提出して次の授業の時に全体コメントする。復習、予習に生かしてほしい。優れたまとめに対しては加点をする。優れたまとめと自分が作成したまとめとを比較して復習に生かしてほしい。授業に出席しているだけでは平常点にならない。積み上げ学習が必要な科目であることを認識してほしい。 証券アナリストの基礎的な内容を講義する。アナリストを目指す学生だけではなく、インベストメントバンキング部門の金融機関や経営企画部門、IR部門の担当者を目指すための基礎知識内容である。また、就職活動を通じて企業と接点をもつことになる学生がこれまでの学習を元に企業活動の実態を理解する上で役立つ授業となる。企業とは何か、その活動を支える資本市場の意義を理論と実例から学ぶ。 【受講生の到達目標】 1.金融・証券分析の基礎知識を学ぶことができる。 2.企業の行動原理を理解することができる。 3.現実のトピックスを通して企業活動のダイナミズムを実感できる。 【成績評価方法】 選択問題による筆記試験評価55% 日常的な授業における取組状況の評価 45%(授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することがある。) ※コロナの状況等により、WEBリアル授業となった場合には筆記試験に代わってレポート提出となる。日常的な授業における取組状況の評価45%についても授業のまとめなどの小レポートを求める。授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することは対面、WEBともに実施する。 【授業外学習の指示】 復習に重点を置いて学習してもらいたい。特に授業中に指示するテキストの学習範囲は試験に直接結びつくので復習する。講義を聴くだけでは自分の実力とはならない。手を動かし、電卓をたたいて初めて習得できるものと心得る。ゲスト講師の予定により授業内容が前後する場合があることを了解すること。 【受講および研究に関するアドバイス】 積極的に努力し復習することを奨励したい。経済や金融は現実の世界で動いている。日々変動する金融理論は机上の空論ではない。また、就職時期になって対策を立てるようなことでは心もとない。経済の基礎的な知識は大学生の早い時期にしっかりと身に付けておくことで視野を広げる意味でもよい。 【参考になるwwwページ】 日本証券アナリスト協会のWEBにはアナリスト講座の申込みだけではなく、企業のIRセミナーを学生に公開している。学生会員として登録すれば経営者を身近に感じることが可能となる。				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	8月28日	(1)ガイダンス 就職活動と通じて企業を知る意義、上場会社と非上場会社、金融機関と事業会社、リテールとホールセールのちがいを理解する (2)株式市場と理論 株式の評価、DDM、収益率、効率的市場仮説、予測と情報、EPS、PER、PBR、 (3)債券市場と理論 金利と将来価値、期待リターンとリスク、資産評価、DCM、定率成長キャッシュフローの評価、債券の評価
2	8月29日	(4)設備投資と会社経営 コーポレートファイナンスとは、内部収益率、ハードルレート、資本コスト、期間回収法 (5)IR入門と資本市場 証券投資の意義と機能、経済と金融、証券市場、金利とリターン、企業金融と財務分析
3	8月30日	(6)アセット・アロケーション入門Ⅰ 分散効果、ポートフォリオ理論 (7)アセット・アロケーション入門Ⅱ CAPMと資本コスト (8)機関投資家と個人投資家 機関投資家、年金運用、資産運用プロセス、アセット・アロケーション、資産運用の評価、確定拠出年金制度、非課税の効果、運用商品の選択と投資教育、ライフサイクル、税金、非合理的な投資行動
4	8月31日	(9)ファンド入門 不動産投資とREIT、オルタナティブ投資、インフラファンド、ヘッジファンド (10)中間まとめ 資本市場、投資家、企業経営の全体の位置付けを考える。授業の進捗により割愛して講義を進めることもある。
5	9月1日	(11)株式投資入門 株式とは？私たちの生活と株式市場との関連性 (12)外国為替入門 為替市場とは？円キャリー取引とは (13)債券投資入門 国債、社債、格付け
6	9月2日	(14)トピックス コーポレートガバナンスコード、ステewardシップコードやビットコイン、ブロックチェーン、AIなどのトピックス。ただし、テキストの進捗により割愛して講義を進めることもある。 (15)デリバティブ入門とテスト フォワード、フューチャー、オプションとは
＜教科書・参考書＞		
【教科書】		
・『アナリスト基礎講座第1.2分冊』（日本証券アナリスト協会）：初回講義で案内する		
・『日本経済新聞』（日本経済新聞社）		
・『銀行・証券・保険業界のビジネスモデルで学ぶ 金融キャリアの教科書』三好秀和著（経済法令研究会 9784766833461）		
【参考書】		
『ファンドマネジメント大全』三好秀和編著（同友館 9784496050312）		
【参考書(備考)】		
多くの運用会社で利用されている実務書である。学生には運用会社の業務内容を知る上で有益であるが参考程度で購入する必要はない。3版で品薄状況であるため図書館で貸し出しを受けるのがよい。		
【備考】		
ハーバードでは「今あなたは眠って夢を見ることができる。しかし、眠らずに今勉強すれば近い将来、夢を実際に見ることができる」と学生たちの間で話題となっている。24時間勉強する必要はないが授業に集中すべきだし、自宅で勉強できなければ授業に出席すべきである。成績と授業出席率は相関関係が成立している。		

科目番号	52	科目名	ソーシャルデザイン論(G1)	
英 文 科 目 名	Social Design (G1)			
大学・短期大学名	立命館		大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担 当 教 員	永野 聡 (産業社会 学部 准教授)			
実 施 方 法	対面授業 <u>遠隔授業</u> 対面・遠隔併用			
教 室 名	-	会場	-	
授 業 期 間	2023 年 4 月 6 日 (木) ~ 2023 年 7 月 20 日 (木) <毎週 木曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	100	%	
	そ の 他 ()	%		
別 途 負 担 費 用	<u>なし</u> あり()円			
その他特記事項				
<講義概要・到達目標> 【授業の概要と方法】 日本の地域社会は多くの課題を抱えている。そこでの解決策を提示することは、これからの日本の目指すべき道を示す事にも繋がる。これまで様々な主体によって数多くの対策が講じられてきた。彼らはどのように課題を乗り越えてきたのか、そこには多くの視座・視点がかくされている。 そこで、本授業はインプットとアウトプットの2つの特徴を持つ。まずインプットとして、困難かつ複雑な地域社会の課題に対する解決策の事例を理解する。次にアウトプットとして、これまで学習してきた内容を踏まえてグループワークを実施する。最終的には、地域社会の課題解決に関するソーシャルデザイナーのコンピテンシーを理解する。本授業は15回出席を課す。 【受講生の到達目標】 (1) 論理的・批判的思考に関する基本的なスキルとマインドを体得できる。 (2) 学際的な観点より実践的なソーシャルデザインの事例(戦術面)を理解する事ができる。 (3) 地域課題解決について深く高度な専門的知見を持ち、様々な分野を横断的に捉える俯瞰力を理解する。 (4) ソーシャルデザイナーとしての責任感を持つ。 (5) 授業終了後には、自分にでもできるネクストアクションを起こしたくなる。 【成績評価方法】□ I、授業内レポート【41%】 発表資料またはレポートの提出 (ア)期限までの提出【最大+20%】 期限後の提出に関しては、下記の②を満たしたとしても①は0%とする。 (イ)発表資料またはレポート作成【最大+21%】 シラバスの「授業スケジュール」の15回目に記載されている①～⑦の項目に関する発表資料*またはレポート**を作成する ①～⑦の各項目+3%(最大値:+3% X 7項目 = +21%) *発表資料の場合、各項目最低1ページの資料を作成すること **レポートの場合、各項目最低100文字以上記述すること II、平常点評価は「授業スケジュール」の3～14回目(12回分)を対象とする【59%】 (ア)自身のパフォーマンスを通じた「気づきと発見」【最大+24%】 自らのチームのTrans-Learning(発表)についての省察 評価基準(各回の授業最大+2%、2% X 12回 = +24%) (0%)未提出 (+1%)自己評価アンケート提出 (+1%)自らの気づきや発見に関する記述(50文字以上) (イ)他者のパフォーマンスを通じた「気づきと発見」【最大+24%】 相手チームのTrans-Learning(発表)についての意見・感想 評価基準(各回の授業最大+2%、2% X 12回 = +24%) (0%)未提出 (+1%)相手チーム評価アンケート提出 (+1%)相手チームに関する気づきや発見に関する記述(50文字以上)				

【(ウ) ベーシックパフォーマンス【+11%】】

基本点として全員に付与。ただし、授業への姿勢・態度、チームへの貢献、他者への敬意や配慮などが欠落している場合、減点する場合がある(減点の基準は授業や他者への影響を鑑みて、教員が判断する)

【授業外学習の指示】

- ・毎授業の内容に即して、事前に関連する文献・資料等を読んでおくこと。
- ・授業後に内容を復習し、特に関心の深いポイントを掘り下げて考えてみる。

【受講および研究に関するアドバイス】

本授業は全15回に出席する事を履修の前提とする。その理由は以下となる。

- (1) グループワークを2～3週に渡って実施する事があるため。
- (2) 15回受講する事で、授業の到達目標を達成できるため。

＜授業スケジュール＞

回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 6 日	「ソーシャルデザインとは」「ソーシャルとは」「デザインとは」 学生主体調査・議論
2	4 月 13 日	「アクティブラーニングキャンパス(ALC)プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
3	4 月 20 日	「アクティブラーニングキャンパス(ALC)プロジェクト」 ～構想・準備～ 学生主体調査・議論
4	4 月 27 日	「アクティブラーニングキャンパス(ALC)プロジェクト」 ～発表～ 学生主体調査・議論
5	5 月 11 日	「小規模自治体におけるシェアリングエコノミーを活用した地域活性化プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
6	5 月 18 日	「小規模自治体におけるシェアリングエコノミーを活用した地域活性化プロジェクト」 ～構想・準備～ 学生主体調査・議論
7	5 月 25 日	「小規模自治体におけるシェアリングエコノミーを活用した地域活性化プロジェクト」 ～発表～ 学生主体調査・議論
8	6 月 1 日	「地方都市におけるジェロントロジー(老年学)と地域活性化プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
9	6 月 8 日	「地方都市におけるジェロントロジー(老年学)と地域活性化プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
10	6 月 15 日	「地方都市におけるジェロントロジー(老年学)と地域活性化プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
11	6 月 22 日	「京都における地域観光プランニングプロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
12	6 月 29 日	「京都における地域観光プランニングプロジェクト」 ～構想・準備～ 学生主体調査・議論
13	7 月 6 日	「京都における地域観光プランニングプロジェクト」 ～発表～ 学生主体調査・議論
14	7 月 13 日	「京都における地域観光プランニングプロジェクト」 ～発表～ 学生主体調査・議論、Social Design Frameworkの概要説明
15	7 月 20 日	自分でできるSmall Social Design

<教科書・参考書>

【参考書】

『実践ソーシャルイノベーション－知を価値に変えたコミュニティ・企業・NPO』野中 郁次郎、廣瀬 文乃、平田透著(千倉書房 4805110333)

『共感が未来をつくる：ソーシャルイノベーションの実践知』野中 郁次郎著(千倉書房 4805112271)

『ロングライフウェルネス』永野 聡、劉 慶紅、三上 己紀著(論創社 4846021483)

【参考になるwwwページ】

Miro <https://miro.com/app/board/uXjVPKjfRj8=>

シェアリングエコノミー協会 <https://sharing-economy.jp/ja/>

デジタル田園都市国家構想(内閣府) <https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/index.html>

グリーン社会の実現(首相官邸) <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/tokushu/green.html>

The Intergovernmental Panel on Climate Change <https://www.ipcc.ch>

United Nations <https://www.un.org/development/desa/ageing/>

World Health Organization (WHO) https://www.who.int/health-topics/disability#tab=tab_1

日本財団 <https://www.social-innovation.jp/social-innovators/about/>

NPO法人ETIC. <https://www.etic.or.jp/index.php>

認定NPO法人ふるさと回帰センター <https://www.furusatokaiki.net/>

グッドデザイン賞 <http://www.g-mark.org/about/>

キッズデザイン賞 <http://www.kidsdesignaward.jp/2017/overview/index.html>

慶大SFC社会イノベータコース <http://si.sfc.keio.ac.jp/>

立命館大学永野ゼミ <https://www.naganoseminar.com/>

京都産業大学大室研究室 <http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~k3833/>

自遊人 <http://jiyujin.co.jp/>

科目番号	53	科目名	近現代の科学技術(G1)		
英 文 科 目 名	Modern History of Science and Engineering(G1)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	飴山 恵、鈴木 健一郎 (理 工 学 部 教 授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	コラーニングハウスI 302	会場	立命館大学BKC(びわこ・さつ)キャンパス		
授 業 期 間	2023 年 4 月 12 日 (水) ~ 2023 年 7 月 19 日 (水) <毎週 水 曜 日> 2 時 限・講 時 10 : 40 ~ 12 : 10 ※ただし、本学の学年暦により第8回目の授業は6/3(土)となる。				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			100 %	
	そ の 他 ()			%	
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標> 【授業の概要と方法】 前半7回の講義は飴山が担当する。 「材料科学」と「ものづくり産業」の歴史的変遷と現代の到達点および諸課題について学習した上で、持続可能な低炭素社会を実現するためのクリーンエネルギー創出・利用技術について、文社系学生に分かり易く解説する。 後半7回の講義は、以下の内容で鈴木が担当する。 始めに西洋で生まれた科学技術の特徴を3つの基礎概念(力学, エネルギー, 原子)について整理して述べ、各自が自ら考える道しるべとしたい:「科学とは何か」「科学はどうして西洋で生まれたのか」「科学は今後も進歩するのか」等。その後はエレクトロニクス技術を中心として現代の情報通信社会に至る技術進歩について講義する。できるだけ身近にあって親しみが湧くような内容を取り上げ解説する。 最終の第15週目は、前半・後半併せて学習の到達段階を検証するための試験を行う。 【受講生の到達目標】 前半7回の講義(飴山)では、学生が「材料科学」と「ものづくり産業」における歴史的経緯と現代の到達点・諸課題を把握するとともに、持続可能な低炭素社会実現に向けて、自然エネルギーの有効利用技術の動向を把握することを目標にします。 後半7回の講義(鈴木)では、学生が西洋で生まれた科学の特徴について理解するとともに、科学が技術となって現代社会を大きく変化させるに至ったことに興味を持てるようになることを目標とする。 【成績評価方法】 評価比率は、前半7週(50%) + 後半7週(50%) = 合計100%とする。 ・最終講義日(15週目)に、前半・後半合同の検証試験、またはレポート試験を実施する。 ・毎回の授業における小テスト、またはレポート試験を実施する。 これらを総合して評価する。 【成績評価方法(備考)】 真摯かつ的確を射た質問は平常点として評価する。 【授業外学習の指示】 科学は身近にあふれています。科学に関する雑誌や新聞に注意を向け、疑問に思ったことがあれば些細なことでも調べる癖をつけましょう。 【受講および研究に関するアドバイス】 科学は遠くにある難しいものではありません。身近なところにある科学技術に興味を持ち、自分でも実際に触れたり調べたりしてみましょう。日常の楽しみが広がります。					

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4月12日	文明の始まりと材料の発達【概説】:石器時代→青銅器時代→鉄器時代→現代社会
2	4月19日	ものづくり技術の発達I【原動機】:人力, 風車, 水車, モーター, エンジン, 蒸気タービン, ガスタービン, ロケットなど
3	4月26日	ものづくり技術の発達II【エネルギー】:化石燃料, 原子力, など 自然エネルギー(風力, 水力, 太陽光, 潮汐力など)
4	5月10日	ものづくり技術の発達III【環境問題】:地球温暖化のメカニズム、解決方法の模索、低炭素社会の実現
5	5月17日	材料科学と社会I【資源】:さまざまな資源の性質と確保
6	5月24日	材料科学と社会II【日本の科学技術の源流】:近世の科学技術。日本刀の製造技術と特性発現メカニズム。高度で独創的な江戸時代の機械。
7	5月31日	材料科学と社会III【現代の日本の科学技術】:先端的科学技術。現代の情報社会を支える様々な技術。
8	6月3日	※水曜授業実施日※ 科学の思想と方法:西洋科学の特徴, 力学の誕生。
9	6月7日	エネルギーの発見:電気回路, 熱学の誕生, エネルギー保存則。
10	6月14日	原子という概念:化学と物理の関連性, 統計力学の発展, 量子力学の誕生, 超電導。
11	6月21日	エレクトロニクス(1):トランジスタの誕生, 集積回路技術の発展。
12	6月28日	エレクトロニクス(2):コンピュータ技術の発展
13	7月5日	通信技術:有線技術, 無線技術, 光通信
14	7月12日	情報技術:インターネット, センシングネットワーク, ICT, AI(実行知能)
15	7月19日	最終講義試験(前半・後半合同):14回の授業の到達度を確認するための試験を行う。
＜教科書・参考書＞		
【教科書】 講義で使用する資料 をmanaba+Rに提示するので、利用して下さい。		
【参考書】 『機械材料学』 日本材料学会編著(日本材料学会 9784901381000) 『近代科学はなぜ東洋でなく西欧で誕生したか』 菅野礼司著(吉岡書店 9784842703718) 『科学の発見』 S. ワインバーグ著(文芸春秋 978-4-16-390457-3)		
【参考になるwwwページ】 特にありませんが、講義中のキーワードなどで興味があればどんどん検索して、深掘りしてみましょう。 一つのサイトの情報を鵜呑みにするのではなく、いくつかのサイトの内容を比較しながら知識を得ること。		

科目番号	54	科目名	生命科学概論(M)		
英 文 科 目 名		Introduction to Life Sciences (M)			
大学・短期大学名		立命館		大学	
連 絡 先		〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
TEL :		077-561-4972		FAX :	077-561-3935
担 当 教 員		加藤 稔 ほか7名 (生命科 学部 教授)			
実 施 方 法		対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教 室 名		コラーニングハウスI 101	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス	
授 業 期 間		2023 年 4 月 10 日 (月) ~ 2023 年 7 月 17 日 (月) <毎週 月 曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50			
超過時の選考方法		出願票に記載の志望理由による選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100 %		
	そ の 他 ()		%		
別 途 負 担 費 用		(なし) あり()円			
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】 21世紀は『生命科学』の世紀といわれる。これは、20世紀に急速に蓄積した“生物に対する知識”を基盤にして、21世紀には人類の福祉に役立つ技術が開発され、実用化されるであろうことへの期待の表われである。この分野は人間を含む生物(生命体)を研究・実験の対象にするものであり、研究者ならびに技術者には高い倫理観が求められる。本講義は、生命科学部での導入科目として位置づけ、生命科学部の各学科における学問の形態や技術動向等について概観するとともに、研究者・技術者の役割と責任についても講義する。なお、幅広い話題を提供するために、オムニバス形式の講義とする。					
【到達目標】 生命科学研究の現場にいる人たちの研究動機およびに社会から求められる規範に触れることにより、どのように問題を理解し対処すべきか、判断するための基盤を獲得する。					
【成績評価方法】 ・科目全体としての検証テストは行わない ・レポート課題を適宜提示する ・小テストを適宜実施する ・質疑応答等、講義への積極的な参加を評価に加味する					
【授業外学習の指示】 予習: 事前に指示された参考書を読んでおくこと 復習: 講義時間中に指示された参考書を読むこと 30分を目安としてこれら予習復習を行うこと					
【受講および研究に関するアドバイス】 色々なことに興味を持つこと					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 10 日	加藤稔:「授業の概要と導入」			
2	4 月 17 日	下妻晃二郎:「生命科学と社会」1			
3	4 月 24 日	下妻晃二郎:「生命科学と社会」2			
4	5 月 1 日	小林洋一:「応用化学関連テーマ」1			
5	5 月 8 日	小林洋一:「応用化学関連テーマ」2			

6	5 月 15 日	松村浩由:「生物工学関連テーマ」1
7	5 月 22 日	松村浩由:「生物工学関連テーマ」2
8	5 月 29 日	寺内一姫:「生命情報学関連テーマ」1
9	6 月 5 日	寺内一姫:「生命情報学関連テーマ」2
10	6 月 12 日	西澤幹雄:「生命医科学関連テーマ」1
11	6 月 19 日	西澤幹雄:「生命医科学関連テーマ」2
12	6 月 26 日	宮崎栄二:「特許」
13	7 月 3 日	中川浩行:「工学倫理」1
14	7 月 10 日	中川浩行:「工学倫理」2
15	7 月 17 日	加藤稔:「授業の統括」
<教科書・参考書> 【教科書】 特に定めない。 【参考書】 <1回目講義用> 『大学生になるきみへ: 知的空間入門』中山茂著（岩波書店 978-4-0050-0452-2） <10-11回講義用> 『はじめての研究生生活マニュアル』西澤幹雄著（化学同人 978-4-7598-1597-9） <13-14回講義用> 『技術者による実践的工学倫理: 先人の知恵と戦いから学ぶ』中村収三, 近畿化学協会工学倫理研究会共編著（化学同人 978-4-7598-1557-3） <15回目講義用> 『現代化学史: 原子・分子の科学の発展』廣田襄著（京都大学学術出版会 978-4876982837） 【参考になるwwwページ】 適宜、紹介する。		

科目番号	55	科目名	薬学概論(Y)		
英 文 科 目 名	Introduction to Pharmacy (Y)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	浅野 真司 ほか9名 (薬 学 部 教 授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	ラルカディア102	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授 業 期 間	2023 年 4 月 11 日 (火) ~ 2023 年 7 月 18 日 (火) <毎週 火 曜 日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100 %		
	そ の 他 ()		%		
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】 薬学部薬学科に入学した学生に対する「導入科目」と位置づけ、6年間の学び全般について概説する。まず「薬学とは何か」について説明する。そして、「生命の尊厳」、「医療倫理」、「生命倫理」、「薬とは何か」、「どのように作用するか」、「薬は体内でどのような運命をたどるか」、「薬剤師の職務・責任、活動分野」、「薬害」、「医薬品の開発」、「チーム医療とコミュニケーション」、「医薬品開発」、「治験」、「社会保障と保険医療」、「薬剤師として求められる資質」などについて概説する。					
【到達目標】 A 基本事項 ・薬剤師の使命 医療と薬学の歴史を認識するとともに、国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身につける。 ・薬剤師に求められる倫理観 倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。 ・多職種連携協働とチーム医療 医療・福祉・行政・教育機関及び関連職種の連携の必要性を理解し、チームの一員としての在り方を身につける。 ・自己研鑽と次世代を担う人材の育成 生涯にわたって自ら学ぶことの必要性・重要性を理解し、修得した知識・技能・態度を確実に次世代へ継承する意欲と行動力を身につける。					
B 薬学と社会 人と社会に関わる薬剤師として自覚を持って行動するために、保険・医療・福祉に係る法規範・制度・経済、及び地域における薬局と薬剤師の役割を理解し、義務及び法令を遵守する態度を身につける。 ・薬剤師と医薬品に係る法規範 調剤、医薬品等(医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、再生医療等製品)の供給、その他薬事衛生に係る任務を薬剤師として適正に遂行するために必要な法規範とその意義を理解する。 ・社会保障制度と医療経済 社会保障制度のもとで提供される医療と福祉について、現状と課題を認識するとともに、薬剤師が担う役割とその意義を理解する。					

【成績評価方法】

レポート(3回)を提出する(75%)。

15回目に理解度を確認する試験または、これに替わるものを実施する(25%)。

【授業外学習の指示】

医療人である薬剤師等を目指す自覚を持ち、責任感を身につけ、また自らが問題点を探し(課題探求)、自らその解決策を考える(課題解決)態度を身につけるようにして欲しい。

【受講および研究に関するアドバイス】

健康、命、くすり、薬剤師、などに関する新聞やテレビなどの記事、ニュース、特集などは興味を持って読んでもらいたい。

<授業スケジュール>

回	月 日	テーマ・キーワード
1	4 月 11 日	薬学とは何か 担当者:浅野真司
2	4 月 18 日	生命の尊厳 担当者:浅野真司
3	4 月 25 日	医療倫理 担当者:浅野真司
4	5 月 2 日	生命倫理 担当者:北村佳久
5	5 月 9 日	薬とは何か 担当者:田中謙
6	5 月 16 日	薬の作用するプロセス 担当者:天ヶ瀬紀久子
7	5 月 23 日	体内での薬の運命(薬物動態) 担当者:桂敏也
8	5 月 30 日	医薬品開発のプロセス 担当者:鈴木健二
9	6 月 6 日	医薬品の創製と治験 担当者:鈴木健二
10	6 月 13 日	薬剤師の活動分野 担当者:藤田隆司
11	6 月 20 日	薬剤師の職務と責任 担当者:上島智
12	6 月 27 日	薬害 担当者:藤田隆司
13	7 月 4 日	チーム医療とコミュニケーション 担当者:角本幹夫
14	7 月 11 日	社会保障と医療保険 担当者:細木るみこ
15	7 月 18 日	薬剤師と資質、総括 担当者:浅野真司

<教科書・参考書>**【教科書】**

教科書は指定しないが、プリント(レジュメ)、参考資料を適宜配布する。

【参考書】

『薬学教室へようこそ』 二井将光著(講談社 978-4-06-257931-5 (ブルーバックス))

『薬学へのいざない』 鎌滝哲也著(東京化学同人 978-4-8079-1289-6)

【備考】

『薬学教室へようこそ』(二井将光著)は、事前に読むことを強く薦める。

個々のテーマに関する参考書等については随時、紹介する。

科目番号	56	科目名	スポーツマネジメント論(V)		
英 文 科 目 名	Introductory Sports Management (V)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	長 積 仁 (スポーツ健康科 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	コラーニングハウスI 203	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授 業 期 間	2023 年 9 月 28 日 (木) ~ 2023 年 1 月 18 日 (木) <毎週 木 曜 日> 4 時 限・講 時 14 : 40 ~ 16 : 10				
超 過 時 の 選 考 方 法	出願票に記載の志望理由による選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100 %		
	そ の 他 ()		%		
別 途 負 担 費 用	あり()円				
そ の 他 特 記 事 項					
＜講義概要・到達目標＞					
【講義の概要と方法】					
スポーツマネジメントとは、スポーツ組織の使命や目的を達成するために行われる人間の活動であり、同時に人々のスポーツライフの質を高め、文化としてのスポーツを振興するために人間の英知を結集させた営みのことである。本講義では、「する・みる・ささえる・つくる」といった人とスポーツのかかわりの多面性を考慮し、公共機関から営利目的の企業までを事例に上げながら、人・組織・社会とスポーツの関係をデザインするために必要な視座に対する理解を深め、それを実践の場で活かすための基礎知識を身につけることを目的とする。					
【到達目標】					
①スポーツマネジメントの基本的な考え方・基礎知識を習得することができる。					
②スポーツマネジメントが必要とされる多様な領域に対する理解と関心を深めることができる。					
③授業で培った基礎知識を、様々な状況下で適用・応用することができる。					
【授業の方法】					
授業は講義が中心であるが、毎回、授業内容に関する感想・批判・意見・質問を200字程度で提出してもらう。それらの感想を用いて、授業の復習及び授業内容に対する理解を促す。					
【成績評価方法】					
授業で扱った基本概念や用語の説明や、授業で学んだ知識を実社会や想定した状況下において、適用・応用できるかを判断するためのレポート課題の提出を、授業内容に沿って、随時、求める。また、授業内試験を実施する。課題及び試験の採点基準は、内容の正確性、文章の構成と論理性に重点を置く。ただし、成績評価の対象は、2/3以上の出席をした受講生に限る。					
【成績評価方法(備考)】					
BPCレベルによって、評価方法・評価基準は、変更しない。					
【受講および研究に関するアドバイス】					
まず、時間と期限と約束を守ること。次に、授業中に私語をして周りに迷惑をかけたり、携帯通信機器の使用や居眠りをして授業の雰囲気や崩壊するような、授業に対して緊張感が保てない学生の受講は認めない。授業では、特別な予備知識は要求しないが、大学での学び方は受け身ではなく、より積極的な態度と行動が求められる。これまで培ってきた「教えてもらう」という受け身の姿勢から脱皮し、何事に対しても「自ら調べ、考え、探究する」という自発的な姿勢を身に付けてほしい。					

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	9 月 28 日	スポーツマネジメントの視座:組織の成果を意識したマネジメントの基礎知識
2	10 月 5 日	Society 5.0時代におけるスポーツビジネスの潮流:スポーツビジネスを再定義する
3	10 月 12 日	スポーツプロダクト:スポーツの魅力と価値とは?
4	10 月 19 日	サービスマネジメント:サービスの特質とサービスをデザインする考え方
5	10 月 26 日	プロスポーツチームのマネジメント:プロスポーツの構造と仕組み
6	11 月 2 日	プロスポーツチームのビジネス戦略:球団が展開するファンサービスと地域とのタイアップ
7	11 月 9 日	民間フィットネスクラブの経営戦略:業界の構造と成熟期における会員定着戦略
8	11 月 16 日	スポーツ組織のマネジメント1:組織のビジョンと目標
9	11 月 23 日	スポーツ組織のマネジメント2:組織の構造化
10	11 月 30 日	スポーツ組織のマネジメント3:リーダーシップの系譜
11	12 月 7 日	スポーツ組織のマネジメント4:組織の“らしさ”を形づくる
12	12 月 14 日	スポーツ組織のマネジメント5:学習するスポーツ組織
13	12 月 21 日	スポーツ振興とまちづくり:まちの顔となるスポーツとソーシャル・キャピタルの醸成
14	1 月 11 日	新しい時代に求められるスポーツ環境を考える:隙間から参加者がこぼれ落ちる我が国のスポーツ振興システム
15	1 月 18 日	授業総括、確認テスト(60分)・授業の振り返り
＜教科書・参考書＞		
【参考書】		
『スポーツマネジメント』原田宗彦・小笠原悦子著(大修館書店 978-4-469-26669-6)		
『図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント』山下秋二・中西純司・松岡宏高著(大修館書店 978-4-469-26804-1)		
『スポーツ産業論第7版』原田宗彦著(杏林書院 978-4-7644-1596-6)		
『よくわかるスポーツマネジメント』柳沢和夫・清水紀宏・中西純司著(ミネルヴァ書房 978-4623080144)		
)		
上記の書籍は、授業内容の理解を深めるために役立つものであり、また授業内でカバーしきれない内容についての興味・関心を促すものである。		

科目番号	57	科目名	植物生理・生化学Ⅰ	
英 文 科 目 名	Plant Physiology and BiochemistryⅠ			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	古本 強 (農 学部 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場	龍谷大瀬田学舎	
授 業 期 間	2023 年 9 月 20 日 (水) ~ 2024 年 1 月 17 日 (水) <毎週 水 曜 日> 1 時 限・講 時 9 : 15 ~ 10 : 45			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		50	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		20	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		15	%
	そ の 他 (小 テ ス ト)		15	%
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円			
そ の 他 特 記 事 項	高校で生物学と化学を履修していない人は、講義に並行して生物学基礎の受講、高校生物、化学の自習を薦める。 授業の最後に、授業資料の視聴を確認するために実施するアンケートへの参加状況をもって出席とし、この評価をもって授業の2/3以上出席した者を最終評価の対象とします。			
<講義概要・到達目標>				
<講義概要> 近年の分子生物学、細胞生物学、結晶構造学の急速な進展により、植物における多くの重要な生理生化学的現象が分子レベルで理解できるようになりました。本講義では、「生きている」ということを「(細胞の活動エネルギーとなる)ATPを生産できる」という観点から捉え、主に植物がどのようにATPを生産しているのかを中心に、細胞レベル・タンパク質レベル・分子レベルの複数のレベルで、多角度から解説します。 最初に細胞構造を解説し、ついで、各種の代謝について基礎的な事項から解説し、後半では特に生命現象を示す分子レベルでの事象(タンパク質の構造変化と機能の相関)を中心に、代謝の制御機構に触れつつ、できるだけ平易に講述します。				
<到達目標> まず、全ての生命の最小単位である「細胞」を理解することを目指します。ついで、細胞機能を支える代謝や膜の機能を理解し、多くのタンパク質の機能やその調節機構を認識することで、生命現象が精緻で巧妙な分子機構に基づいていることを学びます。植物の基本機能である光合成や呼吸などの生化学的現象を分子レベルで説明できるようになることを目標とします。				
<講義方法> パワーポイントでの講義が中心です。必要最低限の資料はプリントアウトし、配布します。授業の振り返りをアンケートとして回収して、そのアンケートの中から理解が不足している点などを追加で説明するなど、十分に授業についてきているかをモニターしながら進めます。				
<授業時間外における予・復習等の指示> 配布プリントに必要事項を記入し、それを復習すること。復習の助けとして、講義動画を授業期間限定で公開します。質問はmanabaの公開期間に受け付けます。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	9 月 20 日	ガイダンス 生理生化学とは		
2	9 月 27 日	代謝概論 各種反応論		
3	10 月 4 日	代謝研究法		
4	10 月 11 日	解糖系(1) グルコースからピルビン酸		
5	10 月 25 日	解糖系(2) ピルビン酸の行方		

6	11 月 1 日	電子伝達系と酸化的リン酸化
7	11 月 8 日	クエン酸回路と他の代謝とのつながり
8	11 月 15 日	代謝の調節と制御
9	11 月 22 日	光合成(1) 光受容
10	11 月 29 日	光合成(2) 光化学系と電子伝達
11	12 月 6 日	光合成(3) 炭素代謝
12	12 月 13 日	光合成(4) C4光合成とCAM型光合成
13	12 月 20 日	物質輸送 輸送タンパク質
14	1 月 10 日	輸送タンパク質のエネルギー収支
15	1 月 17 日	全体のまとめと展望

<教科書・参考書>

<教科書>

・高橋裕一郎、園池公毅、古本強 『光合成』（朝倉書店）3,600円（ISBN:9784254171761）

高校での生物未履修者にも対応しますが、どうしても難易度が高くなる部分があります。高校生物の資料集や参考書を授業前に読み込んでおく予習を勧めます。オフィスアワーを利用して質問等を受け付けます。

<参考書>

・HansWater Heldt（金井龍二 訳）『植物生化学』（Springer）8,600円（ISBN:443170857X）

・D・サダヴァ 『大学生物学の教科書 第1巻 細胞生物学』（Blue Backs）1,300円
（ISBN:9784062576727）

・芦原坦・加藤美砂子 『代謝と生合成 30講』（朝倉書店）3,400円（ISBN:9784254177152）

・三村徹郎、深城英弘、鶴見誠二 『植物生理学』（化学同人）3,400円（ISBN:9784759819977）

参考資料としてプリントを配布する。

科目番号	58	科目名	食と嗜好の科学	
英 文 科 目 名	Food Science in Palatability			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	山崎英恵、中村元計、高橋拓児、才木 充 (農 学部 教授)			
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場	龍谷大瀬田学舎	
授 業 期 間	2023 年 9 月 25 日 (月) ~ 2024 年 1 月 15 日 (月) <毎週 月 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		50	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40	%
	そ の 他 (小 テ ス ト)		10	%
別 途 負 担 費 用	(なし)		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	専門的な予備知識は必要ありません。			
<講義概要・到達目標>				
<講義概要>				
食の嗜好性は、食糧生産から食品開発や外食産業まで、食に関わるすべてにおいて重要な要素である。私達の健康維持増進や疾病予防のための食事だけでなく、高齢者の食事、離乳食、病院食、学校給食、アスリートの食事など、様々な制限のある食の局面で、食を介して人々の生活の質(QOL)の向上の鍵を握っている。また、食料自給率の維持・向上や食の伝統・文化の問題の根底にも、食の嗜好性が深く関わっている。食の嗜好性に関わる、おいしさ(palatability), 嗜好(liking), 選択行動(wanting)について、それらの要因を解説するとともに、味覚・嗅覚・食感、食欲調節と満足感などの生理的側面・食の文化としての側面、食に関わる様々な情報の影響、現代社会において食の関わる諸問題と食嗜好の関係について解説する。また、3人のプロの料理人により、日本料理(京料理)を通しておいしさや嗜好性に関わる多面的かつ具体的な内容の講義を展開し、食と嗜好に関する理解を更に深める。				
<到達目標>				
(1)味覚と嗜好、おいしさの相違について理解できるようになる。				
(2)おいしさを構成している要素を理解できるようになる。				
<講義方法>				
スライドと口述による講義を中心とする。場合によっては、オンライン授業を併用することがある。				
<授業時間外における予・復習等の指示>				
授業時間中に適宜指示を行う。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	9 月 25 日	味覚と嗜好、おいしさについて		
2	10 月 2 日	味覚:基本五味と味を感じるしくみ		
3	10 月 9 日	嗅覚:バニラやキャラメルの匂いはなぜ甘い		
4	10 月 16 日	味覚の周辺①:トウガラシはなぜ辛いのか、メントールはなぜ冷たく感じるのか		
5	10 月 23 日	味覚の周辺②:えぐ味、渋み、人工甘味料、人工油脂、人工塩味料		
6	10 月 30 日	おいしさの構造とその構成要素①生理的なおいしさ、情報のおいしさ		
7	11 月 6 日	おいしさの要素②:食べなれたおいしさ、食文化、報酬系のおいしさ 油脂のおいしさと脳の報酬系		
8	11 月 13 日	日本料理とはなにか そのおいしさと嗜好性		
9	11 月 20 日	郷土食と京料理		

10	11 月 27 日	出汁の味わい: 日本料理の味付けとおいしさ
11	12 月 4 日	料理の塩梅
12	12 月 11 日	期待感と満足感
13	12 月 18 日	品位とおいしさ
14	12 月 25 日	おいしさは遺伝しない: 次世代への食文化の継承
15	1 月 15 日	おいしさと持続可能性
<教科書・参考書> <参考書> ・伏木亨 『おいしさを科学する』(ちくまプリマー新書 筑摩書房) 778円 (ISBN:4480687440) ・高橋拓児 『10品でわかる日本料理』(日本経済新聞出版) 1,650円 (ISBN:4532168783)		

科目番号	59	科目名	食の文化論	
英 文 科 目 名	Food Culture			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	尾崎 智子 (農 学部 講師)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場	龍谷大瀬田学舎	
授 業 期 間	2023 年 4 月 11 日 (火) ~ 2023 年 7 月 18 日 (火) <毎週 火 曜 日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		70	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		30	%
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	特になし			
<講義概要・到達目標>				
<講義概要> 古代から近代までの日本の食文化とその変化について論じる。滋賀の食文化についても折にふれて論じたい。				
<到達目標> 1、日本史の流れに沿い、食文化の変容について具体的に理解する。 2、「食」をめぐる歴史について、探求心を持って課題設定をすることができる。 3、自ら発見した課題を論理的に分析し、考えを文章で表現できる。				
<講義方法> 毎回、パワーポイントや映像を用いながら講義を進める。 第1回レポート(授業で興味をもったことをまとめる。インターネット上の情報限りでよし)、第2回レポート(第1回 レポートの結果を受けて指摘された点を直しつつ取り組む。必ず書籍を1冊読む)の提出を課す。				
<授業時間外における予・復習等の指示> 予習:高校の日本史の教科書を読む、あるいはインターネットで調べるなどしてそれぞれの時代のおおまかな イメージをつかむ。 復習:PowerPointを配布するのでそれをよく読み、毎回アンケートに回答する。授業中に紹介する文献等に触れ、理解を深める。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 11 日	イントロダクション 和食とは何か		
2	4 月 18 日	縄文時代の食		
3	4 月 25 日	弥生時代の食		
4	5 月 2 日	律令国家成立と食		
5	5 月 9 日	『枕草子』にみる平安時代の食		
6	5 月 16 日	鎌倉時代の食		
7	5 月 23 日	室町時代の食、「南蛮」からもたらされた食		
8	5 月 30 日	第1回レポートの講評		
9	6 月 6 日	戦国時代の新田開発、陣中食		
10	6 月 13 日	江戸の食生活 大名から庶民まで		
11	6 月 20 日	北前船からみる江戸時代の食、近江商人の活躍		

12	6 月 27 日	ペリー来航と洋食の流入
13	7 月 4 日	洋食の定着と中華料理の流入
14	7 月 11 日	戦争の時代の食
15	7 月 18 日	本講義のまとめ、最終レポートの準備
<教科書・参考書> <教科書> とくになし <参考書> ・江原紬子；荒尾美代〔ほか〕著 『日本食の文化：原始から現代に至る食のあゆみ』 (アイ・ケイコーポレーション) 2,800円 (ISBN:9784874923757) ・永山久夫、山本博文監修 『歴史ごはん 第1巻』 (くもん出版) 2,800円 (ISBN:9784774327730) ・永山久夫、山本博文監修 『歴史ごはん 第2巻』 (くもん出版) 2,800円 (ISBN:9784774327747) ・永山久夫、山本博文監修 『歴史ごはん 第3巻』 (くもん出版) 2,800円 (ISBN:9784774327747)		

科目番号	60	科目名	生活の中の数学		
英 文 科 目 名	Mathematics in Daily Life				
大学・短期大学名	龍谷			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5				
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674	
担 当 教 員	藺井 徳充 (瀬田教学部 学部 非常勤講師)				
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名		会場			
授 業 期 間	2023 年 4 月 7 日 (金) ~ 2023 年 7 月 21 日 (金) <毎週 金 曜 日> 5 時限・講時 16 : 55 ~ 18 : 25				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (授 業 で の 取 組 な ど)		40 %		
	そ の 他 (レポートを複数回実施する)		60 %		
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円				
そ の 他 特 記 事 項	【教員との連絡方法】manaba使ってください。				
<講義概要・到達目標>					
■【サブタイトル】 日常生活に見る数学の風景					
■【講義概要】 受験終了と同時に、数学とはすっかり無縁になってしまう人が多いかもしれない。しかしそうした数学も、実際には深く生活と結びついており、なくてはならないものとなっている。 この講義では、日常生活の中で出会うさまざまな事物や事象について、数学的な考察をし、その数学的な内容を理解し活用できる視点を養っていく。そして何よりも数学を楽しみながらその風景を味わっていただきたい。 なお、受講者の状況やその他の理由により、講義内容を変更する場合がある。					
■【到達目標】 日常生活で見られる事物・事象と数学の関連について学び、数学がどのように活用されているか説明することができる。また自ら問題を作成し、他人の前でその内容や解答を説明することができる。					
■【授業時間外における予・復習等の指示】 予習は特に必要はないが、復習メインで演習やレポートに備えてほしい。					
■【講義方法】 対面が原則ですが、諸事情によりオンライン授業となる場合がある。					
<授業スケジュール>					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	4 月 7 日		地球を測ろう1(三角比の活用)		
2	4 月 14 日		地球を測ろう2(三角比の活用)		
3	4 月 21 日		証明してみよう1(論理の活用)		
4	4 月 28 日		証明してみよう2(論理の活用)		
5	5 月 12 日		パラドクスの不思議1(無限と逆説)		
6	5 月 19 日		パラドクスの不思議2(無限と逆説)		
7	5 月 26 日		問題を作ろう1(問題作成と発表)		
8	6 月 2 日		問題を作ろう2(問題作成と発表)		
9	6 月 9 日		レポート課題 1		

10	6 月 16 日	議席はどうやって決まるの？(公平な配分)
11	6 月 23 日	座席替えのはなし1(乱列)
12	6 月 30 日	座席替えのはなし2(乱列)
13	7 月 7 日	生活の中の確率1(確率)
14	7 月 14 日	生活の中の確率2(確率)
15	7 月 21 日	レポート課題 2
<教科書・参考書> 特になし		

科目番号	61	科目名	里山学	
英 文 科 目 名	SATOYAMA Studies: The sustainable interaction of nature and humans in landscape			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	宮浦 富保 (全12名) (先端理工 学部 教授)			
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場		
授 業 期 間	2023 年 4 月 10 日 (月) ~ 2023 年 7 月 24 日 (月) <毎週 月 曜日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 (小テスト・レポート)		50・50 %	
別 途 負 担 費 用	(なし) あり()円			
そ の 他 特 記 事 項	【履修上の注意】 コロナ禍の状況により、授業の進め方を変更します。manabaの掲示板を利用して指示しますので、頻繁にチェックしてください。 チェーンレクチャーであるので、すべての講義時間に出席しないと、里山学の全体を理解する事ができない。 ※希望者のみフィールドワークあり(人数制限あり)			
<講義概要・到達目標> ■【サブタイトル】 里山学 地域の自然と文化 ■【講義概要】 里山は、人間が長期にわたって手を入れ、自然と多様な形で関わり、自然と共生することによって、人間同士の共存を可能にしてきた場所であった。日本の生物の多様性の一部は里山の存在によって維持されてきたということも明らかになりつつある。ところがエネルギー革命と農業革命のため里山は放置され、都市の膨張とともに開発のターゲットにされてきた。生物多様性を維持し、人間の生活を支え、日本文化の形成にも密接に関連していたと考えられる里山が失われようとしている。「里山学」では、里山の環境、動植物、歴史、里山と文化・制度との関わりなどについて、複数の教員が講義する。 ■【到達目標】 里山といわれる環境について、その歴史や現状を理解し説明することができる。里山を代表とする身近な自然環境と人間との関係について、自分自身の意見を持ち表明することができる。 ■【講義方法】 複数教員によるチェーンレクチャーであり、それぞれの教員ごとにいろいろな方法で講義する。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 10 日	里山の歴史と現状(宮浦富保)		
2	4 月 17 日	里山の環境倫理(村澤真保呂)		
3	4 月 24 日	染織文化をささえる里山の有用植物(落合雪野)		
4	5 月 1 日	龍谷の森の観察(宮浦富保)希望者のみ(人数制限あり)		
5	5 月 8 日	里山の所有と利用(鈴木龍也)		
6	5 月 15 日	里山と昆虫(太田真人)		

7	5 月 22 日	瀬田地域の里山の歴史(林珠乃)
8	5 月 29 日	考古植物学から提案する新しい小麦生産(丹野研一)□
9	6 月 5 日	里山での児童・幼児教育(田岡由美子)
10	6 月 12 日	里山とグローバル化(椿原敦子)
11	6 月 19 日	里山が放置され, 増える生きものと減る生きもの(須藤明子)
12	6 月 26 日	食と文化(川西豪志・山崎英恵)
13	7 月 3 日	人と自然の関係～森からの思想(帖地孝人)
14	7 月 10 日	花粉で探る過去の里山環境(林竜馬)
15	7 月 24 日	佐渡のトキから里山を考える(岸本圭子)
＜教科書・参考書＞ ■【テキスト】講義時間内に教員ごとに指示する。 ■【参考文献】講義時間内に教員ごとに指示する。 丸山徳次・宮浦富保『里山学のすすめ』(昭和堂)2,310円 (ISBN:9784812207383) 丸山徳次・宮浦富保『里山学のまなざし』(昭和堂) 2,310円 (ISBN:9784812209165) 村澤真保呂・牛尾洋也・宮浦富保『里山学講義』(晃洋書房) 2,500円 (ISBN:9784771026339)		

科目番号	62	科目名	環境の科学		
英 文 科 目 名	Environmental Science				
大学・短期大学名	龍谷			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5				
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674	
担 当 教 員	奥田 哲士 (先端理工 学部 教授)				
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名		会場			
授 業 期 間	2023 年 9 月 25 日 (月) ~ 2024 年 1 月 15 日 (月) <毎週 月 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	小テスト		70 (ほぼ毎回行う)	%	%
	レポート		30 (数回行う)	%	%
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項	レポートと小テストの比率は変更する場合がある。 毎回、約6点分程度の小テストやレポートを課すことで、数回の欠席では大幅な減点はされないように配慮しているため、各種の別の実習などの公欠であっても基本的には補習や追試は行わない(他の回をしっかりと勉強し、欠席会を補える評価を得ること)。				
<講義概要・到達目標>					
■【サブタイトル】 環境問題の網羅的理解と対処法					
■【講義概要】 環境問題は、鉱毒事件のような公害問題に始まり、ダイオキシンなどの微量汚染物質問題、地球温暖化などの生活様式やエネルギー利用を根本的に考え直さなければならないような環境問題へと移り変わっている。 本講義では、指定テキストを通じて、さまざまな環境問題の概要や原因・本質、実態、対応や取り組みについての基礎知識を深めることに加え、各自が今後どのようにすべきか(ソリューション)について考えることにチャレンジする。					
■【到達目標】 さまざまな環境問題とその対策法の基礎知識を網羅的に身につける事ができ、新たな環境問題の解決法の立案についての基礎を確立できる。					
■【講義方法】 対面を基本とするが、場合によっては一部をオンラインでの受講や質問(主に講義時間中とオフィスアワー時に、オンラインでも可能)あるいはそれらを利用(併用)した対面講義とする。 毎回、教科書を毎回10-20ページ予習してもらった上で、最新の情報等を配布資料(PDF)、スライド、動画などで補足する(場合によっては音声説明付きの動画なども利用)。					
■【授業時間外における予・復習等の指示】 テキスト(教科書)の予習を徹底した聴講に期待する。					
■【履修上の注意】 初回にmanaba利用の注意点(追試を行わない事やカンニング扱い事項等)詳しく説明するので、初回、参加できない場合は初回以降、早急に担当教員に直接相談する事。 急、あるいは直前の変更・連絡はmanabaのニュースを予定している。					

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	9 月 25 日	ガイダンス(manaba等オンライン教材の説明と実習含む)、学修内容の概要、環境問題とは
2	10 月 2 日	環境問題の基本
3	10 月 9 日	大気・水の循環とエネルギー
4	10 月 16 日	各種物質の循環
5	10 月 23 日	マテリアルフロー等
6	10 月 30 日	各種環境指標・リスク等
7	11 月 6 日	温暖化の現状
8	11 月 13 日	温暖化の今後や対策技術等
9	11 月 20 日	大気環境
10	11 月 27 日	水環境・土壌環境
11	12 月 4 日	森林と砂漠化等
12	12 月 11 日	生物多様性等
13	12 月 18 日	都市化の問題(場合によってはワークショップ)
14	12 月 25 日	ライフスタイル等(場合によってはワークショップ)
15	1 月 15 日	ソリューション法等(場合によってはワークショップ)、確認小テスト

<教科書・参考書>

■【テキスト】

・西岡秀三ほか『改訂新版 地球環境がわかる』(技術評論社) 1,880円 (ISBN:9784774171814)
 テキスト(教科書)の購入が必要である。2回目講義までに、必ず最新の版を入手する事。

【重要】今年度は「改訂新版」を元にした講義を行うが、2022年度に発刊される「改訂3版」しか購入できなかった者はそちらだけでもかまわない(どちらでもついてくれるよう配慮する)

■【参考文献】

・石川 宗孝 編著/ 竺 文彦 他著『環境読本—環境をいかに学び、いかに対処するか』(電気書院)
 2,700円 (ISBN:9784485220160)

科目番号	63	科目名	社会人類学	
英 文 科 目 名	Social Anthropology			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	椿原 敦子 (社会 学部 准教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場	瀬田	
授 業 期 間	2023 年 4 月 7 日 (金) ~ 2023 年 7 月 21 日 (金) <毎週 金 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		50	%
			【備考】 期末レポート	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		50	%
			【備考】 小レポート・小テスト提出による評価	
そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円			
そ の 他 特 記 事 項	【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 授業後の復習を行い、課題を作成・提出すること 【履修上の注意・担当者からの一言】 毎回の授業時に提出する小レポートでの感想・質問を重視し、状況に応じて適宜内容を変更します。授業に「来ている」だけでは評価点はつきません 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 授業時間内に指示			
<講義概要・到達目標> 【講義概要】 人類学は、「社会・文化とは何か」を問う学問領域であると同時に「異なるとはどういうことか」についても考えてきた学問です。人類学が扱ってきた「異なる」社会や文化とは、料理や服装、お祭りなどの違い以上のことを指しています。 本講義では「私たち」と「他の人々」の間にある大きな違いと、意外によく似た所の両方に目を配りながら、私たちが無意識に持っているものの見方を一旦離れて、ものごとを複眼的に捉える力を養っていきます。 この作業を通じて、受講者が自分の属している社会・文化的環境がどのようなものかを説明できるようになることを目指します。 【到達目標】 ・社会人類学の学問的発展の歴史を説明できるようになる ・自分の常識やものの見方を相対化し、別の視点から物事を考えることができる ・現代社会における「文化」を理解することの重要性が説明できるようになる 【講義方法】 スライド、映像・音響資料を用いた講義				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 7 日	イントロダクション: 人類学とはどのような学問か
2	4 月 14 日	食べる 1
3	4 月 21 日	食べる 2
4	4 月 28 日	装う 1
5	5 月 12 日	装う 2
6	5 月 19 日	信仰 1
7	5 月 26 日	信仰 2
8	6 月 2 日	中間まとめ
9	6 月 9 日	ジェンダー 1
10	6 月 16 日	ジェンダー 2
11	6 月 23 日	生老病死 1
12	6 月 30 日	生老病死 2
13	7 月 7 日	お金 1
14	7 月 14 日	お金 2
15	7 月 21 日	総まとめ
＜教科書・参考書＞		
【参考文献】		
波平恵美子編 『文化人類学』（医学書院）（ISBN:9784260013178）		
松村圭一郎 他編 『文化人類学の思考法』（世界思想社）（ISBN:9784790717331）		

科目番号	64	科目名	びわ湖・滋賀学	
英 文 科 目 名	Biwa Lake and Shiga Prefecture			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	脇田 健一 (社会 学部 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 <u>対面・遠隔併用</u>			
教 室 名		会場		
授 業 期 間	2023 年 8 月 26 日 (土) ~ 2023 年 9 月 1 日 (金) ※サマーセッション集中講義			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
			25	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		【備考】 レポートの成績により評価する。レポート未提出の場合は、平常点は0点とする。	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		75	%
			【備考】 出席及び取り組みの状況により評価する。	
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	あり 琵琶湖博物館までの交通費と博物館の観覧料については、自己負担とする。 詳しくは、初回の授業時に説明する。			
そ の 他 特 記 事 項	【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 特に指定しないが、講義を通して琵琶湖と滋賀県の環境をめぐる日々の話題やニュースに関心を持ち、実際のフィールド(現場)を訪れてほしい。 【履修上の注意・担当者からの一言】 講義のコーディネートは社会学部社会学科教員の脇田健一が担当する。個々の授業については、先端理工学部環境生態工学課程の横田岳人と、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸員等が担当する。コロナ感染の状況等により、やむを得ず講義内容に若干の変更が生じる場合があることをご理解いただきたい。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 この講義に関する問い合わせや質問については、社会学部社会学科の脇田まで、e-mailで質問等を行なっていただきたい。脇田のメールアドレスは、以下の通り。 wakita@soc.ryukoku.ac.jp なお、琵琶湖博物館までの交通費と博物館の観覧料については、自己負担とする。 詳しくは、初回の授業時に説明する。			
＜講義概要・到達目標＞ 【講義概要】 本講義は、学外の社会教育機関である滋賀県立琵琶湖博物館と龍谷大学社会学部との連携によって行う。 琵琶湖博物館は、「湖と人間」をテーマとする博物館であり、滋賀県草津市の琵琶湖に突き出した烏丸半島にある。6年の歳月をかけて展示をリニューアルを行い、昨年の10月にグランドオープンした。本講義は集中講義により実施するが、2023年8月26・27・29日の3日間をオンライン講義で、8月31日～9月1日の2日間は琵琶湖博物館の展示を用いて講義を行う。 講義は、滋賀県の特徴について、「琵琶湖」と人の関わりという視点から理解を深めることを目的とする。私たちが通い、あるいは住んでいる滋賀県が持つ個性を理解していく上では、この地域で暮らしてきた人々の産業や日常の文化のありかたを見つめ直し、それらと琵琶湖集水域という環境との密接な関わりについて学ぶことが大切な鍵になるからである。				

具体的なトピックとして、琵琶湖の自然と生き立ち、自然と暮らしの歴史、暮らしとつながる自然、水の生き物と暮らしを取り上げ、琵琶湖博物館の新しい調査研究の成果をまじえて解説する。履修者にとって、この講義が実際の琵琶湖・滋賀県のフィールドへと足を運んでみるきっかけとなることを期待している。

【到達目標】

テーマである「湖と田んぼをつなぐ魚を通して知る滋賀」の学びを深めるために、その背景ともなっている琵琶湖の生き立ちや自然環境の特徴を把握し、それらと人間との歴史的な関わりを理解する。滋賀県の生活文化の特徴について、具体的なフィールドの事例を通して理解を深める。

【講義方法】

オンライン講義と、博物館の常設展示室等を活用した講義の組合せで行う。必要な資料等は各回の講師が適宜配布する。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	8月26日	オリエンテーション 【キーワード】全体説明
2	8月26日	水の生き物と暮らし(1) 【キーワード】琵琶湖の魚と水田利用魚類
3	8月26日	水の生き物と暮らし(2) 【キーワード】琵琶湖・河川の漁業
4	8月27日	暮らしとつながる自然(1) 【キーワード】魚のゆりかご水田・滋賀の水田農業
5	8月27日	暮らしとつながる自然(2) 【キーワード】近江のふなずし
6	8月27日	自然と暮らしの歴史(1) 【キーワード】琵琶湖の漁具・人々の暮らし
7	8月29日	自然と暮らしの歴史(2) 【キーワード】水辺の暮らし・森の暮らし
8	8月29日	琵琶湖の自然と生き立ち 【キーワード】気候変動と人の利用による植生変遷
9	8月29日	琵琶湖の水源としての森林 【キーワード】琵琶湖を取り囲む森林の役割と課題
10	8月31日	琵琶湖博物館A展示室見学「湖の400万年と私たち ～琵琶湖の自然と生き立ち～」・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
11	8月31日	琵琶湖博物館B展示室見学「湖の2万年と私たち ～自然と暮らしの歴史～」・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
12	8月31日	琵琶湖博物館C展示室見学「湖のいまと私たち ～暮らしとつながる自然～」・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
13	9月1日	琵琶湖博物館水族展示室見学「湖のいまと私たち ～水の生き物と暮らし～」・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
14	9月1日	企画展示見学・課題学習 【キーワード】展示解説と課題提示
15	9月1日	まとめと課題レポート作成

<教科書・参考書>

【参考URL】

滋賀県立琵琶湖博物館（<https://www.biawahaku.jp/>）

科目番号	65	科目名	環境社会学	
英 文 科 目 名	Environmental Sociology			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	閻 美芳 (社会 学部 講師)			
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会 場	瀬田	
授 業 期 間	2023 年 9 月 25 日 (月) ~ 2024 年 1 月 15 日 (月) <毎週 月 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	70	%	
		【備考】 期末レポート		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	30	%	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用	(なし) あり()円			
そ の 他 特 記 事 項	【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 授業の際に通知する。 【履修上の注意・担当者からの一言】 ・グループディスカッションに参加できるように、予習・復習をしっかりと行ったうえで授業に臨んでください。 ・普段から意識的に報道等に接し、社会にアンテナをはっておいてください。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 月曜日の昼休み@研究室(2号館335)。連絡方法:連絡についてメールでお願いします。 メールアドレスは授業中に指示します。			
<講義概要・到達目標> 【講義概要】 この講義では、環境問題を分析する方法として、環境社会学の基本的な理論枠組みについて概説する。とりわけ生活環境主義という考え方に焦点を当て、環境問題に立ち向かう人びとの動きを地域コミュニティの側から考えることの必要性や重要性に焦点を当てて論じていく。 【到達目標】 ・環境問題に対する様々なアプローチの仕方について理解するとともに、それらを踏まえて問題を自分で考え、社会的に分析ができる。 ・環境社会的な観点(生活環境主義)から身近な自然環境と人間の暮らしの関係を分析し、説明できる。 【講義方法】 講義形式を基本とするが、あわせて授業中にグループディスカッションを導入する。また、毎回、授業で感じた疑問点や次回の授業への要望などについて、コミュニケーションシートの提出を求める。授業では、各事例のリアリティを伝えるため、教員が撮影した写真やビデオ資料を呈示するほか、必要に応じて既存の映像資料も使用する。				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	9 月 25 日	オリエンテーション
2	10 月 2 日	環境問題における加害と被害
3	10 月 9 日	環境問題における受益・受苦
4	10 月 16 日	社会的ジレンマとしての環境問題
5	10 月 23 日	生活環境主義の考え方—誰がしっかりすれば環境は守られるのか
6	10 月 30 日	暮らしとともにある環境はどのように管理されるのか
7	11 月 6 日	嫌がられる環境を誰が受け入れるのか
8	11 月 13 日	人はどのように環境と遊んできたのか
9	11 月 20 日	日本の草原はどのように維持されてきたのか
10	11 月 27 日	公園は都市の環境を豊かにしてきたのか
11	12 月 4 日	これまでのし尿はどのように処理されてきたのか
12	12 月 11 日	環境と観光はどのように両立されるのか
13	12 月 18 日	人と野生動物はどのような関係を築かれるのか
14	12 月 25 日	未曾有の災害に人はどの対応していくのか
15	1 月 15 日	講義の振り返りとまとめ
＜教科書・参考書＞		
【テキスト】 足立重和・金菱清 『環境社会学の考え方—暮らしをみつめる12の視点』（ミネルヴァ書房） (ISBN:978-4-623-08527-9) 【参考文献】 鳥越皓之・帯谷博明 『よくわかる環境社会学』（ミネルヴァ書房）（ISBN:978-4-623-07934-6）		

科目番号	66	科目名	コミュニティ論	
英 文 科 目 名	Local Community Studies			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	坂本 清彦		(社会 学部 准教授(特任))	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名		会場	瀬田	
授 業 期 間	2023 年 9 月 19 日 (火) ~ 2024 年 1 月 9 日 (火) <毎週 火 曜日> 4 時限・講時 15 : 15 ~ 16 : 45			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		50	%
			【備考】 授業で学んだことやインタビューを行い、その結果を2000字程度の学期末レポートとして提出します。概念の理解度、応用力、文章の質などを評価します。	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		50	%
			【備考】 授業全体への参加(予習や議論内容のクイズ、リフレクションノートへの記入などの取り組み)姿勢を評価します。	
	そ の 他 (		%	
	自 由 記 載		【レポートについて】 レポート課題は、授業で学んだことを地域でコミュニティ活動に関わる方々への聞き取り結果などに適用して理解を深めるものです。また、レポートは文字数そろえて提出すればよいというものではありません。基準に沿って評価しますので、要求を満たせないと低い点になる(さらに平常点が低いと単位を落とす)こともありえます。レポート課題についてその他具体的内容は学期中に説明、指示します。	
別 途 負 担 費 用	(なし)		あり()円	
その他特記事項	【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 学期を通じて文献を読み、リフレクションノートに記入してもらいます。 また、レポートのための文献探索やインタビュー調査も必要となる場合もあります。 【履修上の注意・担当者からの一言】 【受講者をお願いしたいこと】 オンライン+対面という変わった形式です。特に対面授業日の日程に注意してください。対面授業日のグループワークに参加できない場合は、追加の課題を課すことがあります。 「コミュニティ」という概念は多様で奥行きも深く、理解するのは容易ではありませんが、大学らしい挑戦的な学びを体験したい人にはお勧めです(難しいとはいえ、きちんと授業に参加してくれたら、単位はとれます)。			

その他特記事項	この授業は1回生から4回生まで、そして他学科・他学部・(京都と滋賀の)他大学の学生にも開放していますから、背景、関心、知識、理解度が異なる多様な受講生が集まり、さらにアシスタント、ボランティア、ゲストも加わります。 それゆえに、講義を聞いて1人だけで学ぶのではなく、わかったこと、わからないことを共有し、参加者がお互いに補い合って、他の受講生や授業参加者との協働を通じ、積極的に学ぶ場(それこそコミュニティ)としての授業を一緒に創り上げながら理解を進めます。 そして、1つ、皆さんにお願いしたい(いや、約束してほしい)ことがあります。それは、わからないことや困ったことがあったら、教員、アシスタントやボランティアに相談してください、ということです。 この授業は、オンラインを基本としながら対面も取り入れる「実験的」なこともやるので、授業の内容だけでなく、授業の進め方について不明、不安なことがあれば、「こんなことを訊いていいのか？」などと思わず質問してください。 ということで、「わからなかったら質問する」と約束してください。 【授業内容の変更について】 講義内容やレポートを含む課題、授業の進め方については、社会情勢やそれを踏まえた大学の方針、学生の理解度や意向などにより、変更することがあります。そうしたことが起きる際の基本的な方針として、変更に伴う受講生への不利益を可能な限り避けるため、①受講生には事前にできるだけ早く変更を知らせる、②受講生の負担を理不尽に増やさない、ことを明確にしておきます。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 毎週火曜日2講時をオフィスアワーとしています。その他、事前にアポイントメントで相談時間を設けます。 資料配布や授業関連の連絡にはManaba、LINE(オープンチャット)とメールを使います。 これらのいずれかから連絡を受け取れるようにしておいてください。 教員のメールアドレスは a17248@mail.ryukoku.ac.jp です。
	<講義概要・到達目標> 【講義概要】 **** 重 要 **** この授業はオンラインの回と対面の回が混じるユニークな形式です。 15回のうち10回がオンライン(オンデマンド)の講義形式、5回が対面のグループディスカッション中心の授業になります。 対面の授業日は予め決まっています(下記「講義方法」参照)ので、必ず参加するようスケジュールしてください。 ***** あなたにとって「コミュニティ」とは大事なものですか？それとも厄介なものですか？ この講義では、 ・「コミュニティ」にまつわるさまざまな概念や理論、コミュニティをめぐる諸課題を学び、 ・大学周辺の地域「コミュニティ」について調べ、学んだ概念・理論を適用してその理解を深め、 ・これらの学習を通じて、今の時代に「コミュニティ」なるものがなぜ重要であると同時に厄介な存在であるのか考察し、 ・私たちは「コミュニティ」とどう生きていくべきなのかを考えていきます。 授業は指定テキストを読み進めながら展開し、教員の研究テーマで農業と福祉をつなぎコミュニティをつくる「農福連携」についてもとりあげます。 この授業には、教員のほか、アシスタントやボランティア、学内外のゲストが参加し、さまざまな形で受講生の皆さんの理解を促すよう働きかけてくれます。様々な人たちとのかかわりながら、積極的な学びの「コミュニティ」としての授業を自分たちで創り上げるつもりで授業に参加してください。

【到達目標】

- ・コミュニティに関して多様な概念や用語があり、そのうち基礎的なものを理解し、現実社会の理解に応用できる。
- ・なぜ「コミュニティ」が重視されるのか、批判的に理解し、自分の生き方に生かす心構えをもつ
- ・他の受講生やボランティア、自分のコミュニティの人々と協力し働く姿勢とスキルを身につける

【講義方法】

**** 重 要 ****

対面の授業日は①9月19日、②10月17日、③11月7日、④12月5日、⑤1月9日です。これらの日には教室で授業に参加し、教科書やオンライン講義の内容についてグループで議論したり、課題をこなしてもらいます。

対面授業日以外はオンライン講義で火曜日4講時に配信します。講義録画はオンデマンドで視聴できます。

配信終了後1週間以内に、学んだことを要約してManabaに「リフレクションノート」として記入する課題があるほか、クイズ(小テスト)に答えてもらうことがあります。

<授業スケジュール>

回	月 日	テーマ・キーワード
1	9 月 19 日	(対面)ガイダンス
2	9 月 26 日	(オンライン)テキスト「はじめに・第1章、第2章 日本人の幸福感」 【キーワード】コミュニティ、概念、幸せ
3	10 月 3 日	(オンライン)テキスト「第3章 利他行動とボランティア」 【キーワード】幸福感、信頼
4	10 月 10 日	(オンライン)テキスト「第4章 ウチ・ソト文化」 【キーワード】ボランティア、ウチとソト
5	10 月 17 日	(対面)グループワーク「シニアの地域ボランティア レイカディア大学の活動について」 【キーワード】ボランティア、ウチとソト
6	10 月 24 日	(オンライン)テキスト「第5章 地域コミュニティ」 【キーワード】地域コミュニティ
7	10 月 31 日	(オンライン)テキスト「第6章 子ども・若者の居場所」 【キーワード】子ども、若者、居場所
8	11 月 7 日	(対面)グループワーク「子供・若者の居場所について」 【キーワード】子ども、若者、居場所
9	11 月 14 日	(オンライン)テキスト「第7章 インターネットとコミュニティ、第8章 LGBT」 【キーワード】インターネットネットコミュニティ、当事者、LGBT
10	11 月 21 日	(オンライン)テキスト「第9章 社会的包摂」 【キーワード】社会的包摂・排除
11	11 月 28 日	(オンライン)テキスト「第10章 コミュニティと排除」 【キーワード】社会的包摂・排除
12	12 月 5 日	(対面)グループワーク「社会的包摂と排除するコミュニティ」 【キーワード】社会的包摂・排除
13	12 月 12 日	(オンライン)テキスト「第11章 コミュニティづくり」 【キーワード】コミュニティづくり

14	12 月 19 日	(オンライン)農福連携について 【キーワード】農福連携
15	1 月 9 日	(対面)グループワーク「コミュニティづくりと農福連携について」 【キーワード】コミュニティづくり、農福連携
<教科書・参考書> 【参考文献】 吉田行郷・里見喜久夫・季刊『コトノネ』編集部 『農福連携が農業と地域をおもしろくする』（株式会社コトノネ生活）（ISBN:9784907140） 指定テキストに加えて、別途関連文献資料を読んでもらうことがあります。 【テキスト】 桜井政成 『コミュニティの幸福論―助け合うことの社会学―』（明石書店）（ISBN:9784750350899） 指定テキストは学期を通じて読んでもらいますので、必ず購入してください。		

科目番号	67	科目名	社会貢献論	
英 文 科 目 名	Social Contributions			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	川中 大輔 (社会 学部 准教授)			
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場	瀬田	
授 業 期 間	2023 年 4 月 13 日 (木) ~ 2023 年 7 月 27 日 (木) <毎週 木 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		60	%
			【備考】 到達目標(1)(4)に対応して、授業内発表及び 期末レポートにおける記述の厚さ、その問題 の構造的理解の深度を評価する	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40	%
			【備考】 到達目標(2)(3)に対応して、毎授業での「コ ミュニケーションシート」での授業内容の理解 度や各自の見解の論理性／明確性を評価す る。 【自由記載】 以下に該当した場合は原則不可とする。 1. 期末レポートを提出しなかった場合 2. 授業内発表を行なわなかった場合 3. 出席回数が10回に満たなかった場合	
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	(なし) あり()円			
そ の 他 特 記 事 項	【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 教室内でのワークがデータに裏付けられるものとなるよう、授業外に個々人で必要に応じた 情報収集を行うこと。また、読書課題を出した場合は指定箇所を読了すること(各回所要時 間:1.5時間)。 【履修上の注意・担当者からの一言】 受講にあたって、事前に特別な知識や経験は求めない。ただし、グループワーク等の参加 型の形式も用いて授業を進めていくため、積極的かつ協力的な参加と、自分の頭で考える 力が求められる。また、教室内でのグループワークがデータに裏付けられるものとなるよ う、授業外に個々人で若しくはグループで、必要に応じた情報収集が求められる。なお、参 加型の授業では途中からの参加が難しいため、遅刻・欠席をしないよう、強く求めたい。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 ・manaba掲示板やE-mail ・オフィスアワー(金曜日3限/6号館205研究室) ・コミュニケーションペーパー ・授業前後の学生との直接対話			

<講義概要・到達目標>

【講義概要】

私たちの暮らしの中には、様々な困りごとや悩みごとが、それぞれに異なった形で生じている。自らの、或いは他者の「困りごとや悩みごと」を前にして、「何とかしたい」という気持ちが起こってくることも少なくない。みなさんもこれまで生きてきた中で、社会的な問題に対して「ほっといたらアカンのちゃうか…」と思ったことはないだろうか。例えば、大規模災害の際には、非常に多くの人々がそうした思いを胸に抱いて、寄付をしたり、被災地に駆けつけてボランティア活動を行うこととなる。また、そこまで強い動機を抱いていない場合でも、友人などに誘われて現場で活動している内に気がつけば「この問題を何とかした方がいいんじゃないのか」と思うこともあるだろう。

本講義では、このような思いを継続的な行動にうつす「アマチュアの市民」による社会貢献活動を中心に扱う。社会問題はプロフェッショナル(専門職)だけで解決されることはない。「何とかしたい」「ほっとけない」「社会のお役に立ちたい」…といった思いと何かしらの形で結びついた行動によって発揮される市民の力が求められる。では、市民はどのように社会貢献活動への歩みを踏み出せばいいのだろうか。社会貢献活動にはどのような広がりがあるのだろうか(企業による社会貢献も含む)。社会貢献活動は活動する市民に何をもたらすのだろうか。そもそも、「踏み出し」を支えているものは何だろうか。このような問いを手がかりに、社会貢献の学びを開いていく。

なお、本講義は教育やまちづくり等の複数分野のNPOでの実務経験を有する教員が担当しており、その経験を活かして、「現場」の動きの実際や最新動向も積極的に取り扱っていくこととする。

【到達目標】

- (1)社会貢献活動が求められている社会問題を自ら探索していこうとする姿勢を形成する。
- (2)市民の社会貢献活動の形態の多様性を理解する。
- (3)社会貢献活動に関わる「あり方」について自らの考えを明らかにする。
- (4)自らの社会問題意識を掘り起し、自発的な社会貢献活動に向けた素地を形成する。

【講義方法】

講義とワーキングセッションを複合して展開する。ワーキングセッションでは、問題意識を同じくする学生とチームとなって、解決に取り組む社会問題の実態調査や解決策立案に取り組んでもらうこととなる。講義においても双方向性を高めるために、教員の出す問いかけに対して、グループで意見を出し合って発表してもらう機会を適宜設ける。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月13日	「コースオリエンテーション:どのような社会貢献を目指すのか?」 「社会貢献」に対する認識を共有した上で、本コースで目指す社会貢献の方向性を理解する。 【キーワード】 社会貢献、下からのイニシアティブ、活私開公
2	4月20日	「なぜ社会貢献をするのか?すすめるのか?(1)」 社会貢献の実践を概観しながら、社会にもたらすものを探る。 【キーワード】 自治、NPO、市民政治
3	4月27日	「なぜ社会貢献をするのか?すすめるのか?(2)」 社会貢献で活動している人の声に耳を傾け、社会貢献が人々にもたらすものを探る。 【キーワード】 学習/脱学習、人間交際関係の多様化

4	5 月 11 日	「なぜ社会貢献をす 社会貢献の活動の特性を理論的に考察し、個人と社会にもたらすものを整理する。」 【キーワード】 社会構成主義、バルネラビリティ、リゾーム
5	5 月 18 日	「私の社会貢献が求められているフィールドとは？」 「幸せな社会」とは何かを考えた上で、私の生活から社会問題へのつながりを見いだす。 【キーワード】 幸福の加算、不幸の減算、不幸の三要件、アクティブ・ラーニング
6	5 月 25 日	「取り組む問題の現場では何が起こっているのか？」 自らが取り組む社会問題を巡る現在の動きを把握する問いを立て、同時にその現状に対する変革の目標を立てる。 【キーワード】 社会学の4つの問い、ミッション、ビジョンと成果目標、アクティブ・ラーニング
7	6 月 1 日	「問題のどこに斬り込む必要があるか？」(1) 自らが取り組む社会問題の原因と機会を分析する。 【キーワード】 problem talk、solution talk、5W1H、アクティブ・ラーニング
8	6 月 8 日	「問題のどこに斬り込む必要があるか？」(2) 自らが取り組む社会貢献活動の方向性を見いだす。 【キーワード】 視野と視点、仮説、コンセプト、アクティブ・ラーニング
9	6 月 15 日	「どのように社会貢献活動はデザインされているか？」 先駆的な社会貢献実践から社会問題解決の発想法について理解する。 【キーワード】 「不」への着目、共創、環境デザイン
10	6 月 22 日	「どのような社会貢献活動を行なうのか？」 自らが取り組む社会問題の解決アイデアを練る。 【キーワード】 マーケティング分析、ポテンシャル分析、アイデアのつくり方、アクティブ・ラーニング
11	6 月 29 日	「市民は国際問題にどう貢献しうるのか？」 国際協力分野の実践から世界市民としての活動について理解する。 【キーワード】 国際福祉、国際貢献、世界市民
12	7 月 6 日	「社会貢献活動プランを発表する！」 自らがデザインした社会貢献活動を発表する 【キーワード】 交感と交響、アクティブ・ラーニング

13	7 月 13 日	「社会貢献と経済をどうつなげるか？」 EU型社会的企業が作りだす経済領域について学び、社会貢献と社会的連帯経済との結びつけ方を理解する。 【キーワード】 社会的連帯経済、社会的企業、社会的包摂
14	7 月 20 日	「社会貢献は市民だけが行なうものなのか？」 企業の社会貢献を巡る動向を理解する。 【キーワード】 CSR、マルチステークホルダーエンゲージメント、プロボノ
15	7 月 27 日	「総括：社会貢献の『これから』の課題は何か？」 社会貢献活動の過去と現在の動向を理解し、未来に向けてどのようなチャレンジが望まれているのかを理解する。 【キーワード】 シティズンシップ、公共圏、市民社会、協働ガバナンス

<教科書・参考書>

【参考文献】

加藤哲夫 『市民の日本語』（ひつじ書房）
加藤哲夫 『市民のネットワーク』（メディアデザイン）
J.リップナック+J.スタンプス 『ネットワーク』（プレジデント社）
金子郁容 『ボランティア』（岩波書店）
渥美公秀 『ボランティアの知』（大阪大学出版会）
仁平典宏 『「ボランティア」の誕生と終焉』（名古屋大学出版会）
桜井政成 『コミュニティの幸福論』（明石書店）
宮垣元編 『入門ソーシャルセクター』（ミネルヴァ書房）
西村仁志編 『ソーシャル・イノベーションが拓く世界』（法律文化社）
寛裕介 『ソーシャルデザイン実践ガイド』（英治出版）
寛裕介 『持続可能な地域のつくり方』（英治出版）
ソーシャルデザイン会議実行委員会 『希望をつくる仕事』（宣伝会議）
グリーンズ編 『ソーシャルデザイン』（朝日出版社）
グリーンズ編 『日本をソーシャルデザインする』（朝日出版社）
齋藤慎 『世界をよくする簡単な100の方法』（講談社）
鬼丸昌也 『僕が学んだゼロから始める世界の変え方』（扶桑社）
藤井敦史・原田晃樹・大高研道編 『闘う社会的企業』（勁草書房）
谷本寛治編 『ソーシャル・エンタープライズ』（中央経済社）
紫牟田伸子・フィルムアート社編 『日本のシビック・エコノミー』（フィルムアート社）
関正雄 『SDGs経営の時代に求められるCSRとは何か』（第一法規）
日本財団編 『企業と震災』（木楽舎）
佐藤真久・関正雄・川北秀人編 『SDGs時代のパートナーシップ』（学文社）
田中治彦・枝廣淳子・久保田崇編 『SDGsとまちづくり』（学文社）
小崎哲哉・Think the Earth編 『続・百年の愚行』（Think the Earth）
河合雅司 『未来の年表2』（講談社現代新書）
その他、授業内に適宜紹介する。

【参考URL】

greenz.jp(<http://greenz.jp>)
NPO CROSS(日本NPOセンター) (<https://npocross.net/>)
Academic Research on Donations(日本寄付財団) (<https://nippon-donation.org/academic-research-on-donations/>)